さあ今、“成長のトビラ”を叩け!!

PASSION

AKITA PREFECTURAL UNIVERSITY 2021

大学案内2021

Akita Prefectural University

秋田県立大学

小林学長からのメッセージを動画でご覧いただけます。

1948年長野県生まれ。1976年東北大学大学院工学研究科博士学位取得。株式会社日立製作所で主管研究員、ソリューションセンタ長等を歴任し、2007年システム科学技術学部教授に就任。機械知能システム学科長、理事兼副学長を経て、2017年4月より現職。

学長メッセージ

秋田県立大学は、システム科学技術学部、生物資源科学部の2つの学部からなる理系の大学です。学生諸君には、これらの分野の専門知識を身につけ、卒業後それぞれの分野の専門家として活躍して欲しいと願っていますが、国際的社会情勢・経済が大きく変化する現在においては、それらの変化に対応できる能力も強く求められています。これからは、専門的な知識に加えて、変化に気づき、多面的な視野で要因分析、課題抽出を行い、自ら解決策を見出す幅広い能力が必要です。

秋田県立大学では、独自の教育プログラム「成長のためのメソッド」をさらに充実させ、上記の能力を持った、“グローカル”に活躍できる人材を育成します。

学長　小林淳一

基本理念

21世紀を担う次代の人材育成

真理探究の精神と、未来を切り拓く幅広い視野・柔軟な発想や豊かな創造力を兼ね備えた、21世紀を担う次代の人材を育成すること。

開かれた大学として、秋田県の持続的発展に貢献

先端的な科学の研究及び技術の開発を行うことにより、地域産業の高度化を通じた本県の産業振興に寄与するとともに、県民に対して生涯にわたる高度な教育機会を提供することにより、本県の持続的発展に大きく貢献すること。

沿革

平成11年4月	秋田県立大学開学
平成14年4月	秋田県立大学大学院 システム科学技術研究科設置
平成15年4月	秋田県立大学大学院 生物資源科学研究科設置
平成18年4月	生物資源科学部 アグリビジネス学科設置
	公立大学法人秋田県立大学設立
平成21年6月	開学10周年記念式典開催
平成24年4月	秋田県立大学大学院
	共同ライフサイクルデザイン工学専攻設置
平成30年4月	システム科学技術学部
	機械工学科・知能メカトロニクス学科・情報工学科設置
令和元年6月	開学20周年記念式典開催

秋田県立大学の欧文の頭文字『A』をデザイン化したもので、目標（グリーン）を設定し、未来に向かって限りなく学んでいく姿を表しています。

さあ今、“成長のトビラ”を叩け!!

PASSION

CONTENTS

特集
02 SCIENCE SEEDS
04 研究コラム「環境に優しいプラスチック」
06 研究コラム「希少動物の永久保存」
08 卒業生メッセージ

教育・研究の特長
12 数字で見る秋田県立大学
14 卓越した教育・研究環境
18 学生自主研究
22 キャリア支援
26 秋田県立大学の学び

システム科学技術学部
28 システム科学技術学部
30 学びのキーワード
32 機械工学科
38 知能メカトロニクス学科
44 情報工学科
50 建築環境システム学科
56 経営システム工学科

生物資源科学部
62 生物資源科学部
64 学びのキーワード
66 応用生物科学科
72 生物生産科学科
78 生物環境科学科
84 アグリビジネス学科
90 フィールド教育センター

大学院・附属機関
92 大学院
96 総合科学教育研究センター
97 木材高度加工研究所

キャンパスライフ
98 キャンパスアルバム
100 学生の挑戦
102 国際交流
104 年間スケジュール
106 本荘キャンパス
108 秋田キャンパス
110 大潟キャンパス／学生寮
112 秋田県立大学生の1日
114 サークル活動

インフォメーション
116 充実のサポート制度
120 入試情報
122 在籍者情報
124 秋田ってこんなところ

※登場する在学生の学年は取材当時（2020年3月）時点のものです。

このマークが付いているQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、「360°VRパノラマ写真」など、様々なWebコンテンツをご覧いただけます。

組み込みシステムに
関わって日常をちょっと
便利にしたい！

タナハシ ユウト
棚橋 佑斗 さん
情報工学科 1 年
静岡県／掛川西高校出身

地元を元気にする
地産地消カフェを
つくります

ウメツ ヒカリ
梅津 光 さん
応用生物科学科 2 年
山形県／東桜学館高校出身

ものづくりのセンスを
磨いていきます！

イマイ ロウド
今井 朗人 さん
機械工学科 2 年
島根県／益田高校出身

米を品種改良し
新たな秋田のブランド米を
日本中に届けます！

ナカジマ リョウタ
中嶋 涼太 さん
生物生産科学科 3 年
秋田県／大館鳳鳴高校出身

健康で快適に暮らすための
建築空間を実現します！

タケウチ ジンヤ
竹内 仁哉 助教
(建築環境工学)
建築環境システム学科

セシウムなど
有害元素を吸わない
作物を開発します!

ライ ヒロキ
頼 泰樹 准教授
(植物栄養学)
生物生産科学科

生活に身近な
技術を開発したい！

オダワラ ナイト
小田原 乃斗 さん
電子情報システム学科 3 年
秋田県／横手高校出身

持続可能な
社会を作る一員に
なりたい！

クニミツ ハルカ
國光 春花 さん
生物環境科学科 1 年
山口県／防府高校出身

「いのちだいじに」をモットーに、
細胞～ロボットまでを研究して
います！

サイトウ タカシ
齋藤 敬 准教授
(細胞工学)
知能メカトロニクス学科

農業・畜産を発展させ、
地域経済の活性化に
貢献したい！

オカダ リコ
岡田 梨瑚 さん
アグリビジネス学科 3 年
静岡県／静岡北高校出身

高性能な加工ツールを開発
し、新しいものづくりプロセスを
切り開きます！

スズキ ツネヒサ
鈴木 庸久 教授
(材料工学)
機械工学科

秋田の資源をフル活用して
魅力あふれる
県大ブランド牛を
創出する！

サトウ カツヨシ
佐藤 勝祥 助教
(食肉生産科学)
アグリビジネス学科

ミリ波制御、光計測など、
液晶材料の新しい応用を
産み出します！

ノセ トシアキ
能勢 敏明 教授
(光・電子デバイス工学)
知能メカトロニクス学科

秋田県の海洋生物保護
活動に携わり、県魚ハタハタの
資源回復に貢献したい！

ハシモト コウイチ
橋本 晃一 さん
生物資源科学専攻 1 年
秋田県／秋田中央高校出身

誰もやっていないことに
挑戦していきたい！

ストウ モモカ
須藤 百香 さん
経営システム工学専攻 1 年
山形県／寒河江高校出身

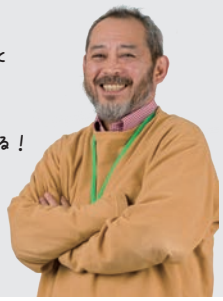
秋田の竿燈まつりを
世界へ発信。
竿燈でみんなを
笑顔にする！！

イシムラ モモ
石村 桃 さん
応用生物科学科 2 年
秋田県／横手城南高校出身

地震や建築物の
揺れ方や壊れ方を調べ、
被害を最小限に抑える
技術を開発します！

カンノ ヒデト
菅野 秀人 教授
(建築構造学)
建築環境システム学科

森林資源の健全な育成と
その効率的な利活用の
提案を通じて
地球環境保全に貢献する！



タカタ カツヒコ
高田 克彦 教授
(森林資源学)
木材高度加工研究所

AKITA PREFECTURAL UNIVERSITY 2021

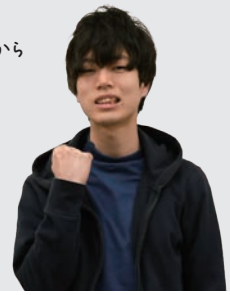
SCIENCE SEEDS

学生も教員も、みんなの“カガクの種”

発酵・醸造を追求し、
美味しいお酒と
美味しい発酵食品を
つくる！

伊藤 俊彦 准教授
(醸造学)
応用生物科学科

車社会に研究の面から
貢献したい！



奥住 公祐 さん
知能メカトロニクス学科 2 年
千葉県／船橋東高校出身

大学での学びを
社会に還元し
地元を元気にします！

町田 大和 さん
応用生物科学科 3 年
新潟県／六日町高校出身

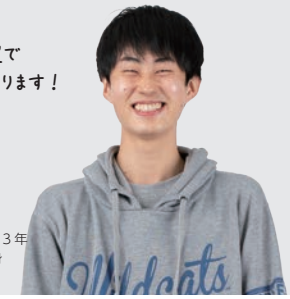
地域の歴史・文化に
寄り添う環境建築を
デザインしたい！

相方 健次 さん
建築環境システム学専攻 1 年
京都府／城南菱創高校出身

東北の食卓に関わり
"楽しい買い物"を提供する
スーパーバイザーになります！

細田 瑠花 さん
生物生産科学科 3 年
秋田県／金足農業高校出身

音に関する研究で
新しい未来を作ります！

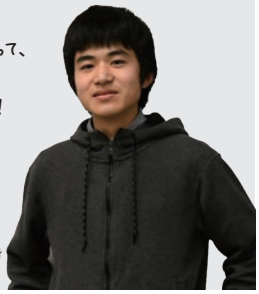


石原 颯馬 さん
電子情報システム学科 3 年
愛知県／豊丘高校出身

研究を通して、
次世代に地球環境の
大切さを伝えます!

井上 明香里 さん
生物環境科学科 2 年
秋田県／湯沢翔北高校出身

無線通信技術を使って、
共同作業する
ロボットを開発します！



福田 徹平 さん
情報工学科 1 年
神奈川県／横浜創英高校出身

生き物同士の
関わり合いを
明らかにします!

坂田 ゆず 助教
(生態学)
生物環境科学科

AIに操られる人ではなく、
操る人になるための
数学を学んでみませんか？

荒谷 洋輔 助教
(応用数学)
経営システム工学科

農業高校の教員になって
農業の魅力を
全力で伝えます！

佐藤 ふうこ さん
アグリビジネス学科 2 年
新潟県／新発田農業高校出身

新しい材料を開発し、
次の時代につなげたい！

小林 温希 さん
機械知能システム学専攻 1 年
秋田県／秋田工業高校出身

人間とはどのような
存在なのか、
その答えを哲学的に
探し求めています。

鈴木 祐丞 助教
(哲学)
総合科学教育研究センター

生活・経済活動に
不可欠な「熱」を制御し、
世の中に役立つ
提案を発信します！

大徳 忠史 助教
(伝熱工学)
機械工学科

ロボット技術やICT技術を
駆使しスマート農業を
実現します!

西村 洋 教授
(生産システム学)
フィールド教育研究センター

どんな場の音も創り出し、
音を通じた
バーチャルリアリティ
を実現します！

高根 昭一 准教授
(音響情報学)
情報工学科

伝承されてきたワザに
創意工夫を加えて
伝統の新たな一歩に
踏み出す

足立 幸司 准教授
(木材加工学)
木材高度加工研究所

コストマネジメントの研究で、
継続可能な戦略と
良い意思決定を支援します。

朴 元熙 教授
(管理会計学)
経営システム工学科

環境に優しいプラスチック

材料力学の視点で創造する実用的な複合材料

KEYWORD

複合材料／材料力学／環境問題／表界面工学

システム科学技術学部 機械工学科

境 英一 助教

SAKAI Eiichi

[PROFILE]
1982年12月生まれ。出身は富山県射水市。小学生のとき一時的に神奈川県で暮らしていたこともあったが、2010年に博士（工学）（富山県立大学）の学位を取得するまでほとんどを富山県で過ごし、その後から秋田。好きなものはお酒と読売巨人軍。

WEB

安価で成型しやすく便利で、私たちの暮らしに欠かせないプラスチックですが、一方で大量のゴミとして海に流れ出す海洋プラスチック問題も深刻。このまま海洋プラスチックが増え続ければ、2050年には海中の魚よりプラスチックの方が多くなってしまう可能性があるとも言われています。このような側面から、プラスチックに関する研究を進める複合材料研究室にとって、環境問題は避けられないテーマ。加工技術や成分開発、応用範囲の拡大などを含め、プラスチックと環境問題に取り組んでいます。

海で分解するプラスチックを廃棄する稲わらの複合材で作り出す

中でも“生分解性プラスチック”、自然界に存在する微生物が関与して環境に悪影響を与えない低分子化合物に分解されるプラスチックについて研究を重ねています。かね

てから土壌で分解されやすいプラスチックの研究を進めてきましたが、昨年度からは、海でも分解されるプラスチックの開発も視野に入れ、生分解性プラスチックに様々な植物由来の材料を混ぜ合わせる実験をしています。

そこで着目したのが、稲わらです。秋田県では毎年、膨大な量の稲わらが排出されており、せっかくならそれを利用できないかと考えました。調べてみると、稲わらは鉄鋼にも匹敵するほどの強靭さと、土壌や海水に分解しやすいという性質を兼ね揃えていることが分かりました。これを生分解性プラスチックに配合し、土壌や海水などの環境下で分解するスピードなどを調べています。

実験では、配合する稲わらの量を少しずつ調整して分解するスピードを調べます。稲わらを配合した生分解性プラスチックを日本の工業規格で決められているテストピースに成型し、海水や蒸留水を入れた試験管に浸しておきます。表面から少しずつ分解されていくので、サンプルが変色してきたら分解されてきた証拠。2週間で溶けたり、100日経ってもほんの少ししか変色していなかったり…様々なデータを集めている最中です。

目指すのは稲わら配合の容器包装材 日常で使われる製品を世に送り出す

学生たちとの実験は、和気あいあいとした雰囲気。全員が稲わらの配合を研究しているわけではなく、それぞれが興味のある素材を追求しています。やりがいを感じるのは、やはり成功したとき、それに尽きます。一方で上手く行かないことも多いのが実験。例えば、プラスチックは主成分が油、稲わらは植物なので水。油と水なので相性が悪いんです。そのため、お互いが溶け合わず、強く引っ張ると、き裂が入って壊れやすくなるというデメリットがあります。稲わらとプラスチックをどう融合させていくか、それは今後の課題となるでしょう。また、生分解性プラスチックは高価なので、日常で使うものとしてはまだまだハードルが高いというのも難点です。

研究室ではこれまでに、稲わら生分解性プラスチック複合材で容器やペグなどを試作しました。将来的には、プラスチック製品の多くを占める容器包装材を作り出せるまで技術を上げることが目標です。海で分解するプラスチックの研究を始めたのは昨年度に入ってから。まだまだスタート段階です。まずは稲わらと生分解性プラスチックの成分をコントロールできるようになることを目標に、製品として世の中に出せる未来が少しでも早く来るよう研究に精を出していきます。

希少動物の永久保存

動物バイオテクノロジーから再生医療へ広がる希望

KEYWORD

ES細胞／iPS細胞／再生医療／発生学

生物資源科学部 応用生物科学科

小林 正之 教授

KOBAYASHI Masayuki

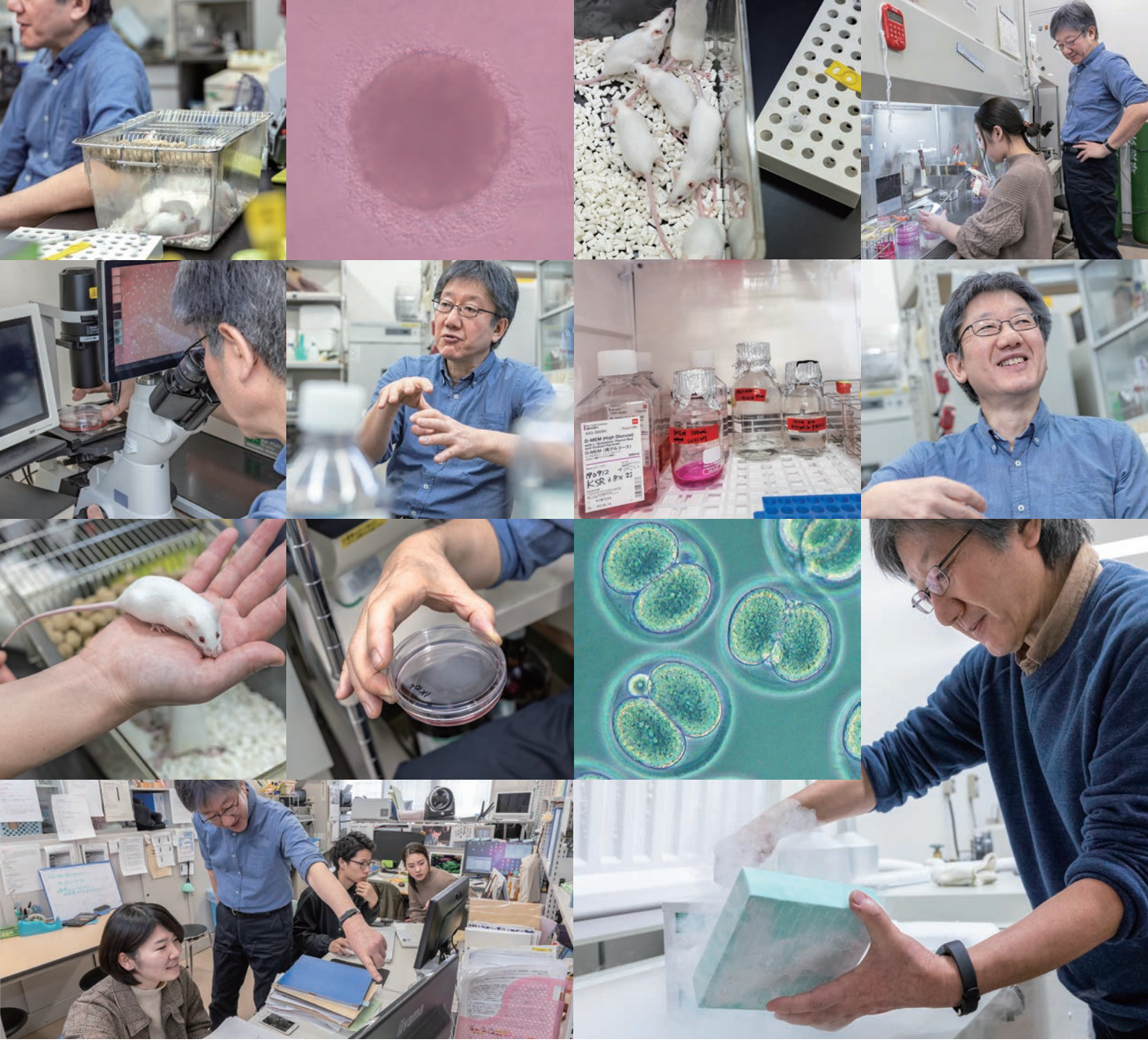
[PROFILE]

横浜市生まれ。帯広畜産大学畜産学部卒業・同大学院修士課程修了・群馬大学大学院医学研究科博士課程修了（医学博士）。日本学術振興会特別研究員（農水省畜産試験場）、森永乳業㈱生物科学研究所研究員（癌抑制遺伝子の基礎研究）、秋田県立農業短期大学助教授、秋田県立大学助教授・准教授を経て現職。趣味は秋田県内の日帰り温泉&サウナめぐりと地酒の研究。

動物分子工学研究室では、哺乳動物のバイオテクノロジーについて研究しています。iPS細胞というとピンと来る方もいるでしょうか。昨今では、ノーベル生理学・医学賞を受賞した山中伸弥教授の研究が大きな話題を呼びました。iPS細胞は2006年に誕生した万能細胞で、再生医療を実現するために重要な役割を果たすと期待されています。

希少種を永遠につなぎ続ける iPS細胞が広げる畜産の未来

私が目指すのは、iPS細胞を動物の精子・卵子に変化させ、良質な家畜を生産し続けられる未来と、ヒト再生医療への活用です。家畜に対する研究で今目指しているのはウシへの応用。例えば高品質なミルクを安定して生産する雌牛、まろやかな甘みを備えた高級和牛…そんな希少な優良牛を永遠に生産し続けられたら、と考えたことはありませんか？



命あるものに限りがあるのは自然の法則。ウシや動物にとっても例外ではありません。現在の技術で精子や卵子を凍結して保存することはできますが、それすらもいつかは使い切ってしまいますよね。そこで目指すのが、iPS細胞から精子・卵子を作出するということ。現在の技術ではマウスでの成功例がありますが、ウシはまだ未知の領域です。

まずはマウスでの作出に挑戦
オリジナルの手法も新たに確立

まずはマウスiPS細胞の作出から挑戦しました。最初は、iPS細胞がほんの少ししかできないものだと思っていましたが、実際は、1～3週間かけて1枚の培養皿のそこかしこにiPS細胞が出来はじめ、最終的には数百個のiPS細胞集合体ができることが分かりました。それだけ高効率で作り出すことができる、確かな技術なのです。

既存の方法を模倣していく一方で、自分たち独自の方法も確立しました。iPS細胞を作出する過程で、今までは人工的にこまかく遺伝子を活性化させることができなかったものを、私たちは活性化の時期や遺伝子の種類を調節することに成功しました。これにより、iPS細胞の形成過程について、より詳しい研究が可能になります。日々技術力を高めているとは言え、まだスタートライン。マウスで成功しても、すぐにウシへ応用できるわけではありません。研究を始めて4年になりますが、まだウシのiPS細胞の“候補”を作り出したところ。まだまだ道のりは遠そうです。

命の源“胎盤”を創成して
流産防止や妊娠率向上に活用

もう一つ、iPS細胞の研究で目指すのが、再生医療への活用。すでに知られている通り、iPS細胞は精子・卵子だけでなく、ヒトの臓器を作り出すことができます。命が育っていく源である胎盤の創成にも重要な役割を担うことが分かっていて、それをもっと掘り下げて研究していけば、流産防止や妊娠率の向上など、不妊治療などにも活用できるのではないかと期待しています。

私の専門は、元々哺乳動物の発生学です。受精卵が、発生が進むに従ってどのように種々の細胞に分かれていくのかを研究していました。それが徐々に、研究の対象が変化していき、胎盤形成のスタート段階にまで遡り、iPS細胞を作出する研究へと進化していったのです。研究に決まった道筋はなく、進行と共に幅がどんどん広がっていくもの。人生と少し似ていませんか？学生の皆さんも興味があることに臆せず向き合い、その過程をステップに、自分をより奮い立たせる方向へとチャレンジしてください。

VOICE 卒業生からのメッセージ

株式会社総合車両製作所
生産部構体課

南澤 かれん さん　MINAMISAWA Karen　新潟県／新潟中央高等学校出身
システム科学技術学部 機械知能システム学科　2019年度卒業

車体設計に携わり、楽しんで乗車している人を見ることが夢です

私は現在、鉄道車両の車体を形作る製造現場で、乗降車するドアや窓がある側面部の製造に携わっています。側面部を構成する複数の板の繋ぎ合わせや、骨組み補強の取り付けを、機械を使って溶接で行っています。全長約20mの製品でも3mmの寸法の違いが品質や安全性に関わってくる、ものづくりの大変さや面白さを感じます。学生時代、鉄道車両のような大型構造物の振動に関する研究を行ったことがきっかけで、鉄道車両製造に興味を持ち就職を決めました。将来の夢は車体設計に携わり、できあがった車両に乗車して楽しんでいる人を見ることです。その為にも、様々な製造現場の仕事に関わり、製造のノウハウや車体の構造を学びたいです。

現在の仕事では、大学で学んだ事が実際に活用されたり、作業1つ1つの意味の理解に繋がったりと、とても面白いです。大学では先生方は勿論、学生の中でも、学問的な事から趣味的な事まで様々な分野で詳しい人がいます。専門書も時間もあります。新しい事に沢山チャレンジできる環境であり、また、元々興味のある事や新しく始めた事にのめりこむことができる環境でもあります。折角の人生の夏休み、悔いのない大学生活を過ごせることを祈っております。

株式会社JVCケンウッド
メディア事業部ライフスタイルビジネスユニット技術部1グループ

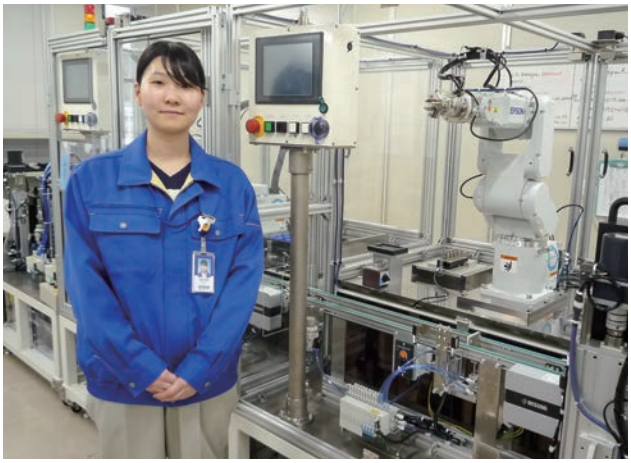
鈴木 美紗 さん　SUZUKI Misa　秋田県／湯沢高等学校出身
システム科学技術学部 電子情報システム学科　2017年度卒業

生活に身近な、音に関わるものづくりをしています

現在はイヤホン・ヘッドホンの設計を担当しており、開発初期には3D CADを使った新構造の検討や、部品の選定等を行っています。仕様決定後には試作を行い、試作品を使って信頼性試験を行っています。実際の生産現場で試作を行うため、海外出張する機会も多くあります。生活に身近なものづくりがしたかったことと、昔から音楽が好きだったので、音に関わるものづくりができればと思い、この会社に入社を決めました。

秋田県立大学の魅力は面倒見が良いことだと思います。教員に質問しやすい環境で、丁寧なアドバイスを受けて卒業論文を書き終えることができました。また、就職支援も手厚く、オススメの求人を個別に紹介頂いたこともありました。学生生活の思い出としては、学生自治会での活動が心に残っています。学内イベントの企画・運営等を行ったほか、学外のイベントに参加する機会もあり、他大学の学生や、地域の方と出会うことができました。自らの成長にも繋がる貴重な経験となりました。

今後、世の中のニーズは刻々と変化していきます。トレンドに敏感になり、時代を先取りした商品を開発していきたいです。みなさんも自然豊かな秋田で、充実した学生生活を送ってください。



秋田エプソン株式会社 生産技術部

黒澤 瑞穂 さん　KUROSAWA Mizuho　秋田県／湯沢高等学校出身
システム科学技術学部 機械知能システム学科　2019年度卒業

ものづくりの基礎から専門知識まで学ぶことができました

設計の仕事がしたかったことと、地元に貢献したいという気持ちから、現在の会社に就職しました。今は生産設備の改造・改善を行う部署に所属し、部品や設備の設計をする仕事をしています。実際に働いてみると、大学で学んだことが基礎になり、業務への入りはすんなりできたのですが、経験不足からか、予想していなかったことで失敗することが多々ありました。日々ものづくりをしていく中で、失敗を経験に変えて、ちゃんと動く装置を作れるようになりたいです。

大学では、ものづくりの基礎から専門知識まで学ぶことができました。実験や工作機械研修など、手を動かして学ぶ講義では、友達と協力して作業することで、就職後に必要なコミュニケーション力も身につけられたと思います。大学生活で最も心に残っているのはサークル活動で、潮風祭(文化祭)実行委員として、潮風祭の企画や準備、パンフレットなどの広報物作りをしていました。連日忙しさが増していき大変でしたが、無事に全日程が終わったときの達成感と楽しさが今でも残っています。これから入学する皆さんにも、楽しくてあっという間の4年間、悔いが残らないよう充実した日々を送ってもらいたいです。

野村貿易株式会社 経営企画部

石山 翔平 さん　ISHIYAMA Shohei　茨城県／茨城高等学校出身
システム科学技術学部 経営システム工学科　2016年度卒業

研究室という小さな社会で、自分の世界を広げることができました

3年間の営業(畜産・水産)を経て、現在(※取材当時)は内部監査室に所属し社内の監査を行っております。学生時代に海外に出向く活動をしていたこともあり、海外に関わる仕事がしたく、この会社を選びました。海外の取引や商材の知識を蓄え、その道のプロフェッショナルになるのは勿論のこと、将来駐在員としても活躍できるように頑張ってまいります。

秋田県立大学の魅力は、少人数教育で教授陣との距離が近いのもさることながら、実際に研究室に所属する前からも研究の実態等に関わる機会が多いことです。私個人の思い出としても、日夜研究に勤しんだ日々が最も強く印象に残っております。小さな社会に所属し、結果に繋がる行動を考えながら研究を行うことで、いざという時の行動力／体力や筋道を立てた考え方を培うことが出来ました。

大学生活は今にして思えば、社会で働く前に自分の世界を知覚(再認識)できる場であり、新しい価値観を創れる／広げられる最後の場だったと感じます。未知の可能性に飛び込むことは最初は怖いかもしれませんが、これから入学するみなさんも、自分の世界／可能性を自分の手で広げられるよう、飛び込んでいってください。大学卒業までにやり切ったと思えるようなアクションを起こせることを願っております。

株式会社竹中工務店
東京本店設計部 設備部門 設備8G

石川 武尚 さん　ISHIKAWA Takenao　秋田県／秋田西高等学校出身
システム科学技術学部 建築環境システム学科　2016年度卒業／大学院・システム科学技術研究科 建築環境システム学専攻　2018年度修了

「作品」と呼べる建物をつくりたい

私は「設備設計」の仕事をしています。設計者はプロジェクトを主導する立場で、企画から建物の竣工まで関わります。建築設計・構造設計と打合せを重ねながら、快適に過ごせる・建物がより良い状態で維持される室内環境を設計し、建築主のおもいをかたちにします。竹中工務店を志望したのは、こだわり抜いて最良の建物を作るという、建築に対するひたむきな姿勢に惹かれたためです。

研究室の恩師に出会えてから、「学ぶ」ことが楽しくなり自分の視野が広がったと思っています。在学時、取り組んでいた断熱改修後の住まいと環境の変化についての研究を一般に向けて講演した際は、研究で得られた知見を教える立場に変わったことで、自分の成長を実感出来ました。学生の間に過ごす時間は、学生の時にしか出来ない貴重な経験がたくさんあり、自分の良さや武器を知る機会となるはずです。学生生活、悔いの残らないように満喫して下さい。

今後の目標は、自分で「作品」と言えるような建物をつくることです。入社してから、建物をつくるためには、「使い手」と「作り手」の両者の想いや時間を共有し、議論を重ねなければいけないということを学びました。いつかは生まれ育った東北で沢山の方々に愛される作品をつくれたらと思います。

VOICE 卒業生からのメッセージ

小玉醸造株式会社 製造部

佐藤 綾 さん　SATOH Aya　秋田県／秋田南高校出身
生物資源科学部 応用生物科学科 2012年度卒業　大学院・生物資源科学研究科 生物資源科学専攻 2014年度修了

日本の伝統的な醸造文化を守り後世に残す

小玉醸造は明治12年(1879年)に創業し、「ヤマキウ」で知られる味噌と醤油、そして「太平山」で知られる清酒の醸造元です。現在は、製品(清酒・味噌・醤油他)の製造や品質管理に関わる仕事をしています。学生時代から、発酵食品に興味があったことと、製造に関わる仕事に幅広く携わりたいと思い、現在の勤務先を志望しました。

学生時代、講義の中で発酵食品について学んだ際に、仲間が企画した「珍しい発酵食品を食べる会」で、世界一臭いと言われる“シュールストレミング(ニシンの塩漬)”や“くさや”を食べたことが特に印象に残っています。大学時代の講義や研究で、発酵食品の未知の世界や可能性、面白さに目覚め、より好奇心を掻き立てられたことを覚えています。秋田県立大学・大学院での一つひとつの学びや研究が、現在の今の仕事にも繋がっています。

小玉醸造は、あえて手間暇のかかる生もとや、吟醸を主力とした“こだわり”の酒造りを続けています。入社して6年、仕事は実際に経験してみないと分からないことが多く、日々勉強の毎日です。これからも日々の経験を積み重ね成長し、日本の醸造文化をしっかり守り後世に残していきたいと思います。

仙台小林製薬株式会社 品質統括部

石田 栄利子 さん　ISHIDA Eriko　福島県／磐城桜ケ丘高校出身
生物資源科学部 生物生産科学科 2008年度卒業　大学院・生物資源科学研究科 生物資源科学専攻 2016年度修了

世界中の人と社会に暮らしの「快」を提供する

現在品質保証に関わる業務を担当しています。具体的には、国内外の査察対応であったり、小林製薬の研究所からの技術移転の確認、原資材の供給者管理や不具合の是正予防処置、変更管理、製品を出荷するための出荷判定等が主な業務です。

入学してすぐに「学生自主研究」にチャレンジしました。学科を飛び越えて自由に研究させてもらえるところに驚きました。秋田県立大学は、“こんな研究してみたい!”というチャレンジを尊重し、学生一人ひとりの個性をしっかり伸ばしてくれるところが大きな魅力です。先生方との距離も近く、先生がいつも見てくれている、という安心感があります。学生数も少なく、都会の大学に比べたら盛り上がりでは負けるかもしれませんが、とても落ち着く、居心地が良い大学です!!素敵な仲間にも出会え、充実感と達成感に満ちた学生生活でした。

「熱さまシート」「ブレスケア」「のどぬ～る」「トイレその後に」・・・、ユニークな新商品を生み出している小林製薬では、何より社内コミュニケーションを重視しています。他部署のスタッフとのミーティングやプレゼンなどでは、日々、新鮮な刺激を受けています。小林製薬の多くの医薬品を通じて、世界中の人と社会に暮らしの「快」を提供できるように、各国の査察にしっかりと対応していきたいと思います。

山形県森林研究研修センター 森林生態保全部（研究員）

髙野 雄太 さん　TAKANO Yuta　山形県／山形中央高校出身
生物資源科学部 生物環境科学科 2009年度卒業　大学院・生物資源科学研究科 生物資源科学専攻 2011年度修了

森林の恵みの魅力や大切さを伝える

山形県の林務職として、多雪地域において有効な育林方法や施業体系に関する研究を行っています。これまで培った知識や技術を生かして地元に貢献したいということと、行政機関の立場で調査の企画立案段階から関わりたいという思いから、現在の勤務先を志望しました。

学生時代は、大学周辺の松林を保全するため、マツ枯れ木の炭やきボランティアに参加したことが特に印象に残っています。地元のパワフルな方々との交流や、炭窯内での作業、薪割りなど、普通の生活では経験できない体験をしました。また、先生との距離が近く密な議論が日々できたこと、さらには大学周辺のマツ林は山菜やキノコの宝庫で、身近に生物多様性の恵みに触れられたことなど、最高の学修環境の中で学ぶことができました。

大学での森林調査はササや低木の藪など、道なき道を突き進みました。その中でも、自分が面白いと感じることを作業の中で見つけて取り組むことで、モチベーション維持に繋がることを学びました。現在の仕事でも、自分の専門性と離れた位置づけの仕事を担当することもありますが、効率的な作業方法や興味のある分野との関係性を考えながら取り組むことで、自分の強みをしっかり生かせています。仕事でもプライベートでも森林活動を通して、生物や地域資源の魅力、面白さ、大切さをひとりでも多くの人に伝えていきたいです。

農業経営（アグリクリエイター）

小野 未来 さん　ONO Miki　秋田県／秋田北高校出身
生物資源科学部 アグリビジネス学科 2014年度卒業

消費者に対し安心・安全な農作物を提供し日本の農業を支える

現在、大潟村で農業経営を行っています。具体的には、水稲と野菜（主にカボチャ、メロン）の栽培・販売を家族で行っています。もともと祖父母が農業経営を行っており、将来的には後を継ぐ意志もありましたが、大学在学中に東日本大震災を経験して、生きるために必要不可欠な食料を生産・供給する農業に魅力を感じ、卒業後すぐに就農しました。

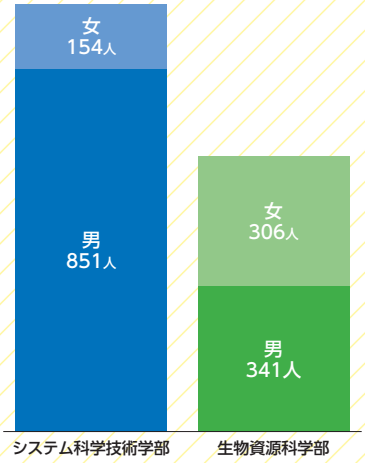
大学時代は学生自主研究や卒業研究に没頭したことが特に心に残っています。担当の先生はもちろん、学科を問わず多くの先生にサポートいただき、とても有意義で贅沢な時間を過ごせました。この経験が今の農業経営に役に立っていると日々実感しています。また、大学では、掛け替えのない仲間と出会い新しい学びをたくさん得ることができました。大学時代の交友関係は自分の中で欠かせないものになっていて、卒業した今でもとても仲良くしています。大学の勉強・研究はもちろんですが、大学生活では、たくさんの出会いや学びがあります。ぜひ様々なことにチャレンジして、自分の将来の糧にしてください。

農業を取り巻く環境は日々変化していますが、消費者に対し安全・安心な農作物を提供し日本の農業にしっかり貢献することが目標です。大学で学んだことを活かし、たくさん勉強して自分の目標に近づけるよう頑張りたいと思います。

数字で見る
秋田県立大学

学部生数
1,652人

システム科学技術学部1005名、生物資源科学部647名（2020年4月1日現在）。全国各地から様々な学生が集い、個性豊かで活気のある学びの場となっています。



敷地面積
約268万㎡

学生一人当たりの敷地面積
約1,630㎡

3キャンパスを合わせた総面積は何と5万人収容の東京ドーム約57個分の広さを誇ります。ハイセンスで美しく特徴のある校舎を携え、広大な敷地でのびのびと勉学に励めます。

教員数
204人

教員一人あたりの学生数
約8人 P14

学生の出身都道府県の割合
3:7 P122

秋田県内30%：秋田県外70%。全国から学生が集まり"異文化交流"が生まれています！

学生自主研究参加率
約6割 P18

「研究」のスタート地点！県大生にとって充実したキャンパスライフを送る上で欠かせない教育プログラムです。

サークル・同好会数 P114
98団体

アカデミックなものから文化・芸術・スポーツまで幅広いジャンルの98団体のサークルがあります。技を磨き、友情を育み、キャンパスライフを輝かせましょう！

大規模農場の広さ P90

全国一

フィールド教育研究センターは、総面積190ha、東京ドームの建築面積の約40個分を誇る全国一の大規模農場です。広大な農業生産フィールドで、思う存分学べます。

日本短角牛の飼養数 P90

42頭

フィールド教育研究センターには、42頭（日本短角種31頭、黒毛和種11頭）の元気な肉用牛が飼養されています！

学生寮費月額 P111

46,000円

大潟キャンパスの広大な敷地内にある学生寮「清新寮」は、7階建ての建物に全館個室（240室）で食事付き。充実した学生生活を送ることができます。

“木材”を冠する研究所

国内唯一

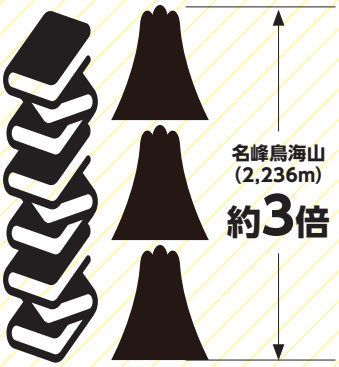
P97

木材高度加工研究所は、国内の大学機関に属する研究機関として、「木材」を冠する唯一の研究所。木質資源の理想的な循環系の確立を目指しています。

図書館蔵書数

約294千冊

各キャンパスに図書館があり、地域の人々にも広く開放されています。大学全体で蔵書数は約294千冊で、学生一人当たり約161冊、すべて積み上げると秋田県と山形県に跨る名峰鳥海山（2,236m）の3倍以上の高さになります。館内の閲覧座席数は約629席、入館者数は年間のべ約215千人にもなります。



※本の厚さを平均2.5cmとして計算

学生一人当たり
約161冊

閲覧席数
約629席

入館者数年間
約215千人

少人数教育だからできる卓越した教育・研究環境

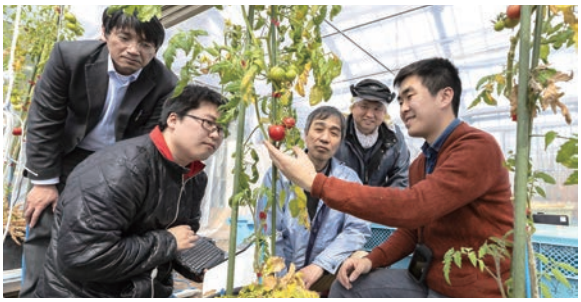
少人数教育を核とした秋田県立大学の特長

教員と学生の距離の近さが魅力！

少人数教育

教員一人あたり学生数が約8人。教員と学生、学生相互のコミュニケーションを重視し、教養科目から専門科目まで総勢204人の教員が、入学から卒業までをしっかりサポートします。

教員一人あたり学生8人



1年生から専門的な授業も！

クサビ型カリキュラム

「1年生から専門科目を勉強したい」「3～4年生になって、幅広い教養を学びたい」という学生のために、早くから専門の基礎を学び、高学年になっても文学や哲学などが学修できる、4年間を通じた一貫教育のクサビ型カリキュラムを採用しています。

詳しくは☞ 各学科カリキュラム表へ

教員の約3割は企業等の実務経験者

実践的な教育指導

教員の約3割が企業等で実務経験を有し、多分野にわたる多彩な経験を活かした実践的な教育指導を行っています。現場で培った感性やノウハウは、論理だけではなし得ない問題解決の糸口となるはずです。是非、発想のヒントを修得してください。

学生生活も頼れる先生がいるから心強い

学年担当教員・指導教員

学年・学科ごとに学年担当教員が置かれています。入学後、各学期の始まりに個別面談を行い、勉強・研究の相談はもちろん、学生生活全般についての相談に応じます。また、研究室配属後は、研究室の教員が指導教員として多面的にサポートします。

手厚い就職支援体制

就職に強い大学

キャリアカウンセラーを中心とした多角的な支援体制が確立されています。学生が自らの力で自分の将来について考え、決断し、道を切り開いていくことができるよう、学生一人ひとりに寄り添い、教職員一丸となって誠実にサポートします。

就職内定率(令和2年3月31日現在)

100%

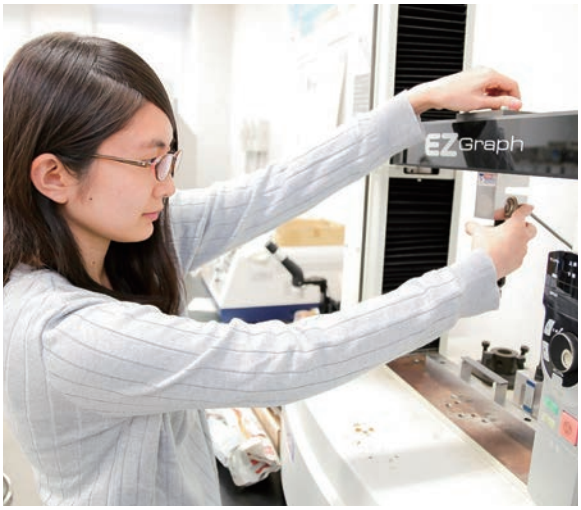
就職希望者291名
就職内定者291名

詳しくは☞ P22へ

入学してすぐに“研究”ができる！

学生自主研究

入学したら直ぐに研究が出来る本学独自の教育プログラムです。学生自らが研究責任者となり、指導教員や先輩のアドバイスのもと、計画的に研究を進めます。1研究あたり15万円を限度に研究資金を交付します。



詳しくは☞ P18へ

教員との交流がより学生生活を豊かにします

オフィスアワー

学生がより多くの教員と接する機会が得られるよう、教員はそれぞれ決まった時間に研究室に在室し、授業·進路·学生生活など様々な質問や相談に応じています。“教員と学生の距離が近い”、それが本学の大きな特色の一つです。

国際感覚を備えた人材を育成

海外留学プログラム

海外協定校等での短期研修や学生交流を目的とした「国際交流プログラム」などを実施しています。研修前オリエンテーションの開催、国際航空運賃やプログラム費用の支援など、様々な面で海外留学をサポートしています。

能力のある学生をもっと応援！

特待生制度(P116)

[認定要件]

★入学生特待生(秋田県内高校出身者のみ)

大学入学共通テストで本学指定科目を受験し一定の基準を満たした場合、年間授業料相当額(535,800円)を4年間、奨学金として給付します。

★在学生特待生

成績優秀者には年間授業料相当額の半額を給付します。

特待生に認定されたことで、学ぶことへの意欲や好奇心が強くなりました。自分の目で様々なものを見たいという思いから、大学の留学プログラムであるオーストラリア/ニューカッスル大学での語学研修に参加しました。秋田県立大学は、意欲があれば沢山のことを学ぶことが出来る場です。何事にも興味をもつことを大事にし、今後も学び、多くの経験をしていきたいです。

生物資源科学部 生物生産科学科 3年
佐々木 翔渚さん　SASAKI Kana
秋田県／横手清陵学院高校出身

学生の努力の成果を称え表彰します

表彰制度

秋田県立大学の学生たちは、勉強に研究にサークルに社会活動に、様々な分野で才能を開花させています。

秋田県立大学竿燈会
竿燈まつり妙技会「大若囃子方」優勝

ものづくりサークルS.E.I.M.
「電気自動車エコラン競技大会inSUGO」優勝

成績優秀者は卒業式で表彰

ツリーハウス同好会
「木を活かす学生活動大賞」を受賞

苦手な教科は入学前から強化

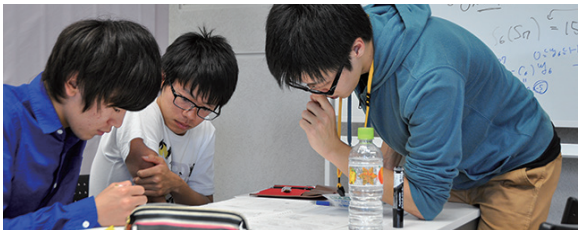
入学前準備プログラム

総合型選抜・推薦選抜で合格した学生には、大学生活スタートまでの時間を有効活用するため、月2～3回の添削指導やスクーリングなどを行います。入学前に基礎から学び、入学後の授業に備えることができるので安心です。

頼りになる先輩が学修をサポートします

ピアチューター制度

本荘キャンパスでは、先輩ピアチューターが数学・物理の質問に応じる「数学・物理駆けこみ寺」を開設しています。秋田キャンパスでは、「あきた地域学」などの授業を教員の補佐として先輩がしっかりサポートします。



大学院進学もバックアップ！

大学院優秀学生奨学金(P117)

[受給要件]

大学院博士前期課程に入学する本学学部生を対象とした奨学金です。学部3年次までの成績が、所属学科の上位10%以内の場合は年間授業料相当額の全額、10%を超え25%以内の場合は半額を奨学金として2年間支給します。

大学からの手厚い支援のおかげで、学びに対する意欲を高く保ちながら学生生活を送っています。ティーチングアシスタントとして講義の補助を行うなど、大学院ならではの貴重な経験を通して、大きく成長できました。秋田県立大学は自分自身の行動次第で大きく成長できる場所です。皆さんと共に、更に成長できることを楽しみにしています。

システム科学技術研究科 電子情報システム学専攻 1年
金子 駿也さん　KANEKO Shunya
秋田県／能代工業高校出身

創造力を育む“ものづくり”の活動拠点

創造工房

システム科学技術学部／本荘キャンパス

学生の自主的・創造的な“ものづくり”の活動拠点です。施設内部には工作道具や測定器、コンピュータなどプロも驚くような多様な機器がずらりと並んでいます。学内向けの体験型の科学教室や、子供たちにものづくりの楽しさを伝える夏休み科学教室なども開催しています。

WEB

“木材”を冠する国内唯一の研究所

木材高度加工研究所

附置研究所／能代市

(P97)
※教員紹介ページ

国内の大学機関に属する研究機関として、「木材」を冠する唯一の研究所。木質資源の理想的な循環系の確立を目指して、木材の基礎物性・加工・利用に関する研究と技術開発を行うとともに、高い技術力を備えた人材を育成するため、大学院教育にも取り組んでいます。

WEB

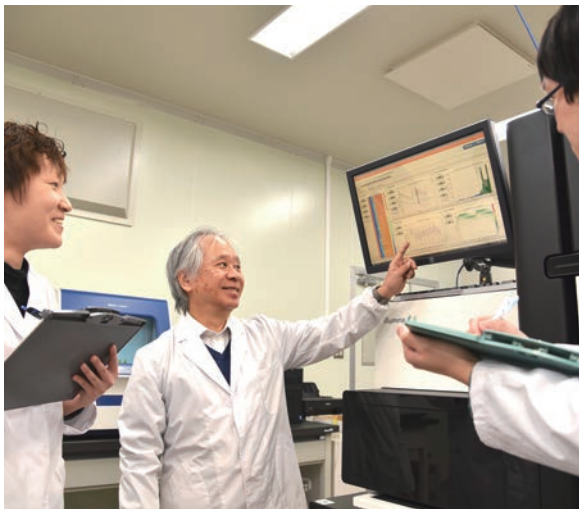
最先端のバイオテクノロジーを駆使して生命現象を解明

バイオテクノロジーセンター

生物資源科学部附属／秋田キャンパス

次世代シーケンサーをはじめ最先端機器が整備され、DNA塩基配列の解析や遺伝子組み換え植物の作製、デンプン構造解析などの受託解析を行っています。熊が人間を襲う事故が相次ぐなか、人間を襲った熊を特定するDNA鑑定・分析を県からの委託で行うなど、学内外のユーザーに広くサービスを提供しています。

WEB



全国一の広さを誇る大規模農場

フィールド教育研究センター

生物資源科学部附属／大潟キャンパス

(P90)

総面積190ha、東京ドームの建築面積の約40個分。そのうち圃場面積が164haあり、大学附属農場の中で全国一の広さ。水稲に加え、大豆や小麦などの畑作物、果樹や野菜、花きなどの園芸作物、牧草やトウモロコシなどの飼料作物が栽培されるとともに、42頭の肉用牛も飼養されています。

WEB

研究のスタート地点！ 学生の好奇心に応える教育プログラム

学生自主研究制度

入学したら直ぐに研究に取り組んでみたい！専門分野に触れたい！という積極的な学生の期待に応える本学独自の教育プログラムです。学生自らが研究責任者となり、指導教員や先輩のアドバイスのもと、計画的に研究を進めます。開学当初から導入している本制度には、多くの県大生が参加しており、充実したキャンパスライフを送る上で欠かせない制度です。

★応募資格　1・2年次の学生

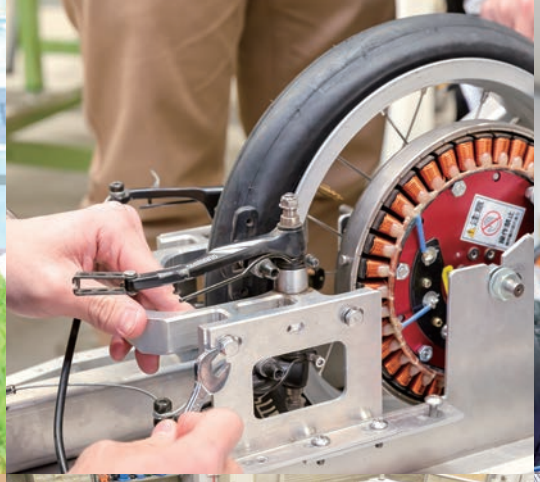
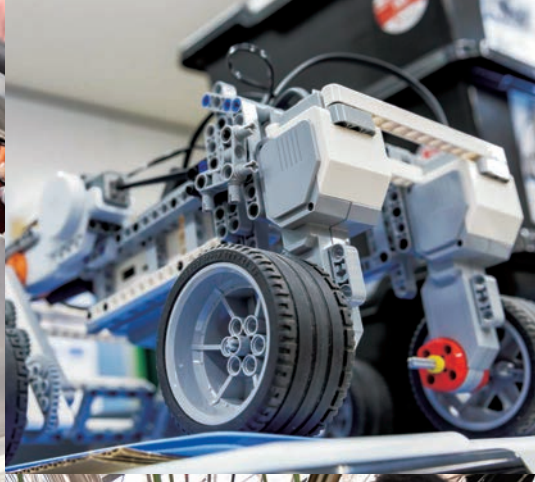
★研究資金　1件あたり15万円を限度に交付

★学生自主研究を行った先輩の声

・卒業研究に役立つ知識・技能が身につきました
・学生自主研究で研究テーマと出会い大学院にまで進学しました
・1年次から指導教員や研究室の先輩と仲良くなれました
・研究室配属前に学会発表やサイエンスインカレ出場などの貴重な経験ができました

先輩たちの
研究テーマをチェック

WEB

研究テーマ例 システム科学技術学部 [平成30年度：46件]

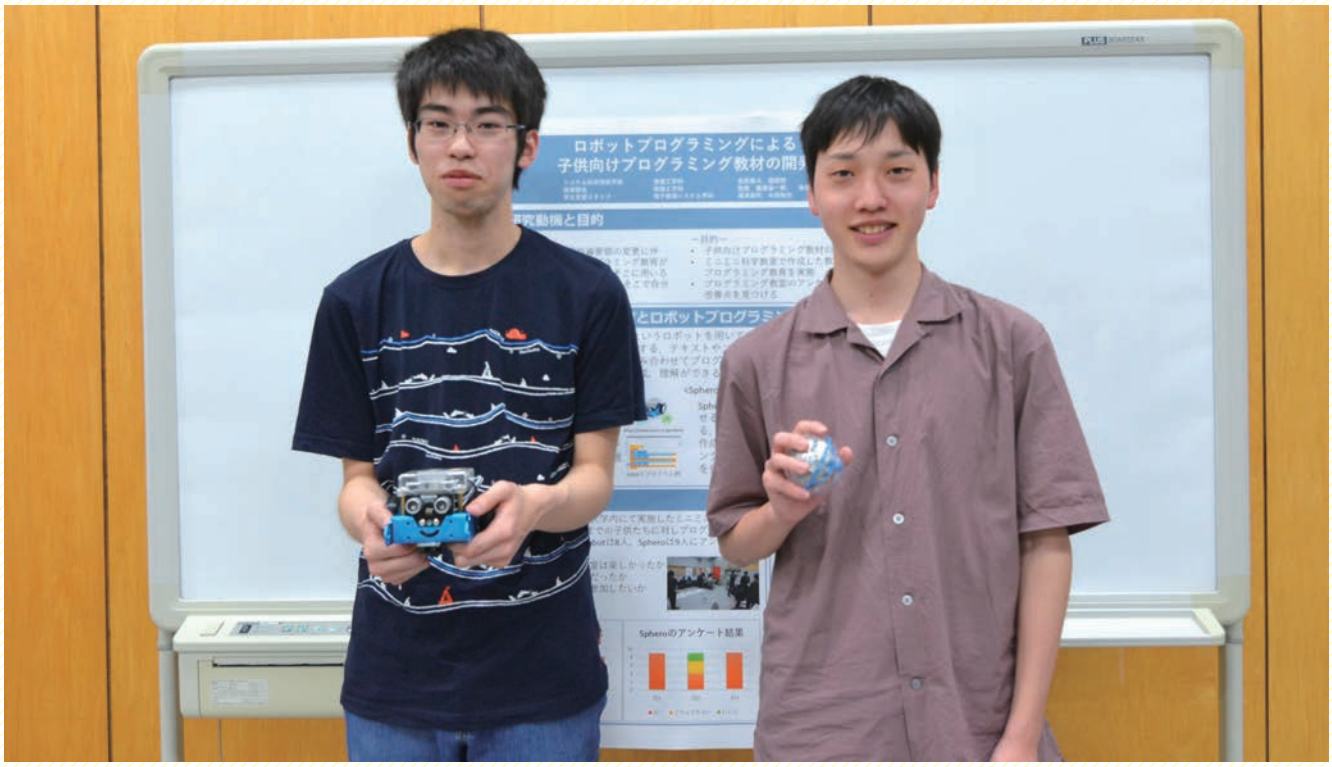
研究グループ名	研究テーマ
Foot	3DCADと3Dプリンタを用いた鉄道車両の輪軸モデルの設計製作
TRDA（東海ロボット開発局）	小型ロボット用電動モータ制御システムの製作
温泉発電研究グループ～チーム～ M.S.M	温泉発電によるLED照明システムの研究
高機動汎用ロボット生活支援班	伸縮腕による車いす生活の介助
えんたーきー	スマートリモコンによるラジコンの制御
人生ゲーム作製班	情報工学科版人生ゲームの作製
かれ～うどん。	ロボットプログラミングによる子供向けプログラミング教材の開発
㈲中山電子	VRを用いたスケートボードゲームの作成
SKS	本荘キャンパスの構造調査～見えないものに目を注ぐ～
紫外線研究グループ	紫外線による材料の劣化と周辺環境との関係について
うぐいす with MILK	女性ファッションの流行
Strategic Investors 2018	人の集まる秋田リゾート化計画！

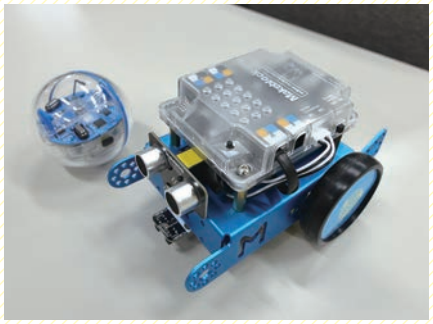
研究テーマ例 生物資源科学部 [平成30年度：36件]

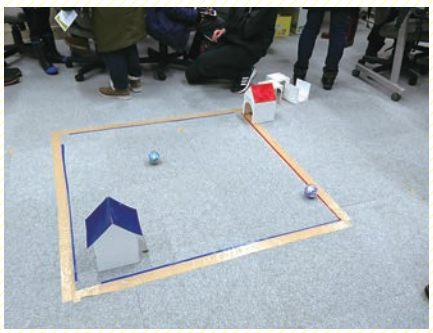
研究グループ名	研究テーマ
チームアマザケ	米以外で甘酒を作ったら？
植物と美白と私。	植物で美白になりたいっ！！
二湯流	有用酵素をもつ菌を秋田の温泉から探そう
糸つむぎ	秋田における綿花栽培法の確立
ぱいおべすてぃさいず	農薬を使わない方法で、植物の病気を抑えよう
こめっ娘	新規高アミロース米品種の米ゲルを使ったレシピ開発
くまさん水草調査隊	秋田県産浮草（duckweed）の水質浄化能を探る
Gaspillage	粉チョークと炭による水質浄化剤の開発
魚魚魚	魚っとするハーレム
体外培養研究グループ	代用卵殻でのニワトリの孵化を目指して
ミツバチを飼い隊！！	県大ハチミツの生産を目指して
Team chrysanthemum	伝統野菜「湯沢ぎく」の特性調査

学生自主研究レポート

システム科学技術学部







PICK UP ロボットプログラミングによる子供向けプログラミング教材の開発

チーム名 かれ〜うどん。

システム科学技術学部 情報工学科
2年　金原 隆斗（茨城県／竜ヶ崎第一高校出身）
2年　堀部　翔（秋田県／大館鳳鳴高校出身）

★この研究を選んだ理由と目的を教えてください

入学前からプログラミング分野に興味がありました。また、2020年から小学校でプログラミング教育がスタートするので、ロボットプログラミングを用いた教育を支援する教材の開発を目的としました。

★学生自主研究の良いところを教えてください

大学から研究経費等のサポートがあるので、自分のやりたい研究や興味を持った研究に取り組めます。また、3年生からの研究室配属前に研究室に入れるので、研究室の様子を体感できて、先生や先輩と仲良くなれます。

★学生自主研究で得たものは何ですか？

研究の流れと「プログラミング的思考」について体感できました。研究の流れは、4年次の卒業研究と基本的に同じ流れですし、プログラミング的思考は講義でも就職してからも必要となるものですが、簡単に身につくものではないため、講義以外でも養うことができたのは大きな経験になりました。

［指導教員の紹介］　指導教員がきめ細かく研究をサポート

［研究テーマ］　農業情報収集のための無線通信システム

秋田県において、農業は重要な産業の一つです。しかし、高齢化や人口減少により農作物の収量の減少や農業従事者の減少が問題となっています。また、農業従事者に農作業等の指導を行う農協職員は毎日管轄内の圃場を回り、作物の状況やハウス内環境等の確認を行うなど大きな負担があります。これらの問題に対して、LPWAとZigBeeという無線通信規格を用いた圃場管理システムを構築し、ハウス内の状況を遠隔監視できるシステムの構築に取り組んでいます。

橋浦 康一郎
助教（情報工学科）

学生自主研究レポート

生物資源科学部

PICK UP 秋田における綿花栽培法の確立

チーム名 糸つむぎ

生物資源科学部 生物生産科学科
3年　黒田 日菜（群馬県／桐生高校出身）
3年　細田 瑠花（秋田県／金足農業高校出身）

★この研究を選んだ理由と目的を教えてください

農家さんが主催するコットンワークショップで綿花に出合い興味を持ちました。温暖地域が原産の綿花を、秋田県のような寒冷地で育てるための有効な栽培方法を確立することを目的に研究を始めました。

★学生自主研究の良いところを教えてください

農家さんに出会ったり、コットンワークショップに参加して綿や綿花の存在がどれくらい一般の方々に知られているのかを実感したりすることができました。授業以外にも様々な体験ができました。

★学生自主研究で得たものは何ですか？

私たちが着る服の多くは綿が含まれており、とても身近であるにも関わらず、綿花の生態は知りませんでした。研究で綿花を栽培し、成長過程や花の形態、品種によって様々な違いがあることが分かりました。夏休みは灌水や計測作業が重なり管理が大変でしたが、たくさんの綿花を収穫できました。

［指導教員の紹介］　指導教員がきめ細かく研究をサポート

［研究テーマ］　果樹の新品種育成と秋田県の郷土作物の発掘

果樹の育種、特にリンゴを中心に新しい品種を創り出す研究をしています。育種の方法として、通常の交雑育種法ではなく、イオンビーム照射による突然変異育種法の開発を目指しています。また、地域に根ざした郷土作物「伝統野菜」の研究もしています。秋田県内には、山内ニンジンや三関せりなど多くの郷土作物がありますが、生産者が減っている現状もあります。先人によって育まれてきた伝統野菜を継承し、秋田県の郷土作物に付加価値を付ける活動もしています。

櫻井 健二
准教授（生物生産科学科）

CAREER SUPPORT

4年後の希望や夢に向かって、一緒になって考える
アツい支援体制が整っています

システム科学技術学部／主な就職・進学先

就職先企業実績（令和元年度卒業生）

【県内就職】■建設業：㈱サンコーホーム／積水ハウス㈱／横手建設㈱ **■製造業：**秋田エプソン㈱／㈱小滝電機製作所／㈱角館芝浦電子／㈱五洋電子／㈱タニタ秋田／TDK㈱／㈱日立ソリューションズ・テクノロジー **■情報通信業：**エイデイケイ富士システム㈱／㈱NTT東日本ー東北／北日本コンピューターサービス㈱／㈱ジェイテクトIT開発センター秋田／東光コンピュータ・サービス㈱ **■卸・小売業：**㈱池田 **■金融・保険業：**㈱秋田銀行 **■複合サービス業：**かづの農業協同組合 **■その他：**㈱草階建築創作所／㈱ソユー／能代商工会議所／(医)明和会

【県外就職】■建設業：㈱アールプランナー／エステート住宅産業㈱／㈱大林組／㈱奥村組／㈱オノヤ／鹿島建設㈱／㈱鴻池組／㈲小島工業所／佐藤工業㈱／第一建設㈱／㈱大氣社／東北発電工業㈱／㈱トーエネック／西松建設㈱／ハーバーハウス㈱／㈱フジタ／㈱丸高／三菱電機ビルテクノサービス㈱／三菱マテリアルテクノ㈱／村本建設㈱／㈱ユアテック **■製造業：**アイシン・エィ・ダブリュ㈱／アルパイン㈱／アルバック東北㈱／いすゞ自動車㈱／オイレス工業㈱／応用電機㈱／㈱北村製作所／㈱キッツ／錦正工業㈱／倉茂電工㈱／㈱コガネイ／シチズン時計マニュファクチャリング㈱／シンフォニアテクノロジー㈱／スズキ㈱／セイコーエプソン㈱／㈱総合車両製作所／ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング㈱／太陽誘電㈱／㈱ツガミ／㈱ティラド／デクセリアルズ㈱／東亜工業㈱／東芝テック㈱／東芝メモリ岩手㈱／東洋電機製造㈱／栃木精工㈱／ニッパツ・メック㈱／日本精機㈱／㈱ブルボン／丸井織物㈱／㈱ヨロズ／ラピスセミコンダクタ宮城㈱ **■電気・ガス・水道業：**東北電力㈱ **■情報通信業：**㈱アルチザネットワークス／㈱ヴィンクス／㈱内田洋行ITソリューションズ／㈱SRA／㈱SKB／NRIシステムテクノ㈱／NECソリューションイノベータ㈱／㈱NTTデータエンジニアリングシステムズ／㈱クリエーション・ビュー／さくら情報システム㈱／CDS㈱／㈱ジェイテック／㈱中央コンピュータシステム／ディップ㈱／㈱テクノモバイル／デンソーテクノ㈱／東杜シーテック㈱／東邦ガス情報システム㈱／トーテックアメニティ㈱／㈱名古屋テレビ映像／㈱ビーネックスソリューションズ／㈱東日本技術研究所／㈱日立ソリューションズ・クリエイト／㈱日立ハイシステム21／㈱富士通システムズアプリケーション&サポート／㈱富士通新潟システムズ／三菱電機インフォメーションネットワーク㈱／㈱メビウス／㈱ユードム／㈱ユニバーサルコムピューターシステム／㈱LYZON／㈱両毛システムズ／㈱ワイズマン **■運輸・郵便業：**西日本旅客鉄道㈱／東日本高速道路㈱／東日本旅客鉄道㈱ **■卸・小売業：**アイリスオーヤマ㈱／㈱内田洋行／カメイ㈱／㈱シジシージャパン／㈱仙台銘板／ナイス㈱ **■金融・保険業：**㈱足利銀行／㈱きらやか銀行／㈱群馬銀行 **■その他：**㈱エンテックス／㈱オオバ／㈱久慈設計／三栄ハイテックス㈱／セントラルコンサルタント㈱／㈱ディックソリューションエンジニアリング／㈱テクノプロ／東京都住宅供給公社／㈱VSN／㈱ホンダテクノフォート／三菱電機エンジニアリング㈱／㈱メイテック／㈱USEN-NEXT HOLDINGS／㈱ワールドインテック

【公務員】秋田市役所【機械】／秋田市役所【建築】／秋田県教員【講師】／埼玉県警察／自衛隊

大学院修了生の就職先一覧

（令和元年度修了生）

システム科学技術研究科

【県内就職】■製造業：TDK㈱／ミネベアミツミ㈱ **■運輸・郵便業：**東日本旅客鉄道㈱

【県外就職】■建設業：㈱大林組／髙松建設㈱／ニッタン㈱ **■製造業：**アイシン精機㈱／出光興産㈱／㈱荏原製作所／CKD㈱／㈱SUBARU／太陽誘電㈱／TDK㈱／ティービーアール㈱／デクセリアルズ㈱／東洋製罐㈱／㈱日東紡績／日本化薬㈱／㈱日立国際電気／㈱富士通ゼネラル／古河電気工業㈱／マニー㈱／ミネベアミツミ㈱／ヤマトプロテック㈱／横浜ゴム㈱／リコーインダストリー㈱／YKK㈱ **■情報通信業：**AJS㈱／クリムゾンテクノロジー㈱／㈱DSR／日興システムソリューションズ㈱／富士通㈱／㈱富士通研究所／㈱ブレインパッド **■その他：**キリンエンジニアリング㈱／シービーアールイー㈱／㈱D・I・G Architects／DOWAホールディングス㈱／日本総合住生活㈱／三菱電機エンジニアリング㈱

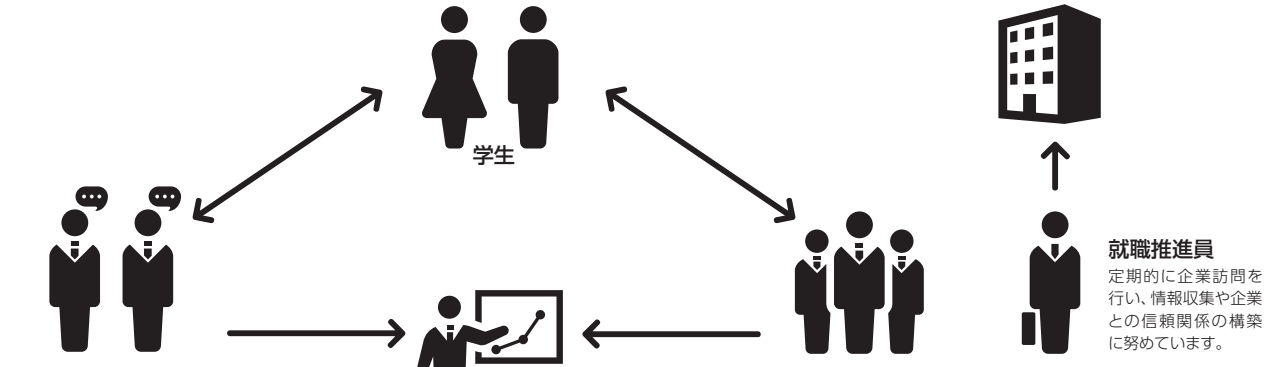
【公務員】国土交通省東京航空局【機械】

大学院進学実績（過去3か年）

秋田県立大学大学院／東北大学大学院／秋田大学大学院／千葉大学大学院／山梨大学大学院／東京大学大学院／東京工業大学大学院／電気通信大学大学院／新潟大学大学院／北陸先端科学技術大学院大学／芝浦工業大学大学院

万全のキャリア支援体制　MAKE YOUR FUTURE

キャリアカウンセラーを中心としたキャリア支援チーム、指導教員、学年担当教員、キャリア支援委員会、さらには就職推進員が連携・協力する多角的な支援体制が確立されています。教職員一丸となって、学生へのきめ細かな支援を実現しています。



学年担当教員／指導教員
学年担当教員及び卒業研究の指導教員が学生を見守り、個々の適性を判断しながらアドバイスします。

キャリア支援委員会
学生の就職・進学活動状況を把握しながら、個別のサポートを実施しています。

キャリア支援チーム（キャリア情報センター）
企業の採用動向、求人情報を収集し、履歴書等の添削、面接練習などを行っています。キャリアカウンセラーを中心にしたキャリア支援チームが、将来の人生設計も含め、きめ細かく支援します。

就職推進員
定期的に企業訪問を行い、情報収集や企業との信頼関係の構築に努めています。

生物資源科学部／主な就職・進学先

就職先企業実績（令和元年度卒業生）

【県内就職】■農業・林業：白雪農園 **■製造業：**アルフレッサファインケミカル㈱／㈱たけや製パン／TDK㈱／ニプロ㈱／㈱UMNファーマ **■情報通信業：**㈱フィデア情報総研 **■運輸・郵便業：**東日本旅客鉄道㈱ **■卸・小売業：**㈱アキタシステムマネジメント／㈱秋田スズキ／㈱池田／㈱NHC／㈱エム・イー／出羽青岩アグロ㈱／㈱東北マツダ **■金融・保険業：**あいおいニッセイ同和損害保険㈱／㈱秋田銀行／第一生命保険㈱／農林中央金庫／㈱北都銀行 **■複合サービス業：**秋田なまはげ農業協同組合／全国農業協同組合連合会 **■その他：**㈱プライムハウス／エヌエス環境㈱／秋田県厚生農業協同組合連合会／(医)明和会

【県外就職】■農業・林業：㈱アキタフーズ／小野寺牧場／㈱シムコ／ニイプロ㈱ **■建設業：**㈱島津アクセス／新菱テクニカルサービス㈱ **■製造業：**伊藤ハムデイリー㈱／㈱エスビーサンキョーフーズ／キユーピー㈱／JA東日本くみあい飼料㈱／㈱ジャパス／太子食品工業㈱／プライフーズ㈱／㈱武蔵野フーズ／雪印種苗㈱／㈱ヨコオデイリーフーズ／米屋㈱／理研食品㈱／三徳化学工業㈱／㈱シノテスト／第一薬品工業㈱／日新製薬㈱／日東メディック㈱／ニプロファーマ㈱／㈱日本色材工業研究所／武州製薬㈱／㈱アサカ理研／ニプロ㈱／㈱山本製作所／青森オリンパス㈱ **■情報通信業：**新日本コンピュータマネジメント㈱／㈱ビーネックスソリューションズ／㈱プロトコーポレーション **■運輸・郵便：**日本ロジテム㈱ **■卸・小売業：**㈱ヰセキ関西中部／㈱大田花き／㈱オーラルケア／㈱庫や／㈱十文字チキンカンパニー／㈱誠和。／日本食研ホールディングス㈱／ひかり味噌㈱／㈱平田牧場／丸果石川中央青果㈱／㈱八千代ポートリー／渡辺パイプ㈱／イオンベーカリー㈱／㈱北海道産地直送センター／㈱Mountain Bull **■複合サービス業：**全国農業協同組合連合会／日本郵便㈱／みなみ信州農業協同組合 **■その他：**㈱アドクリーン／㈱HDフラワーホールディングス／㈱環境管理センター／㈱三協技術／サンスイコンサルタント㈱／三洋テクノマリン㈱／(一財)食品環境検査協会／内外エンジニアリング㈱／㈱バローホールディングス／ファームドゥホールディングス㈱／㈱復建技術コンサルタント／ベリフィケーションテクノロジー㈱／㈱オーイズミダイニング／JR東日本東北総合サービス㈱／㈱公楽／(一財)茨城県薬剤師会検査センター／(福)長老会

【公務員】秋田県庁【畜産】／秋田県庁【農学(一般)】／秋田県庁【農業農村工学】／北海道庁【総合土木A】／北海道庁【普及職員(農業)】／山形県庁【総合土木】／長野県庁【農業】／愛知県庁【農業土木】／兵庫県庁【農学職】／秋田市役所【行政A】／東北農政局【農業農村工学】

大学院進学実績（過去3か年）

秋田県立大学大学院／岩手大学大学院／東北大学大学院／筑波大学大学院／国際医療福祉大学大学院／山梨大学大学院／信州大学大学院／総合研究大学院大学／北陸先端科学技術大学院大学／京都府立大学大学院／奈良先端科学技術大学院大学

大学院修了生の就職先一覧
（令和元年度修了生）

生物資源科学研究科

【県外就職】■農業・林業：㈱アグリテクノ **■建設業：**加藤建設㈱ **■製造業：**㈱津田商店／EAファーマ㈱／日本液炭㈱／福島キヤノン㈱ **■情報通信業：**㈱島津ビジネスシステムズ **■卸・小売業：**シンジェンタジャパン㈱／フナコシ㈱ **■複合サービス業：**ホクレン農業協同組合連合会 **■その他：**㈱イデアル／オリジナル設計㈱／㈱土木管理総合試験所／日本工営㈱／(一社)日本植物防疫協会／㈱LSIメディエンス／WDB㈱／㈱テクノプロ

SUPPORT PROGRAM

満足度100%の就職へ向けて、初年次からキャリア関連講座やジョブシャドウイングなどを実施し、キャリアに対する「気づき」を促します。その後、学年進行に応じて、インターンシップやキャリアガイダンスなど、より具体的かつ多彩なサポートプログラムを提供します 。

学び

1年次

基礎力を自分のものにする！

基礎知識を身につけるとともに、本学の特長である「クサビ型カリキュラム」により早期に専門分野に触れるほか、「学生自主研究」で学ぶ意欲を喚起します。実習や体験型の教育もスタートします。ここが、未来への第一歩です。

2年次

専門性を高める！

1年生で修得した基礎知識をもとに、専門分野の講義だけでなく、実験・実習を通じて専門的な技術を学びます。講義で得た知識を実際に現場で体験することにより、専門性を高めるとともに、自らの興味・関心分野を見つけます。

キャリア支援

両学部共通

キャリア教育は入学後からスタート。自らの仕事観について考えることや、大学生活においても社会に出てからも自らを磨く基礎となるコミュニケーションの基本的知識・スキルを身に付けます。

- コミュニケーション入門・現代の働く環境
- ①ジョブシャドウイング

1・2年生を対象とした県内企業における観察型の一日インターンシップ。学生が事業所で働く大人に「影」のように寄り添い、仕事を観察する実習プログラムです。

- ②インターンシップ

2・3 年生を中心に、夏季休業期間中インターンシップを実施。実社会の場で就業体験を積むことで職業意識を高めます。所定の条件を満たした場合は単位認定します。

システム科学技術学部

ものづくりの楽しさを実際に体験。
これから学ぶ学問分野への動機づけを行います。

- 創造科学の基礎

一人ひとりが自分の持っている能力や資質を的確に把握して、将来への展望を拓くためのキャリア設計を考える導入講座です。就職観を育み、職業選択の動機づけを図ります。

- 低学年向けキャリアガイダンス

生物資源科学部

レポート・論文の作成指導、学修の動機づけ、大学生活への適応など、高校から大学への円滑な移行を図ります。

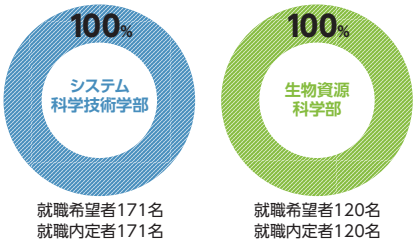
- フレッシャーズ・セミナー
- 生物資源科学への招待

就職活動を円滑に進めるために、心のコントロールの仕方や、自己の再発見について学びます。

- キャリア開発講座

本年度も 就職内定率100%を達成！

令和元年度卒業生376名のうち就職希望者は291名（77.4%）、
大学院進学希望者は76名（20.2%）、専門学校進学等は9名（2.4%）です。



システム科学技術学部：就職希望者171名 就職内定者171名

生物資源科学部：就職希望者120名 就職内定者120名

3年次

実践力を培う！

より専門性の高い講義や実験・実習、選択科目の講義も多くなり、興味のある分野をさらに深く実践的に学びます。3年次後半からはいよいよ研究室・研究テーマが決まり、本格的に研究がスタートします。ゼミも経験します。

4年次

卒業研究、学びの集大成へ！

学びの集大成「卒業研究」に1年をかけて取り組みます。これまで学んできた知識・技術・実践力を駆使し研究に没頭します。課題発見・解決能力が身につき、社会に役立つ技術者として卒業します。研究をさらに深めるため、大学院に進学する学生もいます。

キャリアガイダンス

キャリアガイダンス

4月から翌年1月まで、原則毎週1回、3年生を対象にガイダンスを実施しています。

(主なプログラム)

インターンシップガイダンス／職業適性検査の受検／SPI能力模擬試験／模擬面接／Webテスト対策講座／履歴書対策講座／内定者体験発表会／リクルートスーツ・メイク講座／就活マナー講座／面接試験対策／グループディスカッション練習／OB・OG懇談会／仕事・業界研究　など

企業説明会

SMART CITIES OF THE FUTURE

2学部 9学科の学び

秋田県立大学の“農×工”の幅広いフィールドには、無限の可能性が広がっています。

システム科学技術学部

機械工学科 P.32

熱工学／磁性材料／バイオマス／環境発電／マイクロ水力発電システム／合金／小型風力発電システム／振動／精密加工／切削・研削・研磨／複合材料／レーザー工学

知能メカトロニクス学科 P.38

運転支援システム／回転モータ／画像診断／危険運転予測／航空機システム／自動運転／電子材料／電磁波／脳情報工学／半導体材料／ミリ波・テラヘルツ波／ロボット

情報工学科 P.44

スマート農業／情報教育／工学教育／3D／音響技術／音響信号処理／人工知能／ネットワーク／バーチャルリアリティ／プログラミング／自然言語処理／画像認識

建築環境システム学科 P.50

インテリアデザイン／寒冷地の建築／空調・換気／建築都市デザイン／公共施設／こどものあそび空間／耐震補強設計／耐津波設計／鉄筋コンクリート造建物／都市計画／まちづくり

経営システム工学科 P.56

コストマネジメント／消費者行動／商品開発／大気環境／データ分析／ビジネスモデル／品質管理／水環境／起業／金融経済／救急システム／環境教育／応用経済

生物資源科学部

応用生物科学科 P.66

微生物共生／iPS 細胞／ウイルス／機能性食品／減塩／酵母／コーヒー／醸造／発酵／食品素材利用／生活習慣病の解明／乳酸菌／バイオサイエンス／検査・分析／医薬品

生物生産科学科 P.72

品種改良／遺伝育種／遺伝子／花粉／昆虫／植物工場／低カリウム野菜／植物のお医者さん／ダイエット米／農薬／バイオテクノロジー／肥料／付加価値生産物／薬用植物

生物環境科学科 P.78

農・林ビジネス／水質浄化／気象観測／昆虫／樹木医／森林生態系／クマ／土づくり／環境アセスメント／土壌修復／フィールドワーク／山と海のつながり／環境型社会

アグリビジネス学科 P.84

農業起業／食品流通／園芸／果物／グリーンツーリズム／家畜／畜産動物／ウシ／ドローン／フードビジネス／リモート農業／ロボット農業／野菜／農業農村整備／農地水利用

システム科学技術学部

FACULTY OF
SYSTEMS SCIENCE AND TECHNOLOGY

本荘
キャンパス

「システム思考」による幅広い視野を持ち、未知の課題に果敢に挑戦する創造力豊かな人材を育てる。

IoTの発達やビッグデータの活用などにより、社会を含めたいろいろなシステムをより効率的に最適に設計・活用することが可能になってきました。その時に必要になるのが、個々の専門分野だけではなく、関係する知識や技術を有機的に結び付け、地域社会とも連携しながら仲間とプロジェクトを進めていく「システム思考」と行動力です。

システム科学技術学部では、最新の学習機器や研究設備を用意し、基礎的なサイエンスから最先端のテクノロジーまでをバランスよく学ぶことができます。多彩な教員の指導と教育プログラムにより、地域社会ともかかわりを持ちながら「システム思考」を身に付け、活用するための教育を行っています。

秋田県は自然が豊かで、利用できるエネルギーや資源も豊富にあり、工学の分野にあっても自然から学ぶことがたくさんあります。再生可能エネルギーの利用や農工連携など、持続可能な循環型社会に必要な研究・開発も行っています。本学部では、「ものづくり」・「ひとづくり」を通して豊かな社会の発展に貢献することを目指します。

システム科学技術学部長
水野 衛 教授

水野教授からの
メッセージを動画で
ご覧いただけます。

各学科の特徴

機械工学科

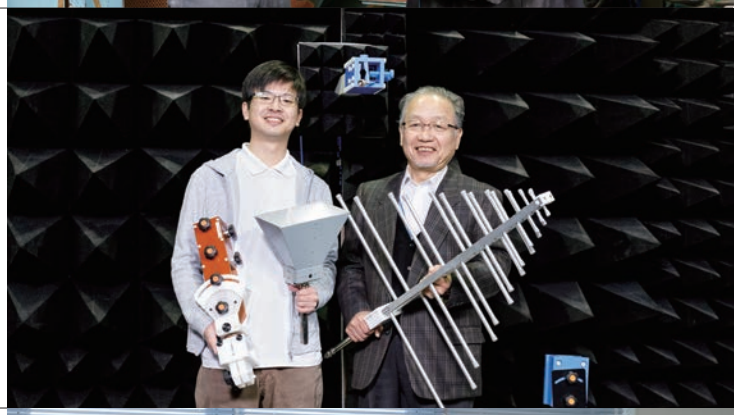
入学定員 60名

取得可能資格	◎高等学校教諭一種免許状(工業)
取得可能受験資格	◎一級技術検定(指導監督的実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験) ◎二級技術検定(実務経験1年以上)
活躍が期待される分野	輸送用機器の開発、設計／電気機器の開発、設計／熱機器・流体機械の開発、設計／生産技術、品質管理／インフラ設備の運転、保守／セールスエンジニア

知能メカトロニクス学科

入学定員 60名

取得可能資格	◎高等学校教諭一種免許状(工業)
取得可能受験資格	◎一級技術検定(指導監督的実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験) ◎二級技術検定(実務経験1年以上)
活躍が期待される分野	制御・計測、メカトロ設計／生産技術、品質管理／デバイス開発、設計／電子、制御システム設計／情報、通信システム設計／システムエンジニア／セールスエンジニア



情報工学科

入学定員 40名

取得可能資格	◎高等学校教諭一種免許状(情報)
取得可能受験資格	◎一級技術検定(指導監督的実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験) ◎二級技術検定(実務経験1年以上) ◎工事担任者(ネットワーク接続技術者)受験科目の一部免除
活躍が期待される分野	ITソリューション、ITインフラ設計／映像音響システム設計／情報、通信システム設計／組み込みシステム設計／ソフトウェア開発／システムエンジニア／技術コンサルティング

建築環境システム学科

入学定員 40名

取得可能資格	◎高等学校教諭一種免許状(工業)
取得可能受験資格	◎一級建築士試験 ◎二級建築士試験 ◎木造建築士試験 ◎一級技術検定(指導監督的実務経験1年以上を含む3年以上の実務経験) ◎二級技術検定(実務経験1年以上)
活躍が期待される分野	建築設計(意匠、構造、設備)／建築施工管理／建築製品開発、製造／建築行政(公務員)

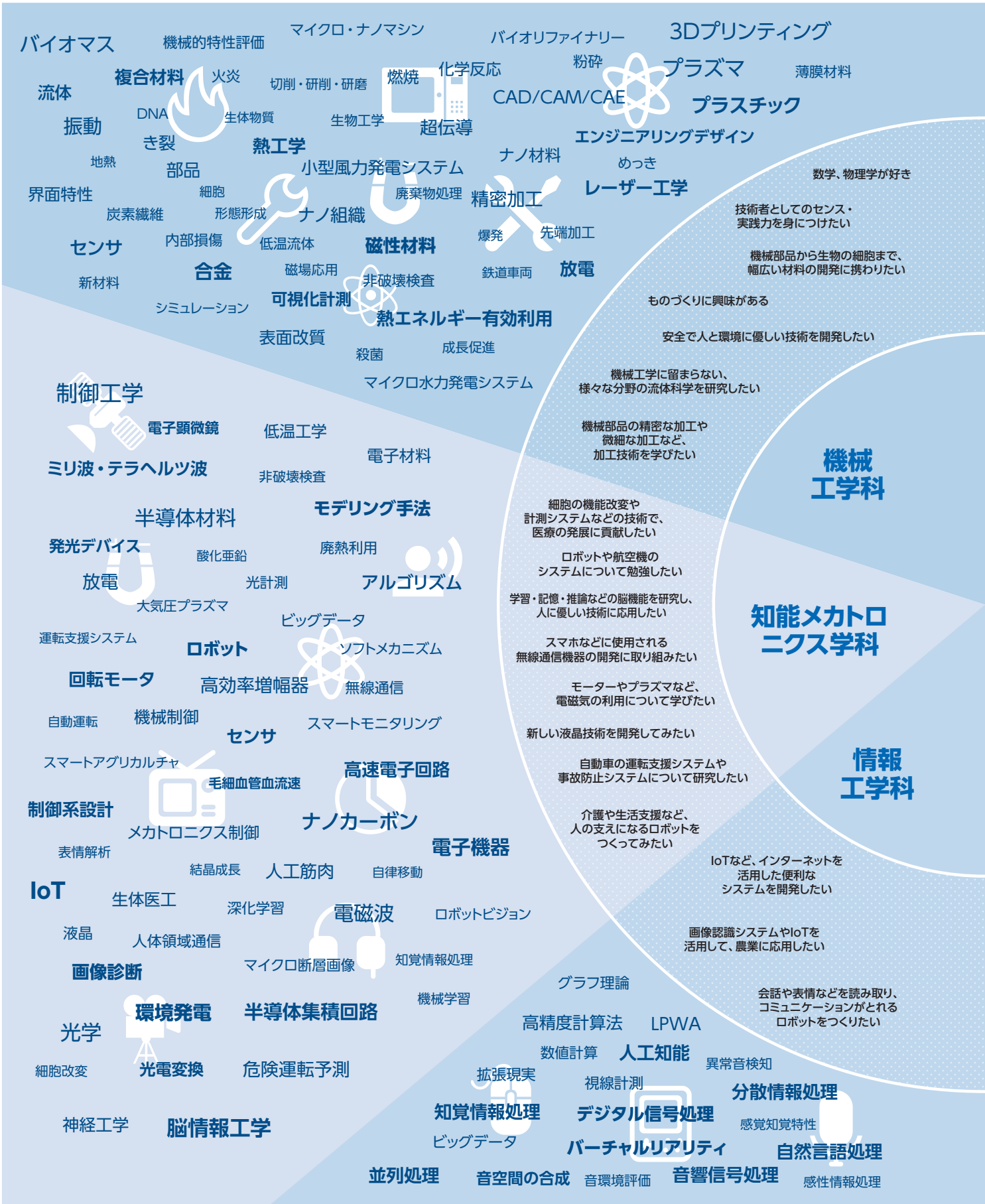
経営システム工学科

入学定員 40名

取得可能資格	◎高等学校教諭一種免許状(工業)
取得可能受験資格	◎甲種危険物取扱者試験
活躍が期待される分野	経営コンサルティング、プロジェクトマネジメント、テクニカルエバンジェリスト、CSR／データサイエンティスト、ファイナンシャルプランニング、銀行、証券／生産管理、品質管理、工程管理、環境管理、ロジスティクス／マーケティング、商品開発、販売企画、販売データアナリシス

FACULTY OF SYSTEMS SCIENCE AND TECHNOLOGY

学びのキーワード



建築環境
システム学科
経営
システム
工学科
秋田ならではの
カリキュラムで寒地建築や
木質構造などを学びたい
3次元CADやBIMなど
実践的な技術を身につけたい
地震や台風などに強い
安全な建築物をつくりたい
建築に使われる材料について研究し、
新しい構法や補修方法を考案したい
快適で健康な生活のための、
建物内の熱空気環境について研究したい
都市の基本計画や計画の実施方法、
都市空間の分析・デザイン、災害用の
情報システムの開発など、まちづくりに携わりたい
ユニバーサルデザインや
公共施設の計画、色彩環境、建築史など、
建築デザインに関わる様々な
要素を研究したい
経営に理数系の
知識を活かしたい
資産や負債の管理、取引、
運用などの知識を身につけたい
ビッグデータを活用した
ビジネスに興味がある
戦略的なマーケティングや
商品開発などを実践できるようになりたい
統計、企画など、データ分析から、
数理的に効率を上げる力を身につけたい
持続可能なものづくりや
サービスのため、
実際に技術に触れつつ学びたい
数学が好き、数学を活用したい
将来、社長になりたい
音響に興味があり、
最新の音響技術を研究したい
子供向けの情報教育のための
教材を開発し、教育に貢献したい
交通安全や医療などの社会の
現場で役に立つ技術を研究したい
映像や音を研究し、
VRやARの発展につなげたい
地方都市再生
ミュージアム
壁部材
秋田スギ
まちづくり
振動特性分析
建築・都市デザイン
照明
文化財建築物
補修・補強
地震時損傷予測
寒冷地の建築
地理情報システム
建築気候
健康リスク
蟻害
ふるさと教育
心理効果
耐震補強設計
鉄骨造建物
構造設計
都市計画
非破壊
CGシミュレーション
色彩印象評価
住宅政策
集落の景観保全
熱環境設計
鉄筋コンクリート造建物
インテリアデザイン
地域コミュニティ
塩害防止
カーナビ
省エネ
免震構造
低炭素社会
森林資源の利用
常時微動測定
伝統木造建物
こどものあそび空間
快適性
木造構法
コンクリート
公共施設
超高層制振建物
伝統的街並
農的・自然的空間
FEM解析
ダンパー
空調・換気
部材劣化診断
木質材料
サーモグラフ
農業データ分析
振動台実験
耐津波設計
ビジネスモデル
バーチャルリアリティ
IoTビジネス
経営科学
データサイエンス
オープンデータ
シミュレーション
信用リスク分析
オペレーションズリサーチ
消費者行動
応用経済
管理会計
数理統計学
コストマネジメント
経営情報戦略
ビッグデータ
不完全データ分析
集合最適化
行政
品質管理
意思決定モデル
特徴解析
応用数学
データ収集・分析・管理
起業
社会福祉
組織変革
最適化理論
ベクトル最適化
情報システム構築
地域活性化
金融経済
排水処理技術
避難計画
環境システム解析
環境資源経済
地理情報システム
救急システム
リサイクル技術
環境鑑識学
都市解析
プログラミング
リスクマネジメント
環境科学
シミュレーション
工学教育
大気環境
ライフサイクルアセスメント
暗号化技術
電気化学反応
環境負荷
画像処理
情報教育
ディープラーニング
環境教育
音場制御
高度交通システム
スマート農業
心身状態評価技術
感情認識
フィジカルコンピューティング
ライフサイクルコスティング
IoT
ネットワーク
農業情報処理
計算機科学
機械学習
3D音響符号化
組み込みシステム
情報セキュリティ
農業ICT
ヒューマンインタフェース
複合現実
会話ロボット
音声合成
脳活動計測
アルゴリズム
モバイルネットワーク
無線通信システム
画像認識
パターン認識
文書理解
システム開発
コンピュータビジョン

機械工学科

DEPARTMENT OF MECHANICAL ENGINEERING

WEB

機械工学科運営ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/system/me/index.htm

木材を粉砕し、全く新しい材料・利用法を産み出す

公立で、少人数教育である点に魅力を感じ、秋田県立大学を選びました。機械工学科は教員との距離が近いことから、自分が所属していない他の研究室の先生にも気軽に質問などできる環境にあると思います。印象に残っている授業としては、設計製図Ⅱで3次元CADによるモデリング、解析を学んだことです。自分の思い描いた物を3Dモデルで形にすることができ、おもしろかったです。また、CAD/CAMでは、CAD、CAM、NC加工機についての仕組みや関係性を学びました。実習では、生成したNCコードを用いて実際に3軸マシニングセンタで加工を行いました。手作業では不可能な加工は興味深かったです。現在は、熱溶解積層方式の3Dプリンターで使用するPLA樹脂と、乾式粉砕された木材粉末の混錬を目指して研究を行っています。使用する木材粉末は、所属する研究グループが開発した、リング媒体利用粉砕機によって調製するものです。将来は、機械産業の分野において開発や設計の業務を行い、活躍したいです。

機械知能システム学科 4年※ 白岩 倭 さん SHIRAIWA Yamato
静岡県／掛川西高校出身

※現在の機械工学科の前身となる学科です。

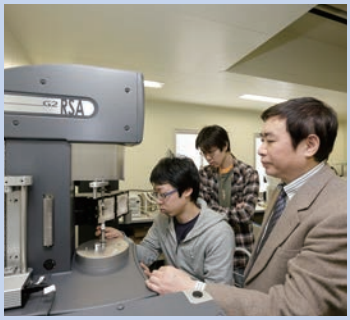
地球資源・エネルギーの有効活用による、人と環境に優しい高度機械システム

地球資源・エネルギーの有効活用による、人と環境に優しい高度機械システムに関する教育と研究を行います。教育では、機械工学の基礎をなす材料力学、熱力学、流体力学、機械力学を重視し、ものづくりに必要な知識と技術を修得するための授業を行います。また、プロジェクト型授業などを導入し、“機械屋”としてのセンス・実践力を養います。エネルギーシステム、輸送機械、生産システムを対象に社会での機械と人間の役割・責任分担を理解し、システム思考によって個々の専門分野の有機的結合を行います。そして、問題発見・解決型実践的学習を通して、地域の社会基盤を支える実践的技術者の育成を行います。

機械工学科 学科長
鶴田 俊 教授

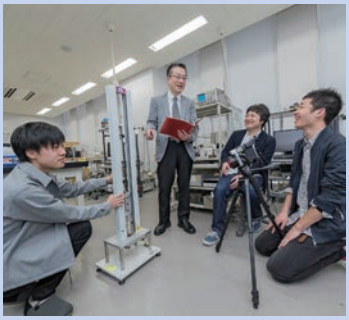
材料構造工学講座

応用材料力学研究グループ



- バイオマスを利用した高分子複合材料の高機能化
- 高分子材料の高度利用 –異種材料接合および塑性加工技術–
- 振動現象を用いた機械材料や岩体にあるき裂の評価に関する研究

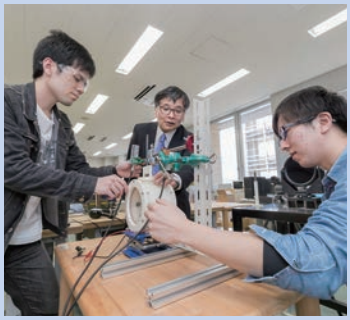
先端材料研究グループ



- 複合材料と機能性材料の変形・内部損傷過程の解明と予測
- 超急冷技術による材料の組織制御と新しい構造・機能材料の開発
- ナノ粒子による新機能性材料の創製とその応用に関する研究

熱・流体工学講座

熱科学研究グループ



- 熱エネルギーの利用および制御の研究
- 燃焼技術の利用および制御の研究
- 植物由来エネルギーの高度利用の研究
- 生物・バイオ材料に関する流体科学的及び医工学的な基礎研究

流体科学フロンティア研究グループ

- 新規機能性サスペンションや機能性流体開発のための基礎研究
- 超伝導体と磁性流体を用いた高効率アクチュエータの開発

設計生産工学講座

応用機械設計研究グループ

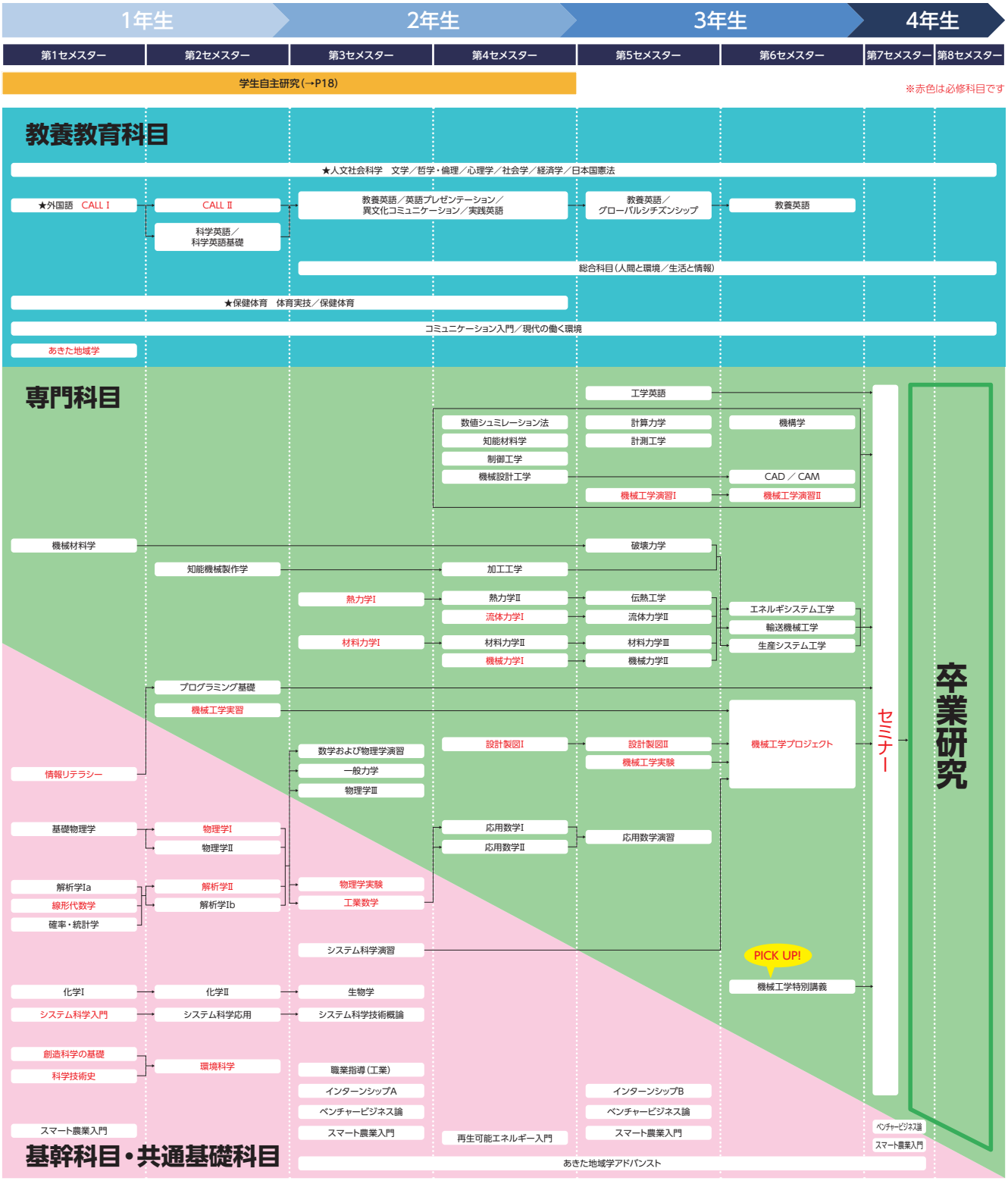
- 熱流体を利用したエネルギーシステムの効率向上に関する研究
- 放電やプラズマの特性を利用する環境負荷の低い新技術の研究
- 機械的微粉砕を利用した木質バイオマスの利用に関する研究

先端加工研究グループ

- 超音波を援用・利用した精密加工技術の高度化開発
- MCF（磁気混合流体）スラリーを用いたナノ精度研磨技術の開発
- 微細切削加工における微小径工具の加工プロセス最適化

カリキュラム

DEPARTMENT OF MECHANICAL ENGINEERING



機械工学特別講義

毎週各分野で活躍されている専門家の方々から最先端の話題を直接聴くことができ、研究者やエンジニアとして研究開発に取り組む姿勢や考え方を学ぶことができます。機械工学を学ぶ学生として、卒業研究や就職後のキャリアプランに役立ちます。

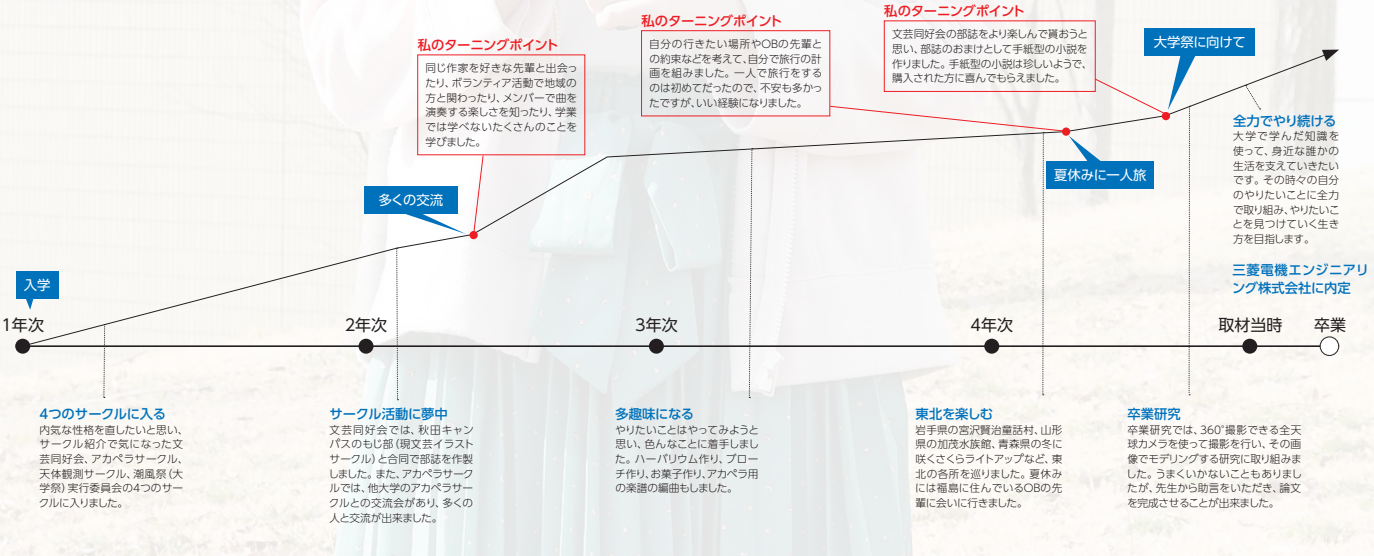
私の成長ストーリー
follow the tracks

機械知能システム学科［4年］
※現在の機械工学科の前身となる学科

佐藤 初音 さん
SATOH Hatsune

新潟県／新発田高校出身
三菱電機エンジニアリング株式会社に内定

素敵な人生といえるよう、
多くの経験をしていきたい



私のターニングポイント
同じ作家を好きな先輩と出会ったり、ボランティア活動で地域の方と関わったり、メンバーで曲を演奏する楽しさを知ったり、学業では学べないたくさんのことを学びました。

私のターニングポイント
自分の行きたい場所やOBの先輩との約束などを考えて、自分で旅行の計画を組みました。一人で旅行をするのは初めてだったので、不安も多かったですが、いい経験になりました。

私のターニングポイント
文芸同好会の部誌をより楽しんで貰おうと思い、部誌のおまけとして手紙型の小説を作りました。手紙型の小説は珍しいようで、購入された方に喜んでもらえました。

全力でやり続ける
大学で学んだ知識を使って、身近な誰かの生活を支えていきたいです。その時々の自分のやりたいことに全力で取り組み、やりたいことを見つけていく生き方を目指します。

三菱電機エンジニアリング株式会社に内定

4つのサークルに入る
内気な性格を直したいと思い、サークル紹介で気になった文芸同好会、アカペラサークル、天体観測サークル、潮風祭（大学祭）実行委員会の4つのサークルに入りました。

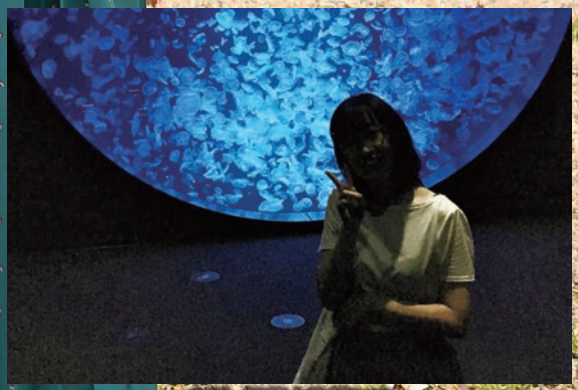
サークル活動に夢中
文芸同好会では、秋田キャンパスのもじ部（現文芸イラストサークル）と合同で部誌を作製しました。また、アカペラサークルでは、他大学のアカペラサークルとの交流会があり、多くの人と交流が出来ました。

多趣味になる
やりたいことはやってみようと思い、色んなことに着手しました。ハーバリウム作り、ブローチ作り、お菓子作り、アカペラ用の楽譜の編曲もしました。

東北を楽しむ
岩手県の宮沢賢治童話村、山形県の加茂水族館、青森県の冬に咲くさくらライトアップなど、東北の各所を巡りました。夏休みには福島に住んでいるOBの先輩に会いに行きました。

卒業研究
卒業研究では、360°撮影できる全天球カメラを使って撮影を行い、その画像でモデリングする研究に取り組みました。うまくいかないこともありましたが、先生から助言をいただき、論文を完成させることが出来ました。

アカペラサークルの公演


山形・加茂水族館にて

研究グループ

DEPARTMENT OF MECHANICAL ENGINEERING

応用材料力学研究グループ

振動工学
伊藤 伸 准教授

振動現象を用いて、機械材料にあるき裂の検査や地熱を取り出すためのき裂の評価について研究しています。

複合材料・表界面工学
境 英一 助教

プラスチックと金属、バイオマスなど、異種材料が一体化した複合材料を研究しています。

複合材料・表界面工学
邱 建輝 教授

使用後に水と二酸化炭素に分解される生分解性プラスチックの複合材料を開発し、地球環境問題を解決したいです。

生体工学
伊藤 一志 准教授

細胞の構造と機能を調べる技術の研究を行っています。

先端材料研究グループ

物性物理学
奥村 肇 助教

人工的にしか作れない結晶構造を持つ金属を作り、新しい材料の開発に繋げます。

材料強度学
水野 衛 教授

飛行機や自動車に使われる炭素繊維強化プラスチックの壊れ方を調べ、強度変化を検査する方法を開発しています。

材料工学
尾藤 輝夫 教授

豊かな生活を続けられるように、未来の私たちの生活を支える新しい材料を創り出すことを目指しています。

複合材料工学
施 建 助教

炭素繊維は軽くて強く、樹脂と複合して使われています。繊維と樹脂の相性をよくするための研究を行っています。

熱科学研究グループ

燃焼学
鶴田 俊 教授

熱科学は、エンジンやエアコンを理解する基礎となります。エンジンの燃焼、火災・爆発を研究しています。

ソフトマター流体工学
石本 志高 教授

「からだの中のかたちの原理」を解き明かす！動植物の染色体・組織・器官、トンボなどを研究しています。

伝熱工学
大徳 忠史 助教

エネルギーは生活・経済活動を支える不可欠なものです。「熱」を制御し世に役立つ提案を発信しています。

機械工学科　教員紹介ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/gakubu/kyoin/kyoin-sys/119

応用機械設計研究グループ

プラズマ工学
杉本 尚哉 教授

太陽やカミナリと同じ状態の物質を電気の力で生み出し、私たちの暮らしや産業に利用する研究をしています。

設計工学
高橋 武彦 准教授

バイオマス(主に木)をμmサイズに細かくして全く別の用途に応用する新しい粉砕の設計や研究をしています。

レーザー工学
合谷 賢治 助教

材料加工・分子検出等のレーザー技術で、物を作る、物の特徴を知る研究をしています。

流体工学
須知 成光 准教授

身近な場所で無駄になっている小さなエネルギーをうまく利用する方法を研究しています。

機械振動学
富岡 隆弘 教授

振動や騒音を減らして、鉄道車両、飛行機、自動車をより快適に！いろいろな機械をより高性能にします！

大上 泰寛 准教授

特殊環境下での燃焼メカニズム解明に取り組んでいます。航空機エンジンの低環境負荷につながる研究にも挑戦中です！

先端加工研究グループ

材料工学
鈴木 庸久 教授

新しいものづくりプロセスの開発！コーティングやナノ複合材料で、高性能な加工ツールを開発します！

加工学
野村 光由 准教授

人間の髪の毛より細い切削工具(ドリル)を使用して難削材料といわれる金属への微細な穴あけに挑戦します !!

材料力学
藤井 達也 助教

マイクロ・ナノマシン(MEMS/NEMS)を形作る薄膜材料を引っ張ったり、曲げたり、ねじったりして強さを測ります！

流体科学フロンティア研究グループ

ミクロ流体工学
佐藤 明 教授

磁性微粒子を機械工学や医用工学さらには環境資源工学などの分野への応用を計るための研究を行っています。

磁気工学
二村 宗男 助教

超伝導磁気浮上や液体窒素中の遊泳マシンなど、「磁場と低温」に関して研究しています。

知能メカトロニクス学科

DEPARTMENT OF INTELLIGENT MECHATRONICS

WEB

知能メカトロニクス学科
運営ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/system/im/index.html

電波を利用した発電「環境電波発電」で、電子化が進む社会をより豊かに

秋田県立大学では、低学年次から自分の興味のある分野について、実践的な活動を通して触れることができます。講義や学生自主研究、サークル活動で様々な分野を実際に体験したことは、研究室選びや将来どういった仕事をしたいかを考える際の軸となっています。知能メカトロニクス学科の魅力は、現代の生活の基盤になっている電子機器や機械のハードウェア、ソフトウェア両方についての知識を幅広く学ぶ事ができる点にあると思います。「電子デバイス工学」では、半導体の原理から理解することで、回路内で各素子がどういった働きをしているのかイメージし易くなりました。現在私は、身の回りで飛び交っている電波を利用した発電、「環境電波発電」に使用する電子回路の研究をしています。電波が存在すれば電池無しでデバイスを駆動できますので、農業などのIoT化を促進できます。将来は開発職に就き、電子化が進む社会でより豊かな生活が送れるような製品の開発をしたいです。

電子情報システム学科 4年※ 渡辺 準樹 さん WATANABE Toki
福島県／白河旭高校出身

※現在の知能メカトロニクス学科の前身となる学科です。

機械工学と電子工学の融合による応用制御システム

産業を支える技術者の実践的教育や制御を基幹技術とする機械・電子・通信などの分野を融合した応用システムに関する教育と研究を行います。機械工学と電気電子工学及び制御工学を中心とした専門科目や、システム思考に基づいてこれらの技術を組み合わせたメカトロニクスに関する科目について、プロジェクト型実習を中心として少人数教育を実施し、産業分野で応用できる問題発見・解決力を備えた人材を育てることを目標にしています。さらに、メカトロニクスに関する技術を体系的に修得できる学習を履修モデルとして提示し、国際化に対応できるコミュニケーション能力を育成します。

知能メカトロニクス学科 学科長
礒田 陽次 教授

知能化機械システム講座

ロボット・メカノシステム研究グループ

- ●国際貢献に関連するロボットとメカニカルシステムの開発
- ●安全・安心の社会を構築するための簡易計測システムに関する研究
- ●メカトロニクス知能制御手法の開発と生体力学柔軟デバイス開発

生体知能研究グループ

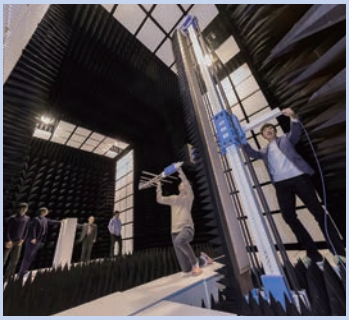
- ●次世代自動車・運転支援システム、交通事故を減らす予防安全研究
- ●細胞機能改変による先端医療応用、高度移動型生活支援ロボットの開発
- ●人に優しい知能化技術、機械学習の応用化研究とロボットビジョン

制御システム講座

制御システム基盤研究グループ

- ●ロボットや航空機などの複雑なシステムのモデリングと制御の研究
- ●量子制御技術による新型生物電子顕微鏡の開発

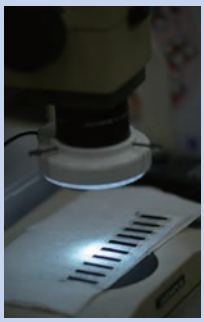
応用制御システム研究グループ



- ●ロボットを動かす低速回転で大きな回転力を発生するモータの開発
- ●空気中で放電を起こすことによって風を生み出す研究
- ●スマートフォンなどに用いられるアンテナ、増幅器などに関する研究

電気電子システム講座

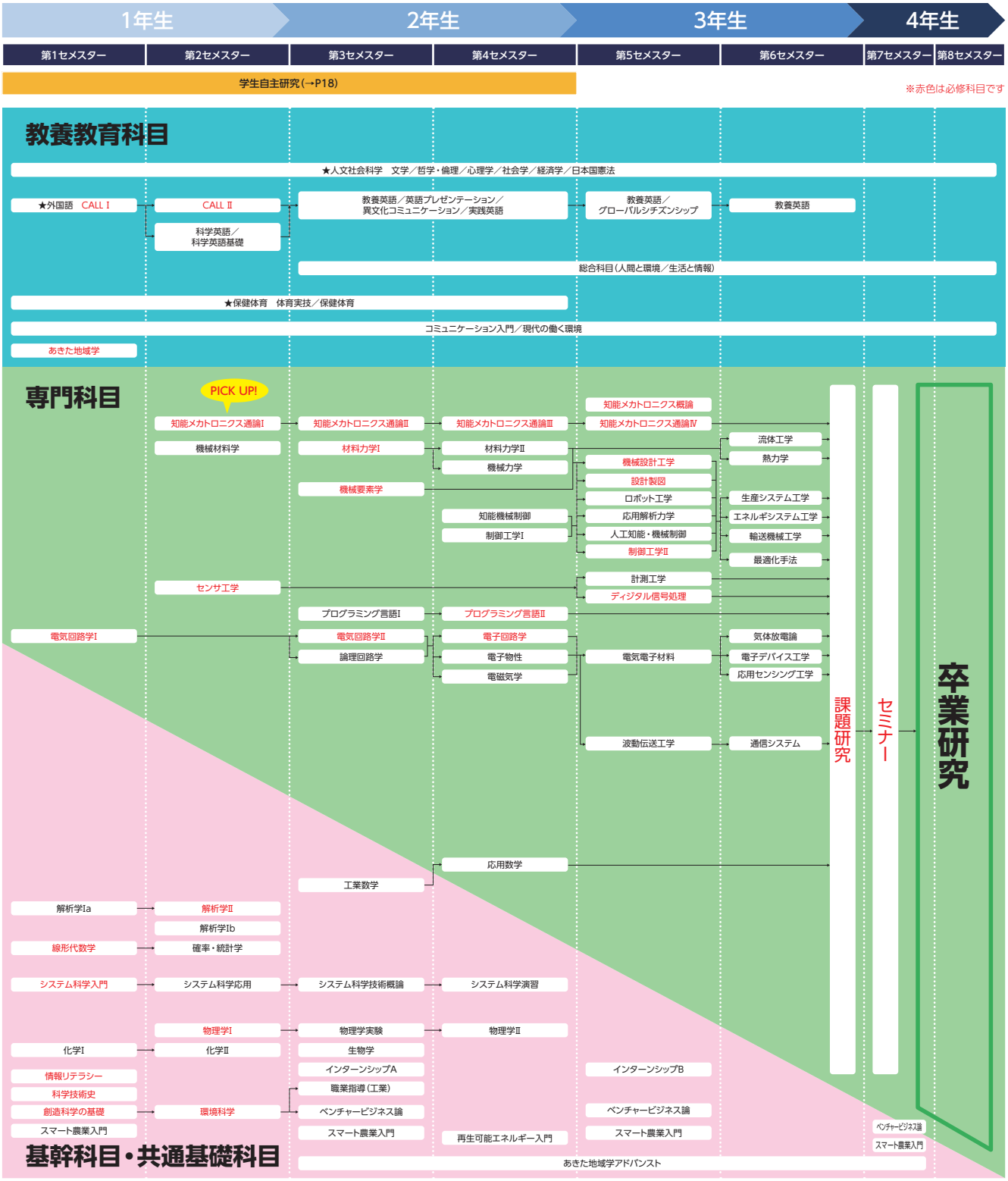
先進物性デバイス研究グループ



- ●温度差や電磁波、室内光など微小な環境エネルギーを活用する環境発電技術をはじめとする環境エレクトロニクス分野に関する材料・プロセス・デバイス・回路の研究
- ●偏光発光液晶、可変回路格子、光計測応用、ミリ波・テラヘルツ波応用など液晶デバイスの新しい応用開拓の研究

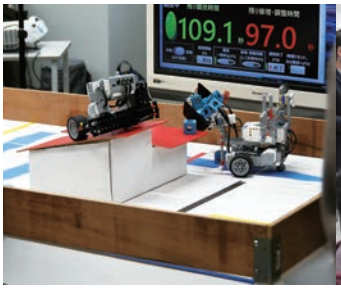
カリキュラム

DEPARTMENT OF INTELLIGENT MECHATRONICS

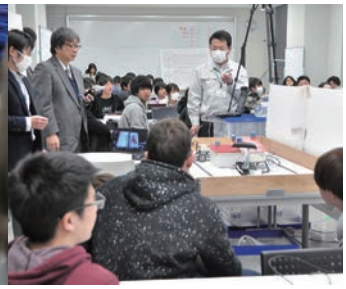


知能メカトロニクス通論Ⅰ

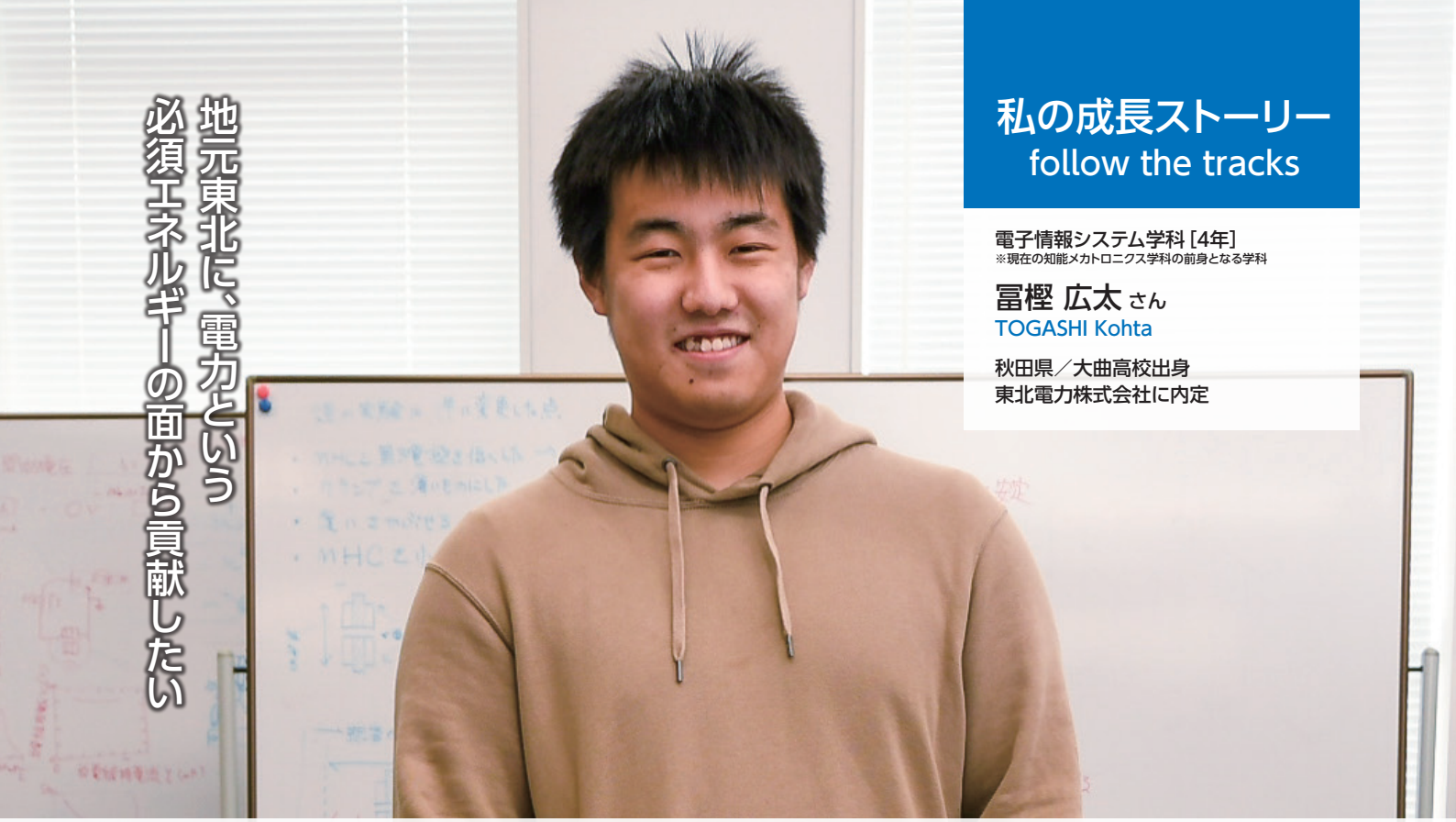
2019年は「雪下ろしロボット」をテーマとし、1年生で数人ずつチームを組んでロボット製作に取り組みました。講義の最後には雪下ろしのタイムトライアルを行いました。ロボットの動きや除雪の流れはチームによって全く異なり、独自の解決方法を考えることが出来ました。



タイムトライアル1位の演技



私の成長ストーリー
follow the tracks

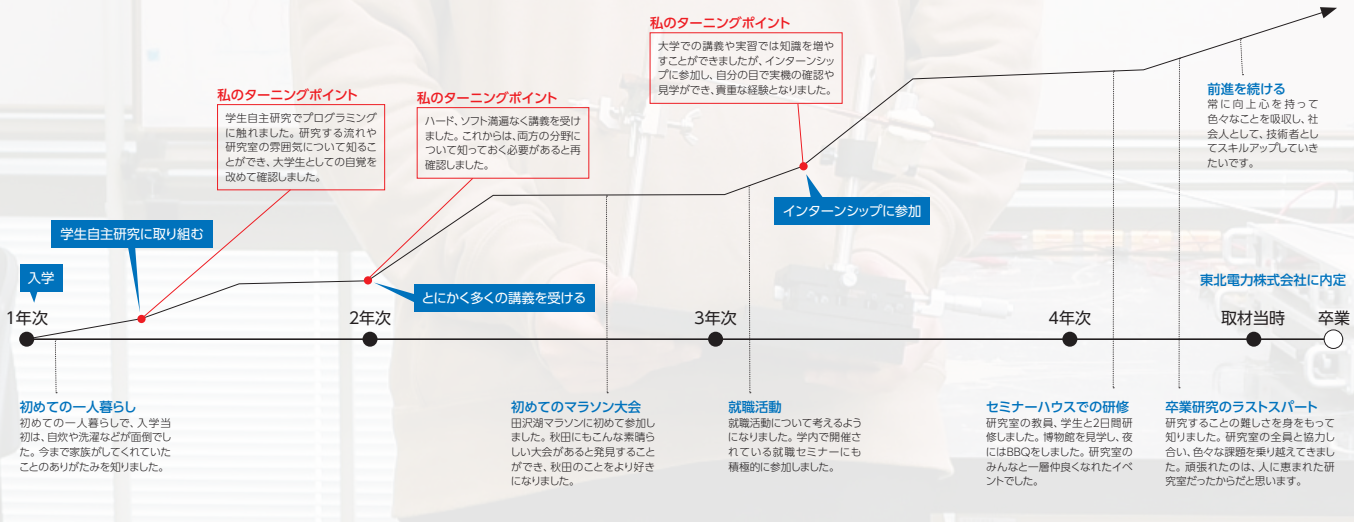


地元東北に、電力という
必須エネルギーの面から貢献したい

電子情報システム学科［4年］
※現在の知能メカトロニクス学科の前身となる学科

冨樫 広太 さん
TOGASHI Kohta

秋田県／大曲高校出身
東北電力株式会社に内定



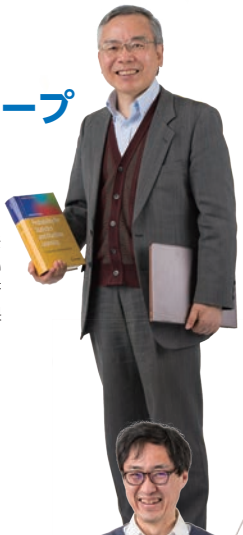
研修でBBQ

研究室のメンバー

研究グループ

DEPARTMENT OF INTELLIGENT MECHATRONICS

制御システム基盤研究グループ



制御工学
徐 粒 教授

システム不確かさのモデリングや変動に強いロバスト制御などの研究を展開し、多くの成果を挙げています。

数理工学
松下 慎也 准教授

数学を応用して、制御工学や画像処理等の問題が持つ構造をシンプルにし、効率的に解くための研究を行っています。

制御工学
岡本 洋 准教授

生物の細胞の中で、分子たちがどのように働いているか直接見えるような電子顕微鏡を作っています。

応用制御システム研究グループ

環境電磁工学
戸花 照雄 准教授

周囲で発生した不要電磁波の影響により誤動作しない電子機器の設計方法を確立するための研究をしています。

マイクロ波工学
礒田 陽次 教授

携帯電話のバッテリーを長持ちさせ、熱くならない、効率の良い増幅器の研究をしています。

通信工学
秋元 浩平 助教

生体データや音楽、映像をヒト1人分の空間でワイヤレスでやりとりする人体領域通信を研究しています！

物理学
高山 正和 准教授

プラズマアクチュエータは大気圧プラズマを用いて空気などの流れを制御する装置で、その性能について研究を行っています。

電気工学
片岡 康浩 助教

システム電動化で世の中をもっと便利で快適に。モータ構造や制御法を研究し、高性能モータの開発を目指します！

生体知能研究グループ

細胞工学
齋藤 敬 准教授

「いのちだいじに」をモットーに、細胞治療ロボや雪下ろしロボ、さらにはクマ対策ロボを作ったりしています。

脳情報工学
間所 洋和 准教授

環境内を移動して様々な情報を収集し、周辺状況の様子や意味を自主的に学習する機械の研究を行っています。

脳情報工学
佐藤 和人 教授

表情や視線の変化から分かることは何か？「感じること」と「理解すること」の違いを知能で探求しています！

生体医工学
ニックス・ステファニー 助教

血液の流れのシミュレーションを通して、医療の現場で役に立つシステムの開発を目指しています。

WEB

知能メカトロニクス学科　教員紹介ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/gakubu/kyoin/kyoin-sys/120

先進物性デバイス研究グループ

半導体集積回路工学
小谷 光司 教授

半導体集積回路の技術を用いて、環境中の電波や光からエネルギーを取り出したり、ワイヤレスで送る研究をしています。

光・電子デバイス工学
能勢 敏明 教授

ミリ波制御、光計測などへ液晶材料の新しい応用について研究をしています。

電子材料工学
山口 博之 准教授

ナノカーボン材料や光・熱・においを電気に変換する材料について、その特性を向上させる合成プロセスを研究しています。

液晶工学
本間 道則 准教授

液晶をはじめとした有機光・電子デバイスとその光センサおよび光計測応用に関する研究を行っています。

電子・電気材料工学
長南 安紀 助教

熱から直接電気エネルギーに変えて発電することが出来る熱電材料の高性能化の研究をしています。

電子工学
伊東 良太 助教

これまで使われてこなかった特殊な電磁波「テラヘルツ波」を利用し、世の中をより便利にしていきます！

電子材料工学
小宮山 崇夫 助教

電子材料の組織や構造を制御することによってより良い機能をもつデバイスを実現することを目指しています。

ロボット・メカノシステム研究グループ

ロボット工学
下井 信浩 教授

少子高齢化社会を支えるための見守りに関する技術について研究しています。人工知能を含めた人からロボットへの展開を目指します。

生体医工学
古川 大介 助教

お肌のシワ・タルミなどの老化現象と血流速との関連を解明するため、毛細血管のネットワーク構造および流速を非接触・非破壊にマイクロレベルで断層計測します。

ロボット工学
齋藤 直樹 准教授

空気の力を使った、人に寄り添う柔らかい機械、人を快適に手助けするアシスト機械を考えます。

制御工学
佐藤 俊之 准教授

計算機能力を活用した、動的モデルに基づく高度な機械制御手法の開発とメカトロ応用を行っています。

情報工学科

DEPARTMENT OF INFORMATION AND COMPUTER SCIENCE

WEB

情報工学科運営ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/system/ics/index.html

オンデマンド宅配システムを開発し、秋田県の問題解決につなげる

他大学に比べて学生の数に対する教員の数が多く、専門の研究者や技術者に触れやすくサポートの手厚い大学は他にないと感じ、秋田県立大学を選びました。入学してみて、本当に先生方との距離が近く、恵まれた環境で勉学に励むことが出来ていると感じています。何より先生方が楽しい・おもしろい人たちばかりで、大学に来るのが楽しいところが魅力です。数学基礎演習は、この学科ならではのおもしろい講義だと思います。自由単位で履修義務はありませんが、教員が学生の勉強に関する質問を受け付けてくれます。毎週の宿題をこの時間にやるのがオススメです。卒業研究では、秋田県の問題に着目したオンデマンド宅配システムに取り組んでいます。センサーを利用するなどして必要な分だけ配達する、宅配を効率化するシステムです。将来は研究で社会の発展を支えていきたいと考えています。そのためにも、できるだけたくさん学外で発表をしていきたいと考え、準備をしているところです。

電子情報システム学科 4年※ 鈴木 朱里 さん SUZUKI Akari
埼玉県／大妻嵐山高校出身

※現在の情報工学科の前身となる学科です。

多種多様で膨大な情報を活用して、知的な人間支援を実現

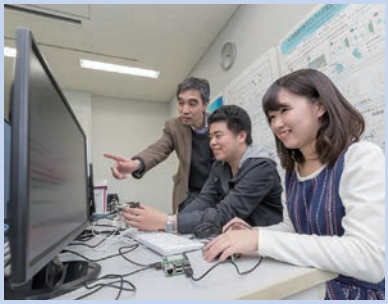
現在、私たちの身の回りにあるスマートフォン、家電製品、自動車などには多くのコンピュータや情報機器が組み込まれ、高度な情報技術が活用されています。本学科では、情報工学を基盤とし、現実世界の多種多様で大量な情報を活用して、人を援ける賢い情報システムを創出できることを目的とした教育と研究を行います。標準的な情報工学の学問を基礎に、メディア情報処理、知能情報処理、情報ネットワークシステムに重点を置いたカリキュラムを組んでいます。また、農業・生活支援・健康・交通・エネルギー等の分野において、社会の幅広いニーズを満たす情報システムを設計・開発・運用できる実践的な人材の育成に力を入れます。

情報工学科 学科長
堂坂 浩二 教授

基礎情報工学講座
情報システム研究グループ

【情報ネットワーク研究室】

- ●実世界を取り込んだ情報ネットワークとコンピューティング技術に関する研究
- ●安心安全なデータ管理とデータ分析技術の研究
- ●モバイルアドホックネットワークの運用管理技術の研究



【知能情報処理研究室】

- ●言葉や身振りを使って人間と会話する会話ロボット
- ●外界を認識・理解するコンピュータビジョン
- ●人間の感情を理解するヒューマンインターフェイス
- ●生活支援・農業支援などの応用研究

【ソフトウェア基盤研究室】

- ●コンピュータの性能を最大限に引き出すための技術の研究
- ●自然現象の解析のためのコンピュータシミュレーション
- ●新しいアーキテクチャの計算デバイスでの高速計算

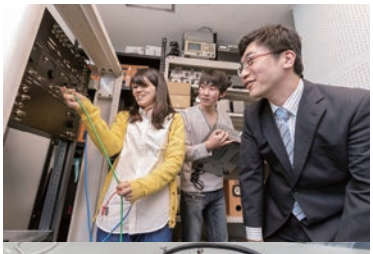
人間支援情報工学講座
メディア情報処理研究グループ

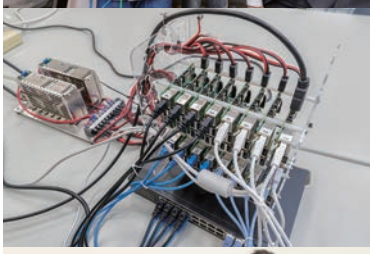
【知覚情報処理研究室】

- ●聴覚の仕組みを他の感覚との関連性を含めて解明する「聞こえを探る」研究
- ●さまざまな音環境を仮想的に合成する「聞こえを創る」研究
- ●「音環境を収音・伝送・再生」するための信号処理技術の研究

【メディア信号処理研究室】

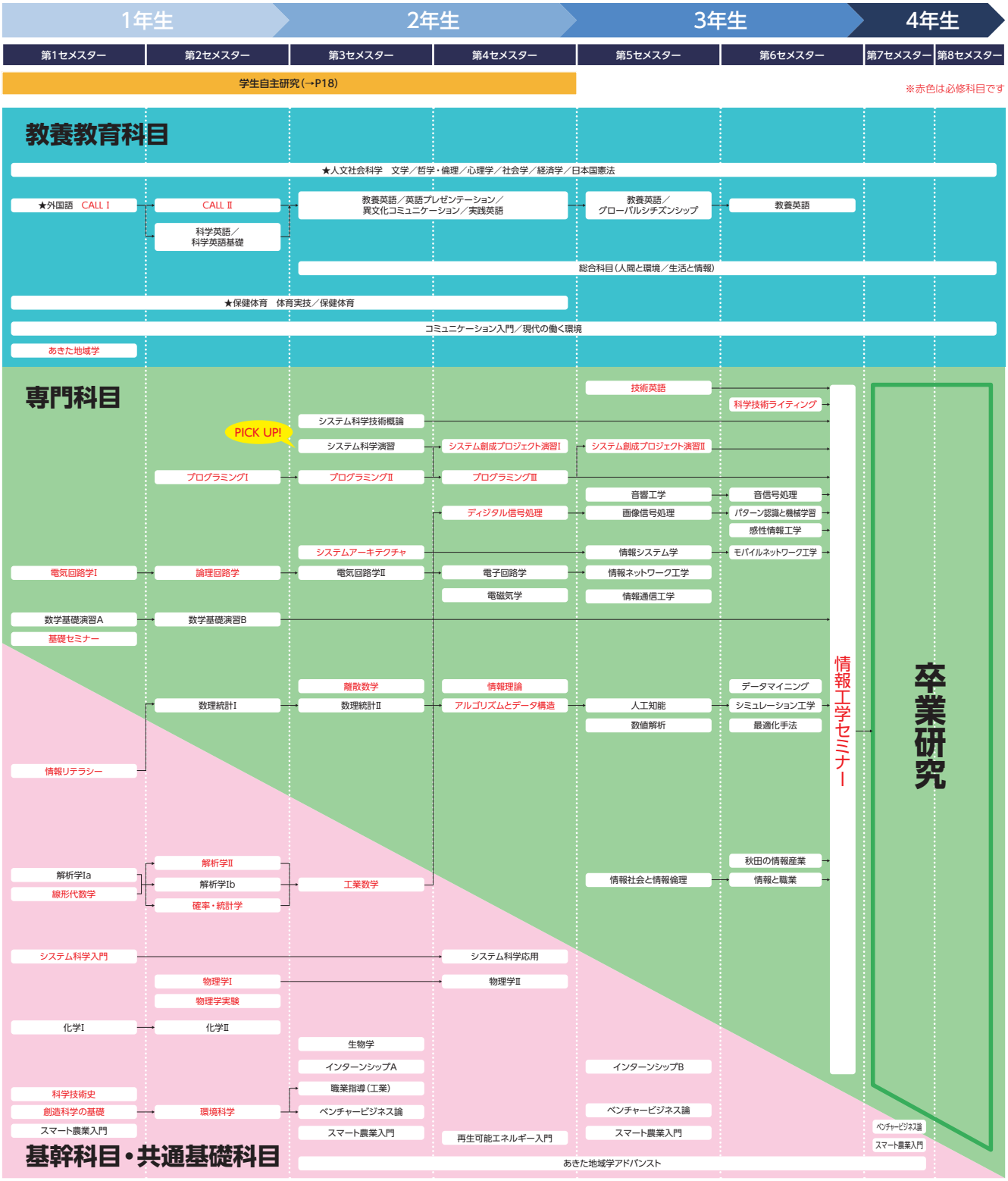
- ●映像中の人・物体などに対する認識・解析とその応用システムの実現
- ●深層学習を用いた医用画像の認識とその解析
- ●仮想現実感の技術を使った人の視聴覚の知覚についての解明





カリキュラム

DEPARTMENT OF INFORMATION AND COMPUTER SCIENCE



システム科学演習

学生数人でグループを作り、システムの提案を行います。既存のシステムにはどういったものがあり、今後どういったシステムがあればより便利になるのかをグループで考えることができます。2019年は、「レポート提出システムの改善」というテーマでグループごと様々な改善提案を考えました。

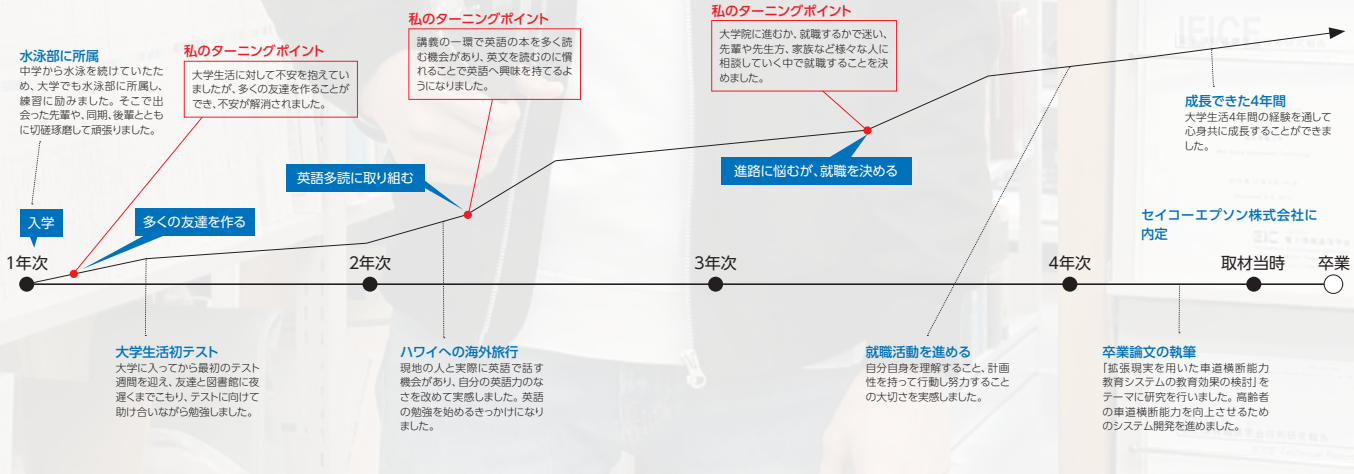
私の成長ストーリー
follow the tracks

電子情報システム学科［4年］
※現在の情報工学科の前身となる学科

梶原 康平 さん
KAJIWARA Kohei

秋田県／大曲高校出身
セイコーエプソン株式会社に内定

多くの人に支えられ、心身共に成長できました



ハワイ旅行で撮影

VRを用いた卒業研究

研究グループ

DEPARTMENT OF INFORMATION AND COMPUTER SCIENCE

情報システム研究グループ

情報通信学

飯田 一朗 教授

実世界に分散している様々な情報を収集し、人の行動を支援する技術を研究しています。主に農業への応用を志向しています。

知能情報学

堂坂 浩二 教授

言葉を理解し、生活や仕事の様々な場面で私たちを援けてくれる賢いコンピュータを創ることを目指します。

計算幾何学

草苅 良至 准教授

IoT技術によりセンサーデータを収集し、学習アルゴリズムにより知識の発見を目指します。

情報通信学

橋浦 康一郎 助教

安心・安全な社会を築くための無線通信技術・システムについて研究しています。

応用数学

廣田 千明 准教授

情報技術のすごさを理解してもらえるようなプログラミング教育の教材を開発しています。

情報工学

石井 雅樹 准教授

画像処理・機械学習を用いて人間の生活を知的に支援するスマートなロボット・コンピュータをつくります！

応用数理学

中村 真輔 助教

より速く、より正確に計算できるプログラムの開発を目指しています。

神経工学

伊東 嗣功 助教

ブレインーマシン・インタフェース技術を用いて、人間の状態を理解し支援するシステムの研究をしています。

情報工学科　教員紹介ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/gakubu/kyoin/kyoin-sys/121

WEB

メディア情報処理研究グループ

情報通信工学
陳 国躍 教授
人工知能を用いて画像の修復・認識・解析などの研究を行っています。

音声・音響工学
西口 正之 教授
“あたかもその場に居る様な”非常に高い臨場感の通信・再生を実現するための、効率的な3次元音響伝送再生技術の研究を行っています。

メディア情報学
渡邉 貫治 准教授
高い臨場感の音響VRを実現するために空間的な情報を含んだ収音の研究を行っています。

情報ネットワーク工学
安倍 幸治 助教
人間の感覚情報処理を明らかにし、それと良く対応した人が使いやすいシステムの開発を目指しています。

生体工学
寺田 裕樹 助教
先端技術を使って自由自在に現実感を操作して、新しい能力を獲得できるようなシステムを開発しています。

音響情報学
高根 昭一 准教授
どんな場の音でも創り出せる音を通じたバーチャルリアリティを実現する方法を考えています。

情報処理学
猿田 和樹 准教授
画像認識や視線計測技術を応用し、交通事故予防などの安全な生活の実現につながる研究をしています。

建築環境システム学科

DEPARTMENT OF ARCHITECTURE AND ENVIRONMENT SYSTEMS

WEB

建築環境システム学科
運営ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/system/archi/index.htm

強いコンクリートを開発し、長持ちする建物を

出身地から近い大学で、なおかつ建築を学べる学部があったため秋田県立大学に進学しました。建築環境システム学科では、木質構造など秋田県の特色を生かした講義を行っていることが魅力だと思います。特に印象に残っている講義としては、「哲学・倫理学」と「材料学実験」です。「哲学・倫理学」ではお坊さんの話を聞く機会もありました。また、「材料学実験」では、みんなで実際に試験体の梁を作って試験しました。これまであまり経験することがなかった大規模の試験に面白さを感じました。私の研究分野としては建築材料、特にコンクリートについてで、今はコンクリートに繊維を入れて強くする繊維補強コンクリートの研究をしています。試験体をたくさん作り、曲げ試験を行っているため、作業の多さに苦労することもありますが、コンクリートの奥深さにどんどんのめりこんでいます。建物が長持ちするようなコンクリートを開発し、社会に貢献することが今の目標です。

建築環境システム学科 4年　笹原 寛晟 さん　SASAHARA Hiroaki
山形県／山形南高校出身

住宅から都市環境まで「人間生活の場」の総合デザインを追求

「建築学」は、多方面の知識・経験・感性などを総動員して「あらゆる分野を統合する工学芸術」である点が際立った特長となっています。ひとつの住宅設計でも、統合すべき対象は、地域・都市としての空間・環境、あるいは地球環境のスケールまで及ぶ場合もあります。優れた建築空間を実現するためには、建築をシステムとして捉え、幅広い視点で総合的に学び、研究しなければなりません。本学科では、木質構造など、地域特性に富んだカリキュラムや、即戦力が求められる社会のニーズに応えるための3次元CAD・BIM教育などに加え、新しい時代に対応した総合的な建築教育と研究開発に取り組んでいます。

建築環境システム学科 学科長
長谷川 兼一 教授

構造学講座

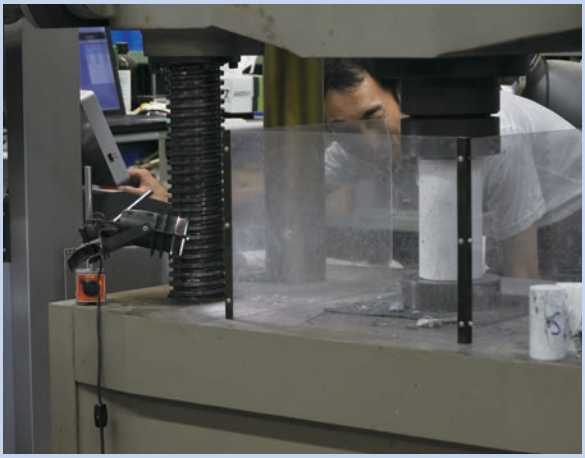
建築構造学研究グループ

●最高水準の実験装置を用いた地震などの災害に強い建築構造の研究
●耐震補強工法の開発と、公共施設などの耐震化促進活動への参画
●寺社建築などの歴史的建築物の耐震性に関する調査研究

材料学講座

建築材料学研究グループ

●環境負荷を低減する手法や、材料を有効活用する新しい構法の研究
●繊維補強などを用いた粘り強くひび割れの少ないコンクリートの開発
●開放的かつ長寿命な住宅設計を可能にする耐震木造住宅構法の開発



環境学講座

環境計画学研究グループ

●寒冷地での快適な建築空間実現のための断熱構法などの設計手法研究
●地中熱のような自然エネルギー利用や暖冷房関連省エネ技術の開発
●結露やカビの発生による健康被害やシックハウス問題に関する研究

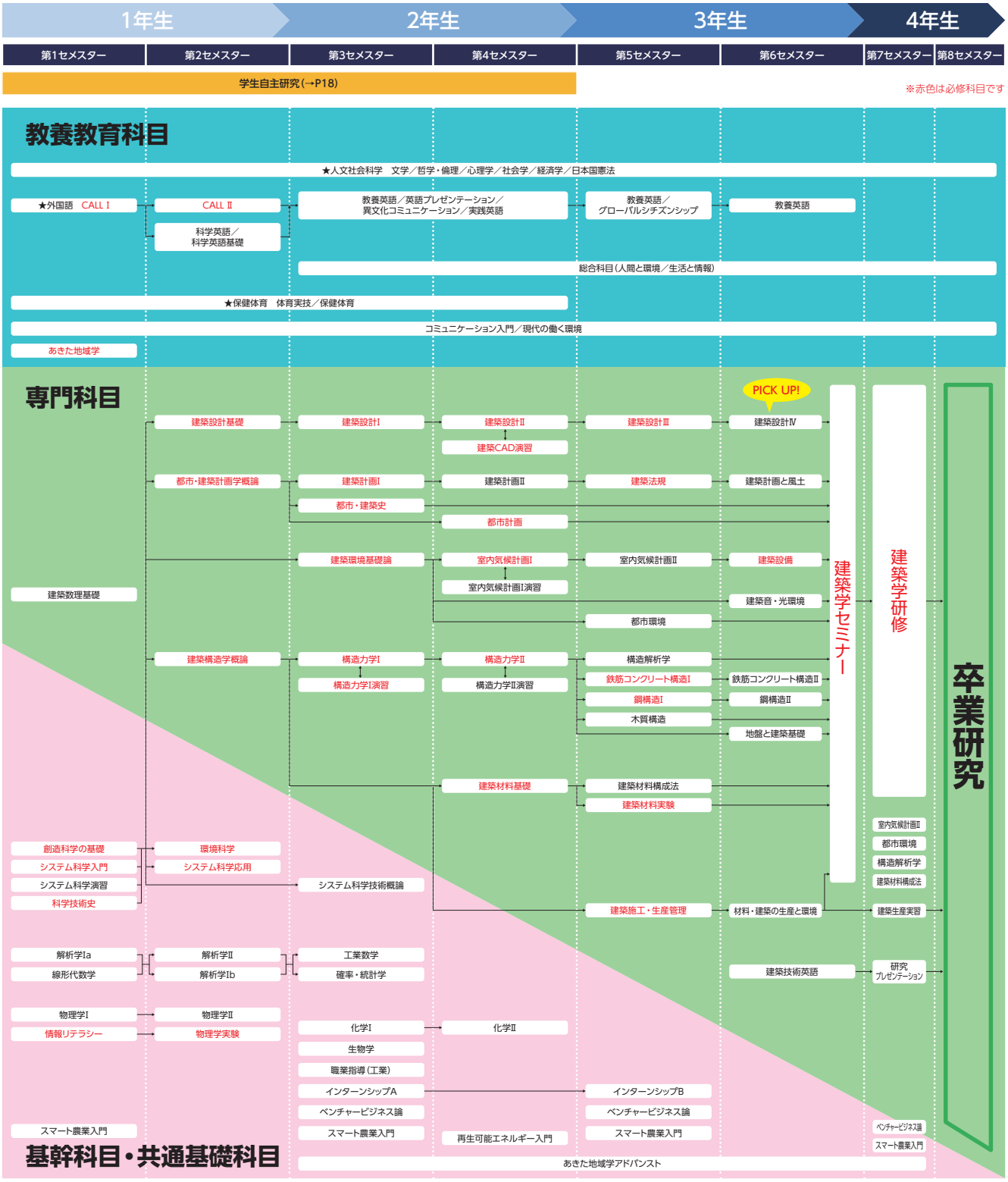
計画学講座

都市・建築計画学研究グループ

●都市・建築計画関連のデザインや、関連する街づくりなどの地域支援
●建築都市空間分析、建築史、伝統民家、人間工学などの設計関連研究
●災害危機に対応した行政運営や地域計画のための情報システム開発

カリキュラム

DEPARTMENT OF ARCHITECTURE AND ENVIRONMENT SYSTEMS



建築設計Ⅳ

各自で建物などの設計を行います。設計Ⅰ～Ⅲまでは、与えられたテーマや条件に対して、建物を設計し、設計の基礎を学びますが、建築設計Ⅳでは、設計したいテーマやコンペに挑戦することができます。最後まで自分たちでやり遂げたときの達成感は、自信にもつながります。

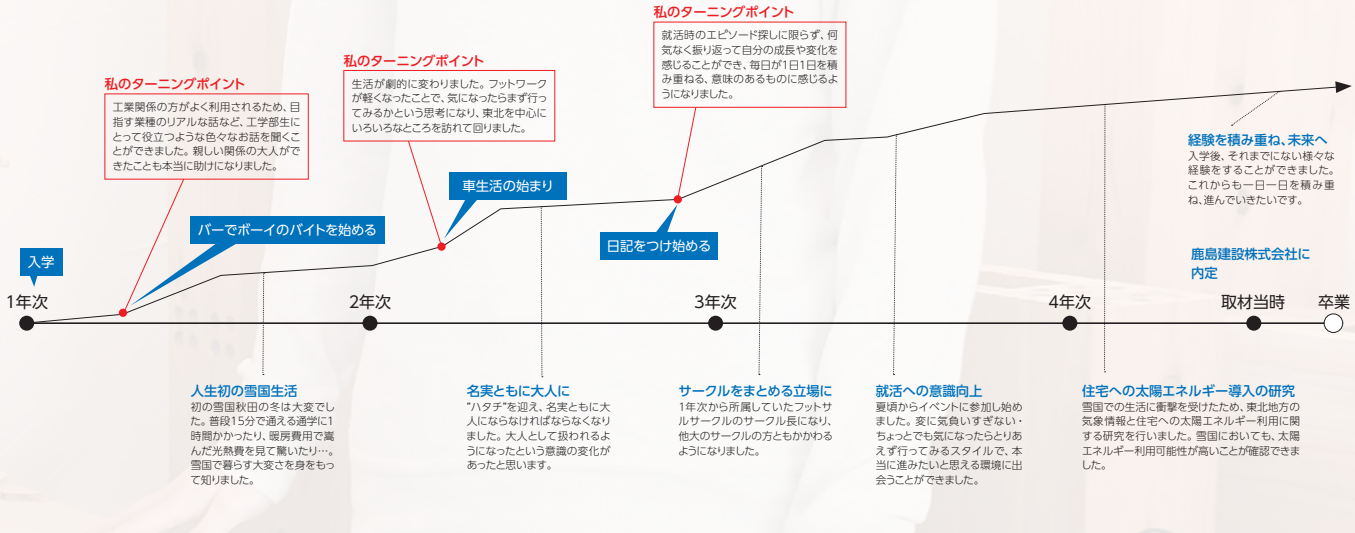
私の成長ストーリー
follow the tracks

建築環境システム学科［4年］

石井 利弥 さん
ISHII Toshiya

福島県／安積高校出身
鹿島建設株式会社に内定

様々な活動をとおして、
自分を変えていくことができました



人生初の雪国生活
初の雪国秋田の冬は大変でした。普段15分で通える通学に1時間かかったり、暖房費用で嵩んだ光熱費を見て驚いたり…。雪国で暮らす大変さを身をもって知りました。

名実ともに大人に
"ハタチ"を迎え、名実ともに大人にならなければならなくなりました。大人として扱われるようになったという意識の変化があったと思います。

サークルをまとめる立場に
1年次から所属していたフットサルサークルのサークル長になり、他大のサークルの方ともかかわるようになりました。

就活への意識向上
夏頃からイベントに参加し始めました。変に気負いすぎない・ちょっとでも気になったらとりあえず行ってみるスタイルで、本当に進みたいと思える環境に出会うことができました。

住宅への太陽エネルギー導入の研究
雪国での生活に衝撃を受けたため、東北地方の気象情報と住宅への太陽エネルギー利用に関する研究を行いました。雪国においても、太陽エネルギー利用可能性が高いことが確認できました。

冬の本荘キャンパス

研究で使った実験家屋

研究グループ

DEPARTMENT OF ARCHITECTURE AND ENVIRONMENT SYSTEMS

建築構造学研究グループ

構造力学

クアドラ・カルロス 准教授

常時微動観測と有限要素法と連合して既存建築物の振動特性評価を行います。文化財の建築物への適用の妥当性について検討しています。

建築構造学

西田 哲也 教授

より安全な建物をつくるため、様々な地震で建物がどのくらい揺れるかを予測する簡便な方法を探しています。

建築構造学

菅野 秀人 教授

地震による建築物の揺れ方や壊れ方を調べて、被害を最小限に抑える最新技術について研究しています。

建築耐震工学

櫻井 真人 助教

実験・解析の両面からRC建物の複雑な挙動解明に取り組んでいます。大規模な模型破壊実験が体感できます！

建築構造学

小幡 昭彦 助教

津波のような自然現象が建物にもたらす影響を調べます。数値流体解析でシミュレーションなども行います！

建築材料学研究グループ

建築材料学

大塚 亜希子 助教

建築の長寿命化のための、建築部材を極力傷つけない非・微破壊による部材劣化診断方法および補修方法を提案します。

木質材料学

板垣 直行 教授

秋田の主要林産物であるスギ材を活用し、耐震性・耐火性能に優れた木造建築構法の開発に取り組んでいます。

建築材料学

石山 智 准教授

コンクリート材料の高性能化と新しいセメント材料の研究開発に取り組んでいます。

WEB

建築環境システム学科　教員紹介ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/gakubu/kyoin/kyoin-sys/122

環境計画学研究グループ

建築環境学
長谷川 兼一 教授

建築環境と健康というキーワードをもとにして、人にとって望ましい建築デザインを追求しています。

建築環境工学
松本 真一 教授

持続可能な建築の環境デザインの手法について研究しています。秋田の風土と気候に適ったデザインを！

建築環境工学
竹内 仁哉 助教

健康で快適に暮らすための建築空間の実現に向けた設計・評価に関する研究をしています。

都市・建築計画学研究グループ

都市計画学
山口 邦雄 教授

「たんころりん」を使った歴史的町並みの演出から、現代に相応しい地域空間の創造までを研究し実践します。

建築計画学・環境心理学
込山 敦司 准教授

心を理解して、快適な空間をソウゾウ(想像&創造)する分野です。

建築環境学
浅野 耕一 准教授

環境に配慮した建築デザインや、安全・安心で快適な都市づくり等を支援できるシステムを開発しています。

農村計画学
石山 真季 助教

住みやすい地域づくりを目指して、みんなが集まる空間と仕組みについて、建物と自然からアプローチします。

建築計画学
李 雪 助教

風土的な建築や集落などに積み重ねた「知恵」を発見・活かすことが私の仕事です！

経営システム工学科

DEPARTMENT OF MANAGEMENT SCIENCE AND ENGINEERING

WEB

経営システム工学科
運営ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/system/manage/index.html

機能水の研究や環境教育を通し、地域活性化の一助になりたい

大学では新しいことに取り組みたいと思っており、学生自主研究制度でスタートダッシュを切れると分かってこの大学を選びました。経営システム工学科では演習型の講義を通して、工学的・数学的な、多種多様な知識の観点から問題解決にアプローチする力を磨けます。中でも「起業入門」という講義では、株式会社を疑似的に設立・経営し、地元企業の方ともアイディアを出し合い、経営課題解決に向け考察することで、自ら学び考えるスキルを身につけることができました。実践的に利益向上を考える経験は将来的にも活かしていけると感じます。今、私は環境工学やリスク教育などをテーマとした研究室に所属しています。機能水の特性や科学的原理を研究し、商品を消費者がより安心して活用できる信頼性の高いものづくりを応援していたり、環境教育のプログラムを製作して県内の小学校で講師をしたりと、地域活性化の一助になるよう努めています。将来は発想力を活かしたクリエイティブな職業に就けるよう、日々新たな知見を深めています。

経営システム工学科 4年　工藤 優之 さん　KUDOH Yuji
秋田県／由利工業高校出身

鳥瞰的視野と数理的かつ工学的な経営で地域発のイノベーションを実現

社会の持続的発展につながるイノベーションには、個人や企業と、それを取り巻く自然環境および社会経済環境との間の相互作用についての理解、すなわち鳥瞰的視野からの外部環境の理解が必要不可欠です。本学科は、このような理解の上に立ち、数理的な手法を用いた経営工学を基礎とするイノベーションを目指し、それを実行できる人材の養成を目的とした教育を行います。このような人材は、モノやサービスすなわち有形無形の価値を創造するさまざまな集団における意思決定とその実行において、中心的な役割を担うことが期待されます。

経営システム工学科 学科長
朴 元熙 教授

戦略プランニング講座

経営企画研究グループ

- ●コストマネジメントに関する研究
- ●商品企画に関する研究
- ●情報システムに関する研究

先端ビジネスマネジメント研究グループ

- ●オープンソースビジネスモデリングに関する研究
- ●品質保証・知識ベースマネジメントに関する研究
- ●製品開発マネジメントに関する研究

数理アナリシス講座

計画数理研究グループ

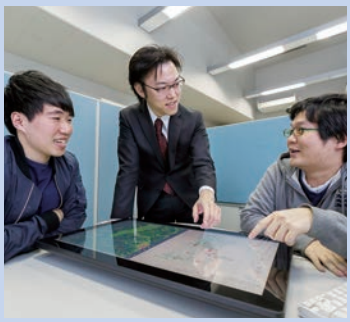
- ●計画数学に関する研究
- ●応用統計に関する研究
- ●応用数学に関する研究

経営データ分析研究グループ

- ●経営学に関する研究
- ●統計分析に関する研究
- ●経済学・応用計量経済に関する研究

持続可能マネジメント講座

社会環境シミュレーション研究グループ



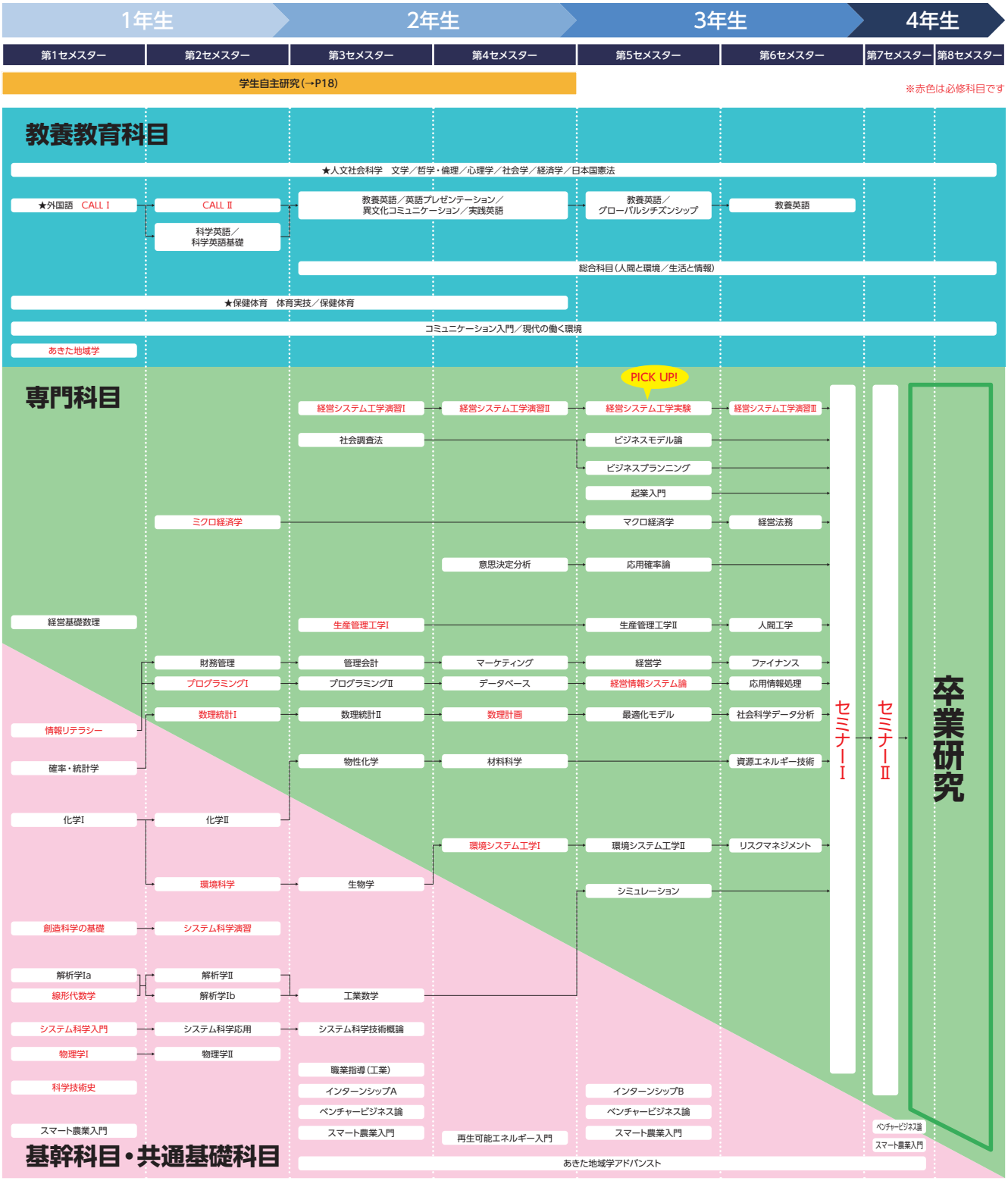
- ●社会環境モデリングに関する研究
- ●経済時系列・市場分析に関する研究
- ●オペレーションズ・リサーチに関する研究

環境マネジメント研究グループ

- ●環境プロセス・生産マネジメントに関する研究
- ●資源循環工学に関する研究
- ●環境分析学に関する研究

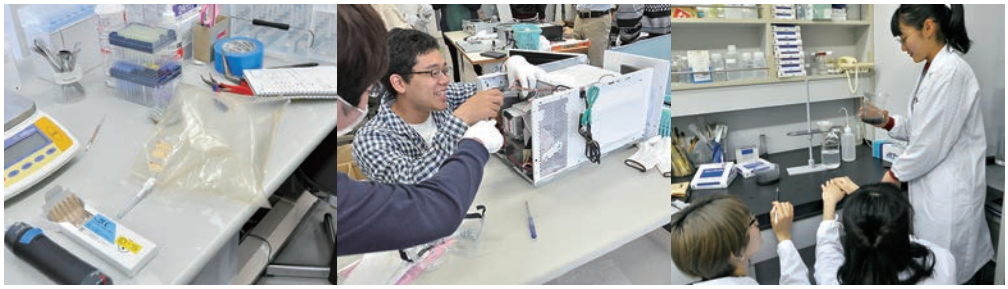
カリキュラム

DEPARTMENT OF MANAGEMENT SCIENCE AND ENGINEERING



経営システム工学実験

環境保全のための経営学的な分析などに関し、実際現場で使われる技術を実験で体験します。魅力は多様な分析機器に触れられる点で、論理的に考察する経験は卒業研究でも役に立ちます。



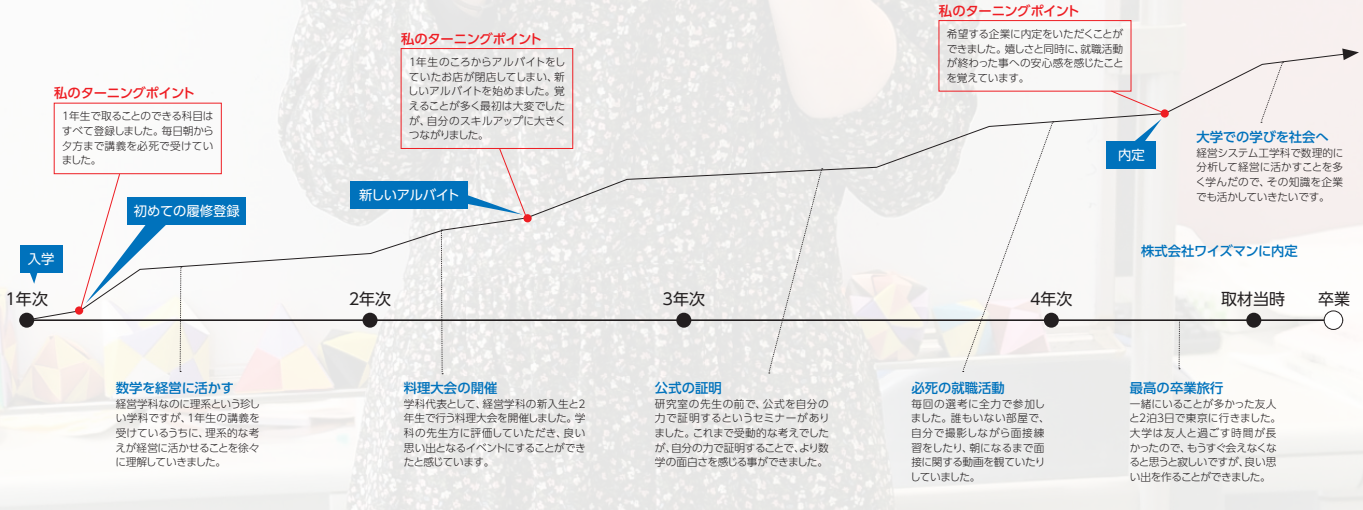
地域ぐるみで高齢者を支える、地域包括ケアシステムの構築

私の成長ストーリー
follow the tracks

経営システム工学科［4年］

長谷部 まりな さん
HASEBE Marina

山形県／長井高校出身
株式会社ワイズマンに内定



数学を経営に活かす
経営学科なのに理系という珍しい学科ですが、1年生の講義を受けているうちに、理系的な考えが経営に活かせることを徐々に理解していきました。

料理大会の開催
学科代表として、経営学科の新入生と2年生で行う料理大会を開催しました。学科の先生方に評価していただき、良い思い出となるイベントにすることができたと感じています。

公式の証明
研究室の先生の前で、公式を自分の力で証明するというセミナーがありました。これまで受動的な考えでしたが、自分の力で証明することで、より数学の面白さを感じる事ができました。

必死の就職活動
毎回の選考に全力で参加しました。誰もいない部屋で、自分で撮影しながら面接練習をしたり、朝になるまで面接に関する動画を観ていたりしていました。

最高の卒業旅行
一緒にいることが多かった友人と2泊3日で東京に行きました。大学は友人と過ごす時間が長かったので、もうすぐ会えなくなると思うと寂しいですが、良い思い出を作ることができました。

アルバイトのメンバー

卒業旅行の思い出

研究グループ

DEPARTMENT OF MANAGEMENT SCIENCE AND ENGINEERING

経営企画研究グループ

管理会計学

朴 元熙 教授

サスティナビリティのためのあるべき戦略と良い意思決定を支援するコストマネジメントを研究しています。

社会システム工学

嶋崎 真仁 准教授

地域活性化のために大学は何ができるか。経営工学と情報技術を駆使して、制度と技術の研究をしています。

先端ビジネスマネジメント研究グループ

通信・ネットワーク工学

鈴木 一哉 准教授

無線やセンサー、クラウド等の組み合わせによる、社会課題の解決に役立つIoTシステムを研究しています。

人文社会情報学

上原 宏 教授

大量のデータをプログラムを書いて自動収集し、人工知能をはじめとする技術を使って、未知の知識を発見する研究をしています。

計画数理研究グループ

統計数学

星野 満博 准教授

多様な対象に向けた数理モデル及びベースとなる統計学や解析学を用いた数学理論の構築が研究の対象です。

応用数学

荒谷 洋輔 助教

AIに操られる人でなく操る人になるための数学を学んでみませんか。

応用数学

木村 寛 教授

「数学」や「統計学」を使って、経営を考えてみませんか。焦らず、じっくりと学び、一緒に研究しましょう。

経営データ分析研究グループ

財政学

宮本 道子 教授

みなさんが興味を持った分野の「データ」から何が読み取れるか探りながら、同時にデータ分析手法や統計学を学びましょう。

経営システム工学科　教員紹介ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/gakubu/kyoin/kyoin-sys/123

社会環境シミュレーション研究グループ

応用経済学
嶋崎 善章 准教授
人や組織の行動原理をベースに合理的な問題解決方法を提案します！

総合情報学
山口 高康 教授
人工知能を駆使して、楽しく快適なスマートシティや、便利で安全な権利価値流通に関する研究をしています。

社会システム工学
稲川 敬介 助教
経営科学(OR)を使って、救急車の最適配置や避難計画の自動作成など運用効率化の研究をしています。

環境マネジメント研究グループ

資源リサイクリング工学
梁 瑞緑 准教授
循環型社会の構築を目指した環境に優しいリサイクル技術の開発を行っています。

環境同位体学
川島 洋人 准教授
食品偽装、産地偽装を見破ろう！最先端のホンモノとニセモノを見分ける研究をしています。

半導体電気化学
菊地 英治 准教授
主に、酸化チタンという半導体を利用して、鉱工業廃水などを浄化する研究を行っています。

環境工学
金澤 伸浩 准教授
地域のすばらしい資源を知って活かしませんか。リスクで物事を考えると社会はきっとより良くできます。

生物資源科学部

FACULTY OF
BIORESOURCE SCIENCES

秋田&大潟
キャンパス

『秋田発、未来へ！』
―生物資源科学が切り拓く新たな地平―

地球温暖化、異常気象、新たな感染症の拡大・・・人類の未来には暗い雲が立ちこめているように思えます。地方に目を向けても人口減少、耕作放棄地の拡大、賑わい喪失など様々な問題があります。こうした状況の下、私たちはどのように未来を築いていけばよいのでしょうか。

生物資源科学はその解決に向けて、大きな鍵を握っている分野です。かつて、生物を扱う大学の学部は、基礎的な探求を行う理学部と、実践に役立つ応用研究をする農学部とに分かれているのが普通でした。生物資源科学とは、その両者を包括する分野です。基礎を探求し、それを応用に結びつけ、社会のシステムに活用する。こうした幅広い分野に取り組んでいるのが生物資源科学なのです。

生物資源を持続的に活用し、未来の人類もその恩恵にあずかれるようにするためには、今、大いに知恵を絞らなければなりません。本学部では多彩な教員が多様な研究・教育に取り組んでいます。自然の恩恵を受け、自然と共に築いてきた人類の歴史をさらに実りあるものにしていくため、情熱をもって学び行動する若人を心から待っています。

生物資源科学部長
蒔田 明史 教授

蒔田教授からの
メッセージを動画で
ご覧いただけます。

各学科の特徴

応用生物科学科

入学定員 40名

取得可能資格	◎高等学校教諭一種免許状(理科・農業) ◎食品衛生管理者資格(任用資格) ◎食品衛生監視員資格(任用資格) ◎毒物劇物取扱責任者(任用資格) ◎食の6次産業化プロデューサー・レベル1、レベル2(認定資格)
取得可能受験資格	◎甲種危険物取扱者試験
活躍が期待される分野	食品／醸造、医薬品／化学品、医療・福祉、検査・分析、公務員・公的機関

生物生産科学科

入学定員 40名

取得可能資格	◎高等学校教諭一種免許状(理科・農業) ◎毒物劇物取扱責任者(任用資格) ◎樹木医補 ◎食の6次産業化プロデューサー・レベル1、レベル2(認定資格)
取得可能受験資格	◎甲種危険物取扱者試験
活躍が期待される分野	農業／園芸／緑地、農薬／肥料／種苗、農業ビジネス／公務員、化学／医薬品、食料品製造

生物環境科学科

入学定員 30名

取得可能資格	◎高等学校教諭一種免許状(理科・農業) ◎毒物劇物取扱責任者(任用資格) ◎樹木医補 ◎食の6次産業化プロデューサー・レベル1、レベル2(認定資格)
取得可能受験資格	◎甲種危険物取扱者試験
活躍が期待される分野	農・林業ビジネス／流通／造園、環境修復／土壌修復／水質浄化／環境アセスメント／環境計量・環境プランナー、廃棄物再生利用／食品／品質管理

アグリビジネス学科

入学定員 40名

取得可能資格	◎高等学校教諭一種免許状(農業) ◎毒物劇物取扱責任者(任用資格) ◎食の6次産業化プロデューサー・レベル1、レベル2(認定資格)
取得可能受験資格	◎甲種危険物取扱者試験
活躍が期待される分野	農業起業／食品・農業経営マネジメント・商品提案／農産物・食品流通、行政、地域振興・農業振興／栽培技術／飼育技術、技術営業／地域資源管理／農村環境評価・設計、農業農村整備

FACULTY OF BIORESOURCE SCIENCES

学びのキーワード

生物環境科学科
水環境・森林・土壌・気象など、幅広く自然のメカニズムを学びたい
自然環境と人間活動との相互作用を考え持続的発展に寄与したい
森林や野生動物に興味がある
生態系レベルから身近な生活レベルまで環境問題の解決に取り組みたい
農業が直面する課題を探り、救いたい
作物の生産性を高めながら持続可能な農業を実現したい
農業農村を盛り上げ地方創生に貢献したい
地学、生物学、化学が好き
フィールドワークが好き
探索的データ解析
火山灰土壌
食害
アルミニウムのダイナミックス
循環型社会
物質循環
鉱山と金属
持続可能な農業農村・地域社会
生物地球化学
温暖化
微生物
ゲノム解析
水質浄化
アオコ
食糧問題
植物機能利用
昆虫
微生物生態
フィールドワーク
エネルギー資源問題
流域管理
生物情報学
環境修復
オゾンホール
生物多様性保全
土壌
環境保全・環境問題
植物
生態系機能
食物連鎖
土づくり
酸性雨
高品質作物
気象
土壌の浄化
性分化
作物生育診断
山と海のつながり
生態学
森林生態系
温室効果ガス
地域資源
レアメタル
メダカ
地域の経済循環
ヒトと自然の関係性
水環境保全
内分泌かく乱
土壌微生物
医薬品
植物の一生
地域農業の担い手
八郎湖の再生
窒素固定
農耕地土壌
ドローン
地産地消
クマ
作物生産
水田農業
低環境負荷農業
法人
有機農業
気象観測
アグリビジネス学科
広い農場で生産技術を実学的に学びたい
画期的な生産技術を開発したい
牛など家畜が大好き
果樹、野菜、花きを学びたい
農業農村が直面する課題を解決したい
グリーンツーリズムで地方創生をしたい
農家が儲かるしくみ（農業経営）を学びたい
畜産学を学びたい
農業生産から加工や流通システムまでを学びたい
6次産業化に興味がある
農業ロボットを開発したい
農業×IoTの可能性を探りたい
物理、生物学、農業が好き
アニマルサイエンス
農業のIoT化
クローン×家畜
田園回帰
新規就農
雑草
流通システム
ニューバイオ
花き栽培
生産技術開発
花
体外培養
イネ
促成栽培・抑制栽培
ルーラルエンジニアリング
畑作物
筋線維
穂の形態形成
成長モデル
未利用資源
品種改良
農地水利用
水資源
遺伝的プログラム
省力栽培
プログラミング
ドローン
ウシ
牛の成長と肉質
植物三次元モデル
資源循環
農業ロボット
プロジェクト教育
畜産動物
スマート農業
飼料作物
防災・保全
リモート農業
田植機
堰・ため池
マーケティング
農業機械
営農現場
農村社会構造
農村の暮らし
グリーン・ツーリズム
フードビジネス
農村女性
6次産業化
果物
キイチゴ
除草
水田雑草
持続的農業・農村
青果物流通
農業法人問題
ロボット農業
コンピュータシミュレーション
有機農業
西欧の農業・農村形成
地域システム
自動操舵
農産物貿易
農業経営者
農業経営学
卸売市場
アグリテクノロジー
フィールドワーク
イノベーション

応用生物科学科

DEPARTMENT OF BIOTECHNOLOGY

WEB

応用生物科学科
運営ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/bioresource/DBT/index.html

嗜好性に優れた減塩方法を見つけたい！　Let's 塩(En)joy Life！

小学生の頃から生物が好きだったこともあり、生物学や食品の勉強ができる秋田県立大学を志望しました。入学してすぐ先生の指導のもとで専門的な研究ができる学生自主研究に魅力を感じていました。応用生物科学科の魅力は、食品醸造・植物・細胞生物・微生物など幅広い分野を学べることです。多種多様な分野の知識を得られるため、講義を受けたり実験をしたりしていく中で、自分の将来の方向性を見つけることができます。先生方は優しく、講義などで生じた些細な疑問にも丁寧に対応して下さるため、毎日充実した学生生活を送っています。現在、私の研究室では減塩しても美味しさを損ねることなく塩味を増強する方法を探っています。寒天やパンなどを実験材料として、食品の物性の違いや、他の味成分との相互作用によって、塩味の感じ方や料理のバランスにどのように影響を与えるのか調べています。将来は地元秋田に就職し、大学で学んだ知識やスキルを生かし、秋田の食文化の発展に貢献したいです。

応用生物科学科 3年　中山 栞里 さん　NAKAYAMA Shiori
秋田県／新屋高校出身

『生命』と『食』分野の課題を科学の力で解決する知的エキスパートを育成する

本学科では動物・微生物・植物と幅広い生物の生命現象の解明と、秋田県に特有な素材の有効利用に関する研究によって得られた成果を、産業や医療に役立てることを目指しています。本学科における教育の目標は、ライフサイエンス・食品・醸造産業における研究者や技術者を育成することです。動物・微生物・植物の遺伝子や遺伝子操作技術、清酒造りや食品開発に興味がある、研究者や技術者になりたいとあこがれる皆さん、応用生物科学科で私たちと一緒に学びませんか。

応用生物科学科 学科長
村田 純 教授

微生物機能グループ

微生物機能を解明し、有用遺伝子を利用する
- 微生物が他の微生物や動物・植物・環境に及ぼす影響に関する研究
- 微生物が作り出す有用物質とその生産および有効利用に関する研究
- 微生物の代謝・成長・形態形成の分子機構とその制御に関する研究

分子細胞機能グループ

動物の分子細胞生物学に関する教育・研究、その応用
- 海洋生物の付着セメントと殻形成の分子細胞生物学的研究
- 癌細胞の運動抑制と動物の初期発生の分子細胞生物学的研究
- ホルモン分泌の研究と新規がん検査薬の開発研究
- 哺乳動物の発生学をバイオテクノロジーに応用する研究

植物機能科学グループ

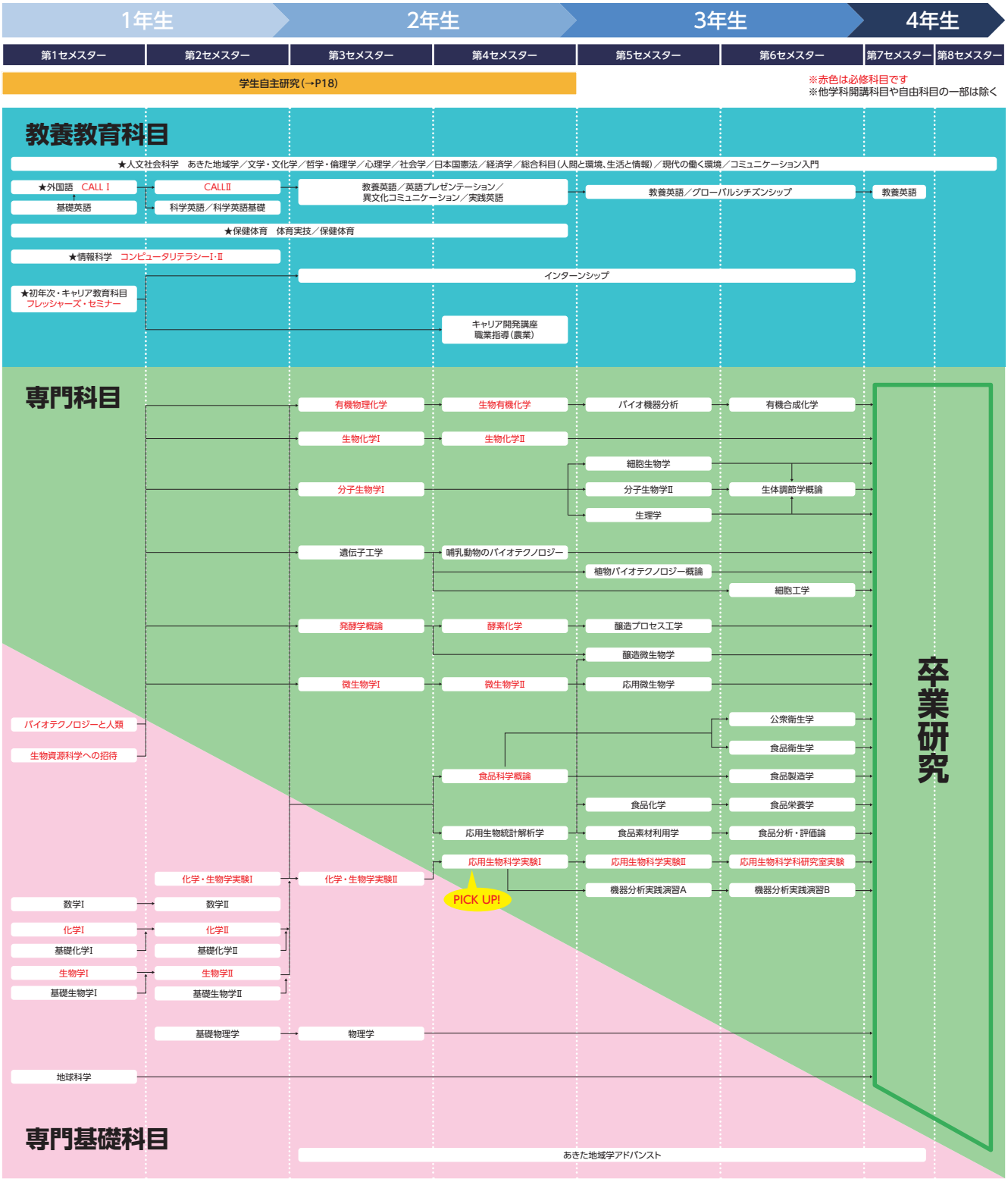
植物由来有用物質の探索とその応用
- 植物の生理活性物質の構造を決定し化学合成により利用を図る
- 植物の生理活性物質の生合成を遺伝子や物質レベルで解明する
- 植物の細胞装置やバイオミネラルの形成過程と機能を探求する

食品醸造グループ

食品および酒類の高品質化に関する研究
- 県産素材の理化学的な解析や加工・醸造技術の研究
- 製品の成分分析法と評価技術の開発
- 優良な醸造微生物の育種などの研究

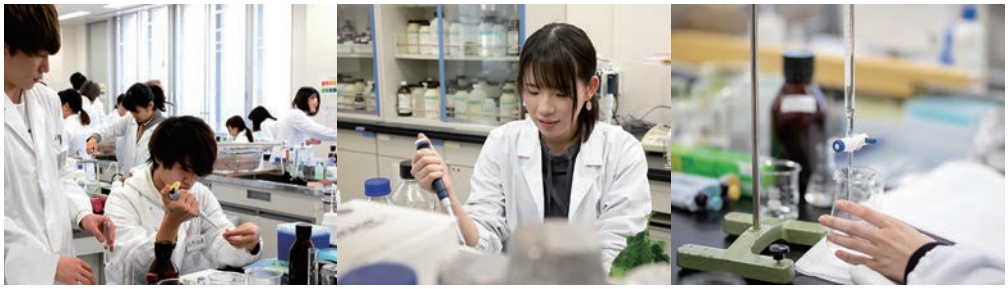
カリキュラム

DEPARTMENT OF BIOTECHNOLOGY



応用生物科学実験Ⅰ

2年次からは、細胞生物学、微生物学、醸造学の酒類生産技術、分子生物学に関する幅広い分野の実験・実習を行います。医療・製薬・食品産業で働く上で重要な実験技術と知識を身に付けることができます。



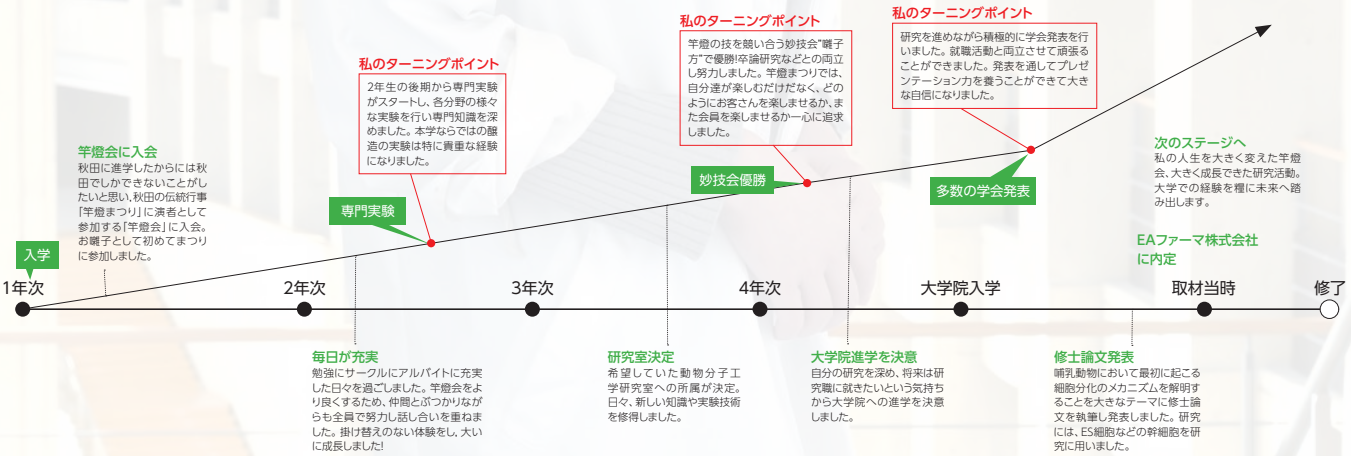
私の成長ストーリー
follow the tracks

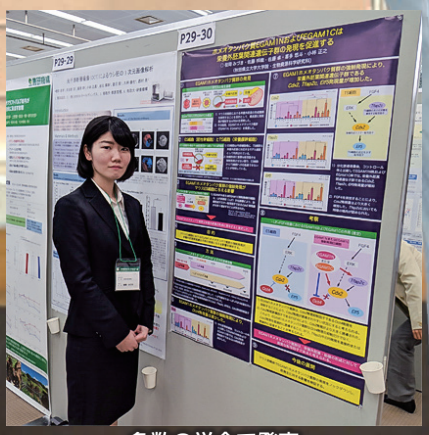
大学院・生物資源科学研究科
生物資源科学専攻［2年］
平成29年度 応用生物科学科卒業

桜岡 みづき さん
SAKURAOKA Mizuki

茨城県／水戸桜ノ牧高校出身
EAファーマ株式会社に内定

人やご家族の心に寄り添い 患者様の目線に立った医薬品を開発





多数の学会で発表

妙技会優勝!

研究グループ
DEPARTMENT OF BIOTECHNOLOGY

微生物機能グループ

菌類遺伝学
村口 元 准教授
キノコの子実体が作られるとき、どんな遺伝子やタンパク質が働いて細胞が分化していくのかを解明します。

微生物学
福島 淳 教授
環境のウイルスなどの微生物はほとんど理解されていません。これらをゲノム解析技術で研究しています。

応用微生物学
春日 和 准教授
放線菌という土にいる微生物を使って、木材やセルロースから薬（抗生物質）を作らせる研究をしています。

微生物学
志村 洋一郎 准教授
微生物のもつ物質変換機能を応用した有用物質の創生や生産に挑戦。

応用微生物学
牟田口 祐太 助教
乳酸菌や好熱菌といった微生物たちの特性を明らかにし、人間社会に応用する。

進化生物学
竹下 和貴 助教
昆虫−微生物間の必須共生関係を遺伝子レベルで理解し、害虫防除技術への応用を目指す。

植物機能科学グループ

植物生理学
岩崎 郁子 准教授
動けない植物が生きていくには光合成に加え微生物との共生も重要であると考え研究を行っています。

植物代謝化学
水野 幸一 教授
カフェインを含む植物が、その合成能をどのようにして獲得し進化させてきたのかを探る。

生体鉱物学
尾崎 紀昭 准教授
生物が造る鉱物（バイオミネラル）をミクロな視点から眺め、その謎を解くことで、革新的素材を作る。

天然物化学
常盤野 哲生 准教授
植物や微生物由来の生理活性物質の探索や有機合成研究を通して、医薬品や農薬に役立つ有機分子を作る。

植物分子生理学
王 敬銘 准教授
たんぱく質と結合する有機化合物の合成研究を行っています。

応用生物科学科 教員紹介ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/gakubu/kyoin/kyoin-bio/124

分子細胞機能グループ

海洋生物学
岡野 桂樹 教授
海洋生物の持つ素晴らしい能力を、分子細胞生物学を使って研究し、応用に活かす研究をしています。

分子腫瘍学
村田 純 教授
癌で死に至る最大の要因は転移です。その分子メカニズムを解析して癌治療のヒントを探しています。

幹細胞生物学
小林 正之 教授
iPS細胞が形成されるメカニズムの解明に挑戦しています。

分子生物学
岩下 淳 助教
喘息やCOPDの方は、気道で粘液ムチンが過剰に分泌され、気道を狭めています。この粘液ムチンの分泌を抑えて、喘息などの症状改善に繋げることを目指しています。

生化学
穂坂 正博 教授
情報伝達機構であるホルモン分泌系、神経系について研究を行い、生活習慣病の解明を目指しています。

食品醸造グループ

分子育種学
中沢 伸重 教授
パン酵母として市販されている白神こだま酵母が持つ、高いストレス耐性のメカニズムを解析しています。

食品科学
陳 介余 教授
食品のおいしさ、栄養成分および安全性等の品質の可視化技術の開発を目指しています。

醸造学
橋爪 克己 教授
美味しくて魅力的なお酒をつくるために、お米とお酒の味わい成分や黄麹菌の働きについて研究しています。

醸造学
伊藤 俊彦 准教授
日本の伝統的なアルコール飲料である清酒製造に関わる微生物や酵素を研究しています。

食品科学
張 菌 准教授
脂肪酸劣化のメカニズムを解明して、脂質を含む食品の品質評価指標の確立に挑戦しています。

食品科学
石川 匡子 准教授
嗜好性に優れた減塩食品を作るために、塩と他の味成分との相互作用や食感との関係性について研究しています。

生物生産科学科

DEPARTMENT OF BIOLOGICAL PRODUCTION

WEB

生物生産科学科
運営ページ
http://www.dbp.akita-pu.ac.jp/

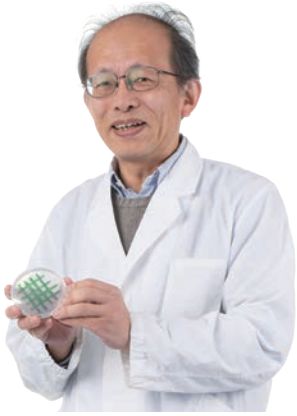
水害にも負けないダイズの生産性を向上させる技術を開発する

広々とした開放的なキャンパスが気に入ったことや、入学して直ぐに研究ができる学生自主研究に魅力を感じ、秋田県立大学を志望しました。生物生産科学科では、自分のような農作業未経験者でも、実習を通して一から幅広く学ぶことができます。様々な作物の栽培方法を学ぶ圃場実習では、自分たちで野菜類を育て収穫することや、実習の最後には収穫した野菜を調理して、他の学科の学生や教職員の皆さんに振る舞う「収穫祭」が行われます。作物を収穫する喜びや育てることの大変さ食べる楽しさについて身をもって学びました。現在私は、ダイズを栽培中に、一定時間、様々な生育時期に水中に沈めることで、ダイズの収量にどのような影響がでるか、日々研究を行っています。近年、秋田でも洪水などによって水田転換畑のダイズに水害が多発しているので、私の研究で少しでも被害を抑えることに貢献することが目標です。将来は、大学での学びを活かし、生物生産に関わるスペシャリストとして、地域産業の活性化に挑戦し続けていきたいと思います。

生物生産科学科 3年　山名 晃貴 さん　YAMANA Kohki
千葉県／船橋東高校出身

植物バイオテクノロジーで新バイオ産業の振興と地球の持続的発展を

植物は進化の過程で太陽エネルギーを利用し環境に適応した独自の育成システムを完成させ、地球上の生物を支えています。人類は食料・食品のほか建築資材や衣類など生活上必要な素材の多くを植物に依存しています。石油に代わる資源として改めて植物が合成する化合物が注目され、植物からアルコールやプラスチックなどが生産されています。これは環境保全を意識した資源のリサイクル化という現代社会ニーズとも一致しています。本学科では、植物の能力を科学的に理解し、バイオテクノロジーにより優れた機能を引出すことにより、植物生産に関する新しい産業の振興・発展に寄与できる人材を育成します。



生物生産科学科 学科長
鈴木 英治 教授

植物生産基礎グループ

植物栄養分野

土の成分と植物の生長の関係を研究し、植物による環境浄化技術を開発する

植物保護分野

病害発生の仕組みと農薬を減らしても病気にかからない方法を研究

植物生態生理分野

生態学的・生理学的手法で資源植物の生長や増殖を合理的に制御する

分子シグナル制御グループ

生物活性化学分野

生物現象を制御する化学物質を発見して、新しい農薬や環境負荷の少ない害虫防除法、作物の高付加価値化を考案する

植物分子情報分野

植物の形態形成を制御する分子メカニズムを明らかにして、植物の形を自由にデザインする

植物遺伝・育種グループ

遺伝育種分野

ゲノム解析などの手法を用いて、新品種や品種改良技術を開発する

植物生理グループ

植物生理分野

澱粉の合成メカニズムを解明し、バイオテクノロジーを用いて澱粉新素材を開発する

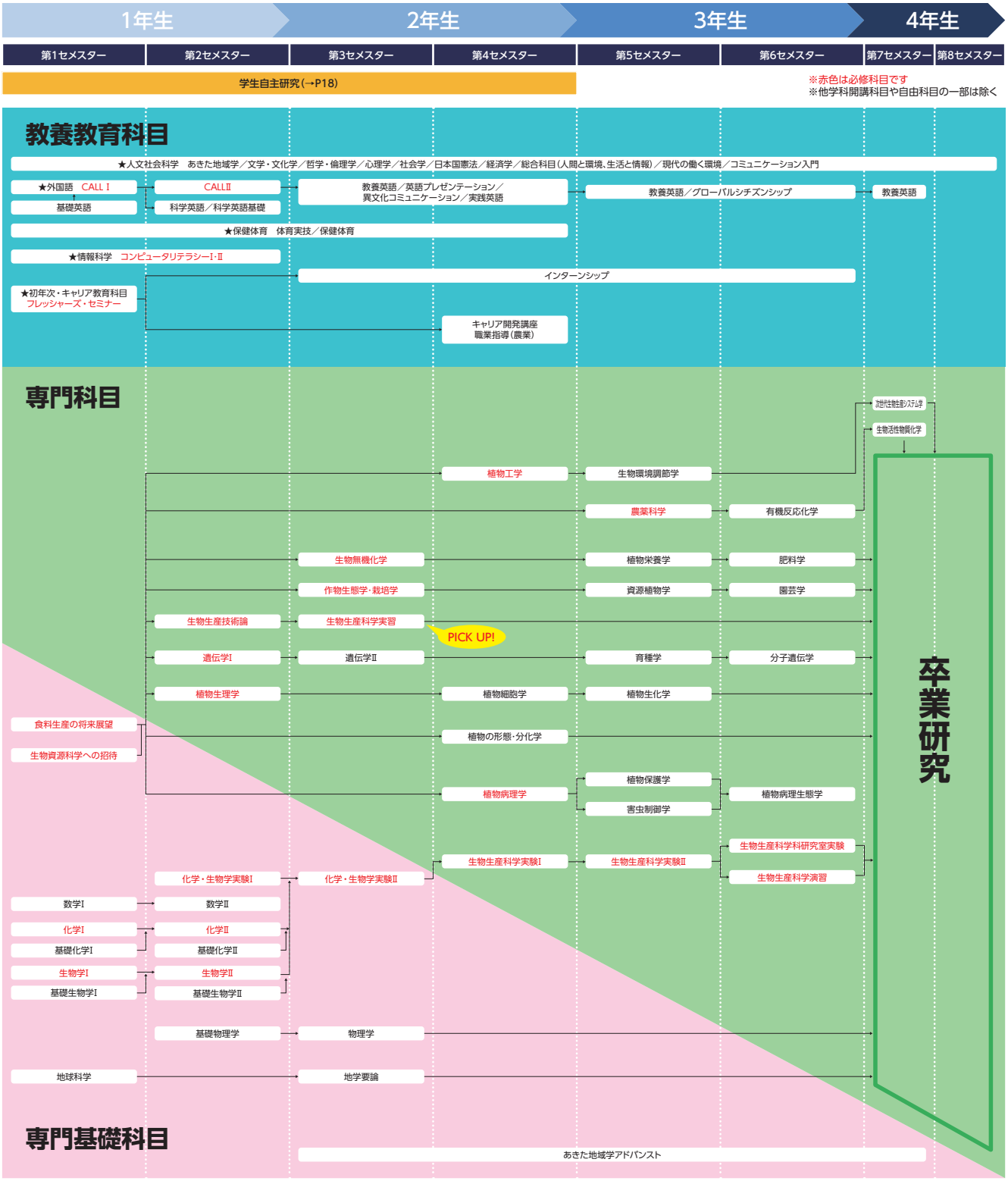
植物資源創成システムグループ

植物資源創成システム分野

植物を利用して有用物質を創る。環境を制御して有用植物を育てる。

カリキュラム

DEPARTMENT OF BIOLOGICAL PRODUCTION



生物生産科学実習

2年次から生物生産科学実習(圃場実習)が始まります。実験圃場を使って様々な作物の栽培方法を学びます。実習の最後には収穫した野菜を調理して振る舞う「収穫祭」が行われます。

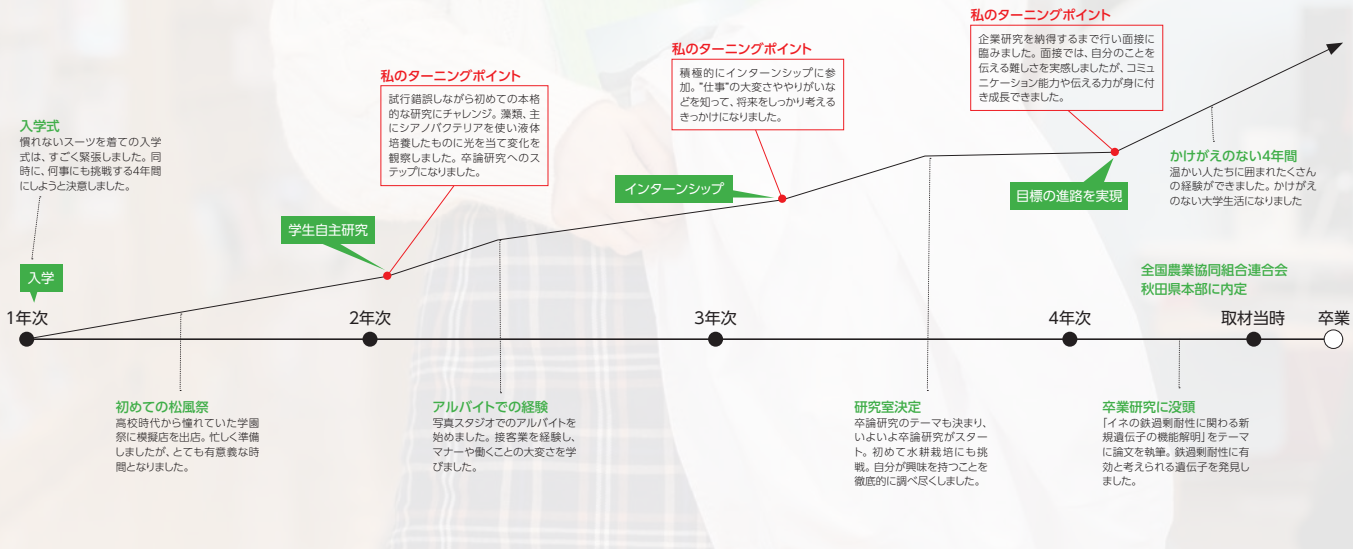
大学での学びを活かし秋田県の農業の発展に貢献する

私の成長ストーリー
follow the tracks

生物生産科学科［4年］

佐藤 佑南 さん
SATOH Yuna

秋田県／能代松陽高校出身
全国農業協同組合連合会秋田県本部に内定



松風祭で研究紹介

卒業論文発表会

研究グループ

DEPARTMENT OF BIOLOGICAL PRODUCTION

植物生産基礎グループ

土壌肥料学

服部 浩之 教授

土壌中−植物系での元素の動態を解明し、安全で栄養価の高い作物を持続的に生産することを目指しています。

植物病理学

藤 晋一 教授

植物に発生する病害の生態を明らかにして、環境の優しい防除技術を確立、農業の持続的発展に貢献します。

作物生理学

小川 敦史 教授

普通の条件と違う環境で栽培したりストレスを与えたりして付加価値のある野菜や作物の栽培方法の確立を目指しています。

作物学

渡邊 肇 教授

田んぼに直接種子をまく直播栽培の確立を目的に、幼植物の生育促進に関する技術開発を行っています。

植物病理学

戸田 武 助教

植物の病気を素早く診断し、病気の起きにくい環境作りを目指します。新種の菌を見つける研究もしています。

植物栄養学

増田 寛志 助教

鉄分や亜鉛などミネラル栄養豊富な健康に良いお米を開発し、秋田県の新たなブランド米を目指しています。

土壌学

頼 泰樹 准教授

有害元素、今は福島で問題になっているセシウムを吸わない作物を開発することを目指しています。

作物生理学

曽根 千晴 助教

世界の食糧保障に貢献するために、異常気象や不良環境下でも稲作が可能になることを目指しています。

植物遺伝・育種グループ

植物分子遺伝学

渡辺 明夫 准教授

ゲノムに書き込まれた生命プログラムを解き明かし、植物のもつ未知の能力を掘り起こします!

遺伝学

赤木 宏守 教授

イネが低温でも成長できる仕組みを解明し、秋田で直播栽培ができるイネの育種を目指しています。

植物分子生物学

上田 健治 准教授

花粉ができる時に必要な遺伝子の働きを明らかにして、植物の品種改良や花粉症対策に役立てます。

園芸育種学

櫻井 健二 准教授

リンゴの新品種育成を目指しています!先人達が残した伝統野菜に付加価値をつける取組みもしています。

生物生産科学科 教員紹介ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/gakubu/kyoin/kyoin-bio/125

分子シグナル制御グループ

昆虫学
阿部 誠 准教授
植物を食べる昆虫は好き嫌いが激しく、決まった植物しか食べません。この理由を様々な手法で調べています。

生物活性物質
田母神 繁 教授
新しい農薬をつくります。

発生遺伝学
佐藤 奈美子 准教授
秋田産の変異体で植物の形づくりの秘密を解明し、世界に向けて発信します。

天然物有機化学
野下 浩二 助教
害虫の行動や植物の生長・代謝を制御する物質を見つけ、有害生物の防除や作物の高付加価値化につなげたい。

植物生理グループ

植物生理学
鈴木 英治 教授
光合成微生物の代謝機構を解明し、新規エネルギー、バイオマス生産の開発を目指しています。

植物生理学
藤田 直子 教授
米の澱粉研究の成果から、これまでにない新しい米を開発し、秋田の農業を元気にします。

酵素学
鈴木 龍一郎 助教
糖質を代謝する酵素の性質を調べて、性能を強化して、利用して、新しい糖質素材を作り出します。

植物資源創成システムグループ

環境調節工学
小峰 正史 准教授
薬用植物を植物工場などで効率良く栽培するため、最適環境の解明と栽培技術の開発を行っています。

分子生物学
原 光二郎 准教授
「地衣類」は新しい薬・コスメの元になる可能性があるんです！新種の地衣、役に立つ地衣を探しています。

植物工学
川上 寛子 助教
薬用植物や地衣類から見出した新しい有用物質の大量生産を目指しています。

生物環境科学科

DEPARTMENT OF BIOLOGICAL ENVIRONMENT

WEB

生物環境科学科
運営ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/bioresource/DBE/index.html

秋田の未来につながる環境の研究

高校時代は生物が得意科目で環境問題をより深く勉強できる秋田県立大学を志望しました。生物環境科学科は、フィールドワークが充実していて、大気・川・海・湖・土壌・森林と幅広い分野について学ぶことができます。秋田の山から海までさまざまな生態系と大自然を教材に、実際に自分の目でみて体験しながら、現代で問題となっている環境問題について様々な見方で勉強することが出来できることが大きな魅力です。私の所属する研究室では、ドローンを用いて上空の温室効果ガスを観測し水田や森林との関係について調査しています。私は現在、ポット試験や圃場でのダイズ栽培を行い、得られた結果を解析して、気温や土壌中の水分量がダイズの発芽にどのような影響を与えているのかを調べています。さらに研究を深め、知見を広げ、将来は環境問題や地域の課題を解決し、地域社会を支えることができる人材になりたいと思います。

大学院・生物資源科学研究科 生物資源科学専攻 1年　伊勢 貫之 さん　ISE Takayuki
秋田県／能代高校出身

ふるさとの自然環境から地球環境までを見つめる フィールドに密着した科学

本学科では、私たちの生活に身近な地域から地球規模まで広がる自然環境や生物資源に関わる問題をフィールドに密着しながら発見し、人間生活への生物資源の活用と保全、自然環境の修復と再生などに関する教育・研究を行っています。生物学・化学・環境科学などの基礎を学んだ学生は、4つの研究グループのいずれかに進み、秋田の山から海までさまざまな生態系を教材としながら、学科内外の異なる専門分野の研究者や地域の人々と手を携えて、人間と生物資源をとりまく環境問題の解決や環境と調和した生物資源の効果的利用に貢献します。

生物環境科学科 学科長
高橋 正 教授

陸域生物圏グループ

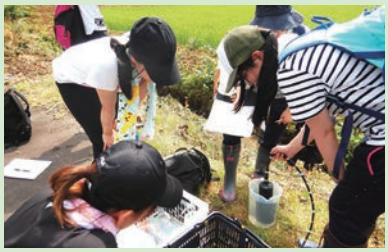
大気・水圏環境学研究室
［水質評価／微量化学物質／気象学］
人と生物をとりまく水、大気を科学する

土壌環境学研究室
［作物生産／微生物機能の活用／温室効果ガス］
環境にやさしい農業を目指す

森林科学研究室
［生態学、人と自然のかかわり、遺伝解析］
森林の移り変わり、保全について考える

環境管理修復グループ

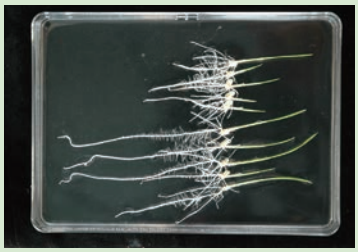
生態工学研究室
［湖沼水質改善／排水処理／資源循環技術］
生態系・生物機能を利用した環境改善技術の開発



自然生態管理学研究室
［自然の浄化力評価／生物の土壌浄化／流域管理］
生物のはたらきを理解し環境をきれいにする

基礎生命科学グループ

基礎生命科学研究室
［植物生理機能／遺伝子組み換え／ゲノム情報］
生物の機能を遺伝子技術で高める



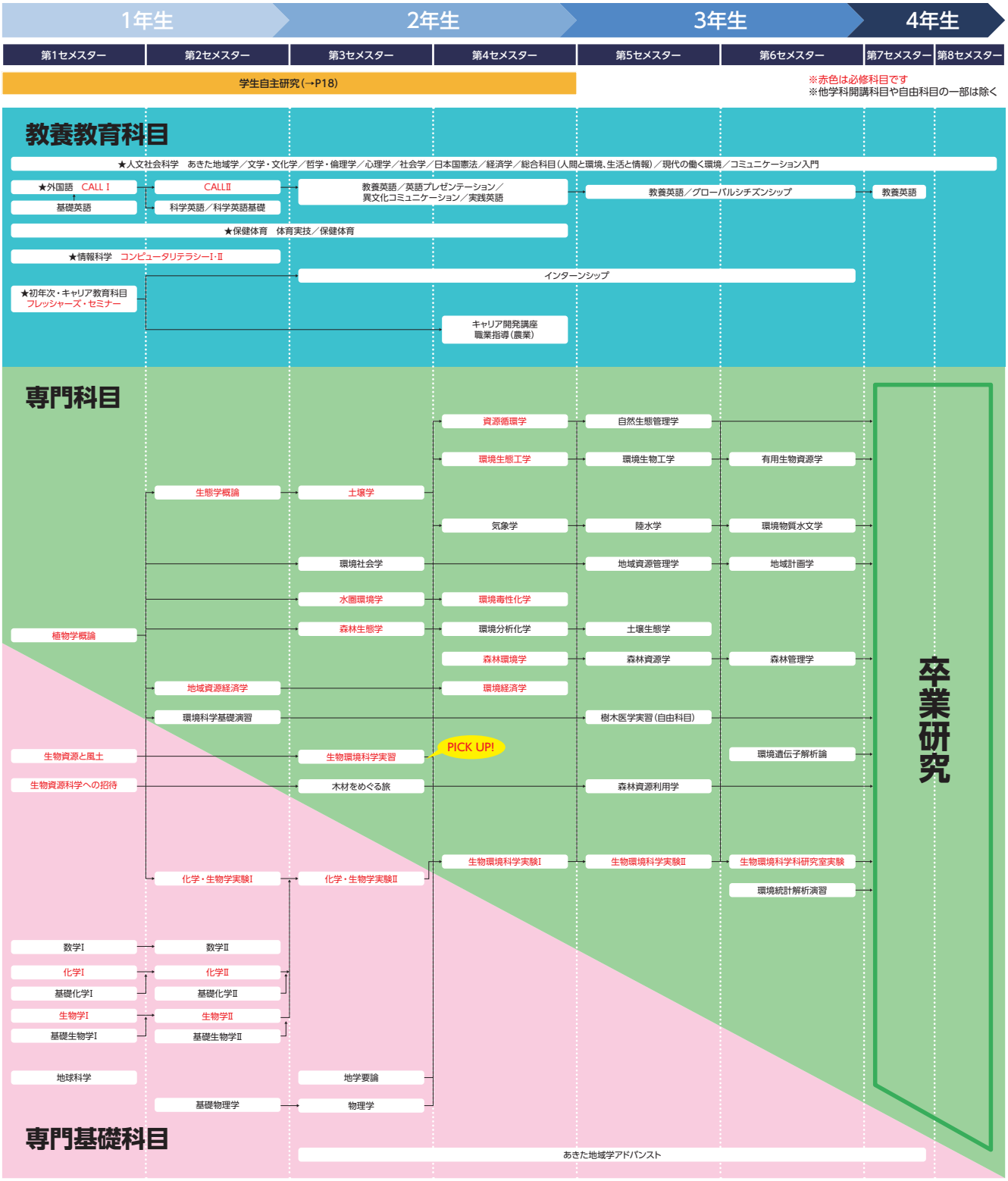
地域計画グループ

地域計画学研究室
［環境と経済の両立／地域活性化］
地域資源を活用して持続可能な地域をつくる

環境社会学研究室
［人々の意識や行動／地産地消］
人間と環境・食の関わりを研究

カリキュラム

DEPARTMENT OF BIOLOGICAL ENVIRONMENT



生物環境科学実習

2年次から本格的に生物環境科学実習(フィールドワーク)が始まります。秋田県の多様な自然環境や生物資源を教材にしながら、実験室での作業とフィールドワークの手法をバランスよく修得することができます。

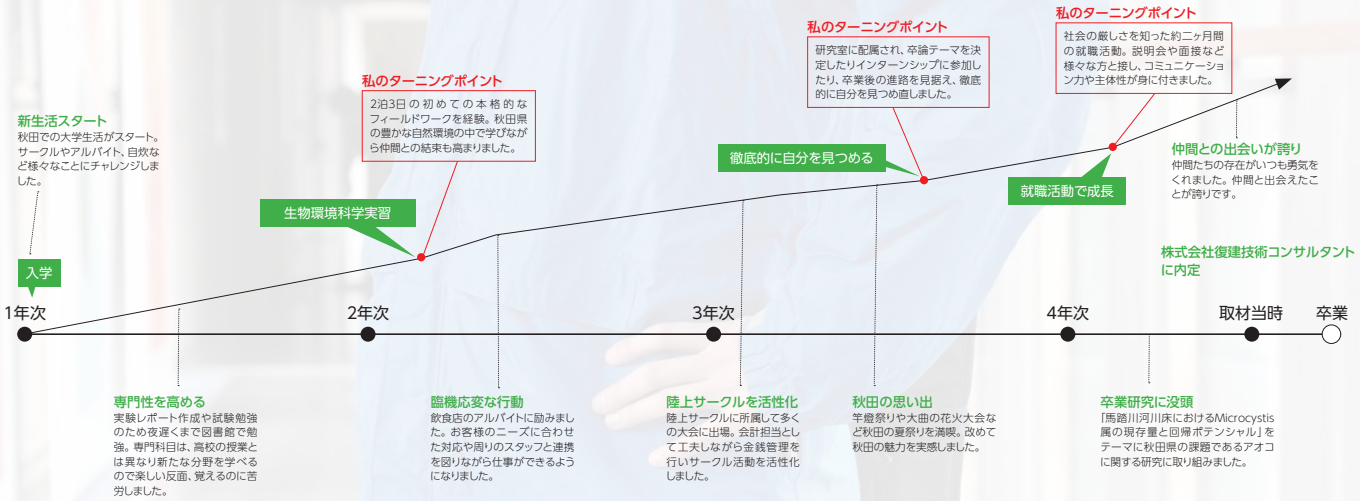
私の成長ストーリー
follow the tracks

生産環境科学科［4年］

千葉 貴文 さん
CHIBA Takafumi

宮城県／古川高校出身
株式会社復建技術コンサルタントに内定

地域のホームドクターとして災害からの復興・復旧に尽力する



生物環境科学実習

陸上サークルの仲間たちと

研究グループ

DEPARTMENT OF BIOLOGICAL ENVIRONMENT

陸域生物圏グループ

生態学

蒔田 明史 教授

百数十年に一度、一斉に開花して枯れるという特異的なササの生き方の不思議を探求しています。

分析化学

木口 倫 准教授

生活排水を通じて河川に流れ出た医薬品のゆくえを探り、ヒト感染症の流行予測や予防に役立てる研究に挑戦しています。

森林科学

星崎 和彦 教授

樹木の成長や開花結実、動物の個体数など「森の営み」の長期観測を通して気候変動の影響を探っています。

気象学

井上 誠 准教授

ドローンを用いた大気中の温室効果ガス観測と秋田県の農作物収量に関わる干ばつ・冷夏の予測を目指しています。

土壌学

佐藤 孝 教授

微生物の力を利用して肥料や農薬の使用量を減らしつつ、農産物がたくさん採れる農業を目指しています。

土壌学

髙階 史章 助教

作物の生産性を高めながら環境は汚さない、そんな持続可能な農業を実現します。

生態毒性学

堀江 好文 助教

化学物質が水生生物に与える生態影響について研究を行っています。

生態学

坂田 ゆず 助教

外来植物が昆虫を介して在来植物に与える影響について研究を行っています。

生物環境科学科 教員紹介ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/gakubu/kyoin/kyoin-bio/126

WEB

環境管理修復グループ

環境生物工学
宮田 直幸 教授
全国各地の鉱山の坑道で金属を代謝する未知の微生物を探索し、新しい廃水処理技術の開発に挑戦しています。

環境土壌学
石川 祐一 准教授
環境に拡散した重金属や有機化学物質を植物に吸収・蓄積させることによって浄化することに挑戦しています。

生物地球化学
早川 敦 准教授
河川水質の形成メカニズムや自然のもつ浄化機能を理解し、流域の物質循環の適正化を目指しています。

土壌生成分類学
高橋 正 教授
火山灰土の分布とその起源火山の特定、土壌や地殻のアルミニウムの生物地球化学的動態を調べています。

微生物生態学
岡野 邦宏 准教授
最新のDNA解析装置を駆使してアオコを取り巻く微生物を解析し、八郎湖のアオコ問題解決を目指しています。

地域計画グループ

環境社会学
谷口 吉光 教授
持続可能な社会の中心は農村・農業にある。そう信じて持続可能な社会のモデルを秋田でつくる。

農業経営学
中村 勝則 准教授
地域の自然や社会と調和し、若者にとって魅力的な農業法人(会社)のあり方を現地調査から解明したい。

農業経済学
長濱 健一郎 教授
農地や水などの地域資源を活用した経済活動を育て、グローバルな時代に環境と調和した豊かな地域をつくります。

基礎生命科学グループ

植物分子生理学
小西 智一 准教授
データに隠されている事実を探しています。数学・物理学・化学・生物学の知識を総動員する知力戦です。

アグリビジネス学科

DEPARTMENT OF AGRIBUSINESS

WEB

アグリビジネス学科
運営ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/bioresource/AGRI/

腸のメカニズムを解明して畜産動物の生産性を向上する

少人数制教育により、先生との距離が近く、質の高い教育が受けられることに魅力を感じ秋田県立大学を志望しました。アグリビジネス学科では、全国一の広さを誇るフィールド教育研究センターでの実習や、農畜産物の生産・消費までの市場の流れについての講義があり、生命現象だけではなく、ビジネスからの視点からも学ぶことができます。実習の中でも、直接ウシに触れながら行う人工授精が印象に残っていて、ウシと触れ合う機会が多いのも魅力の一つです。このように実際に畜産動物と触れ合いながら、地域環境や農業経済について学べるのはアグリビジネス学科ならではと思います。現在は卒業研究としてニワトリの腸が持つ特有の機能を探索していて、最終的には成長効率の向上につなげていきます。将来は学生生活を通して得た経験と知識を活かし、日本の畜産業の発展に貢献できればと考えています。

アグリビジネス学科 3年　森 桃花 さん　MORI Momoka
三重県／川越高校出身

イノベーションの推進と次世代型アグリビジネスの創成を目指して

本学科が目指すアグリビジネスとは、農業生産を基幹としつつ、流通、消費までを見通し、時代の新たなニーズを読み取って実現する農業・農村にかかわる多様な社会的・経済的活動を意味します。こうした活動は、農業と関連産業が連携して、農産物やその他の地域資源を活用し、新商品提案や地域ブランド化を進めて、持続可能な地域の経済力を創り上げていくことにつながっていきます。

アグリビジネス学科 学科長
鵜川 洋樹 教授

専門性を高める6つのプロジェクト

3・4年次から6つのプロジェクトに分かれ、地域の課題を多角的な視点から解決することを目指した専門教育が行われます。

アグリテクノロジー（農業生産技術系）

先進作物生産技術開発プロジェクト

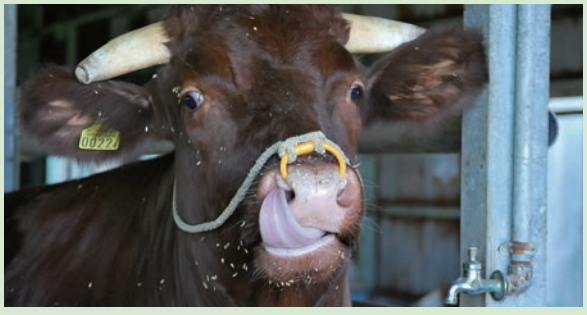
イネやダイズなどの土地利用型作物の生育特性や栽培方法、農業機械・情報利用技術を、座学と実習を通じ学びます。

先進園芸技術開発プロジェクト

園芸作物(果樹、野菜、花き)の生産動向を見極めた先進的な生産技術または高度化した実用技術の開発を目指します。

家畜資源利用推進プロジェクト

畜産資源の高度利用による新たな食肉生産技術体系の創造を目指し、肉用牛の飼育管理など畜産の知識・技術の修得とともに家畜の生理機能の解明と食肉生産技術の開発に取り組みます。



ルーラルエンジニアリング（農業農村環境保全系）

次世代農業基盤創成プロジェクト

農業の生産性向上や農村地域の防災・減災のための農地・水・水利施設等の管理・整備・保全技術と、農業・農村の有す多面的機能を向上させるための農村環境の評価・保全技術を学びます。

アグリビジネスマネジメント（農業経済／農村社会系）

地域ビジネス革新プロジェクト

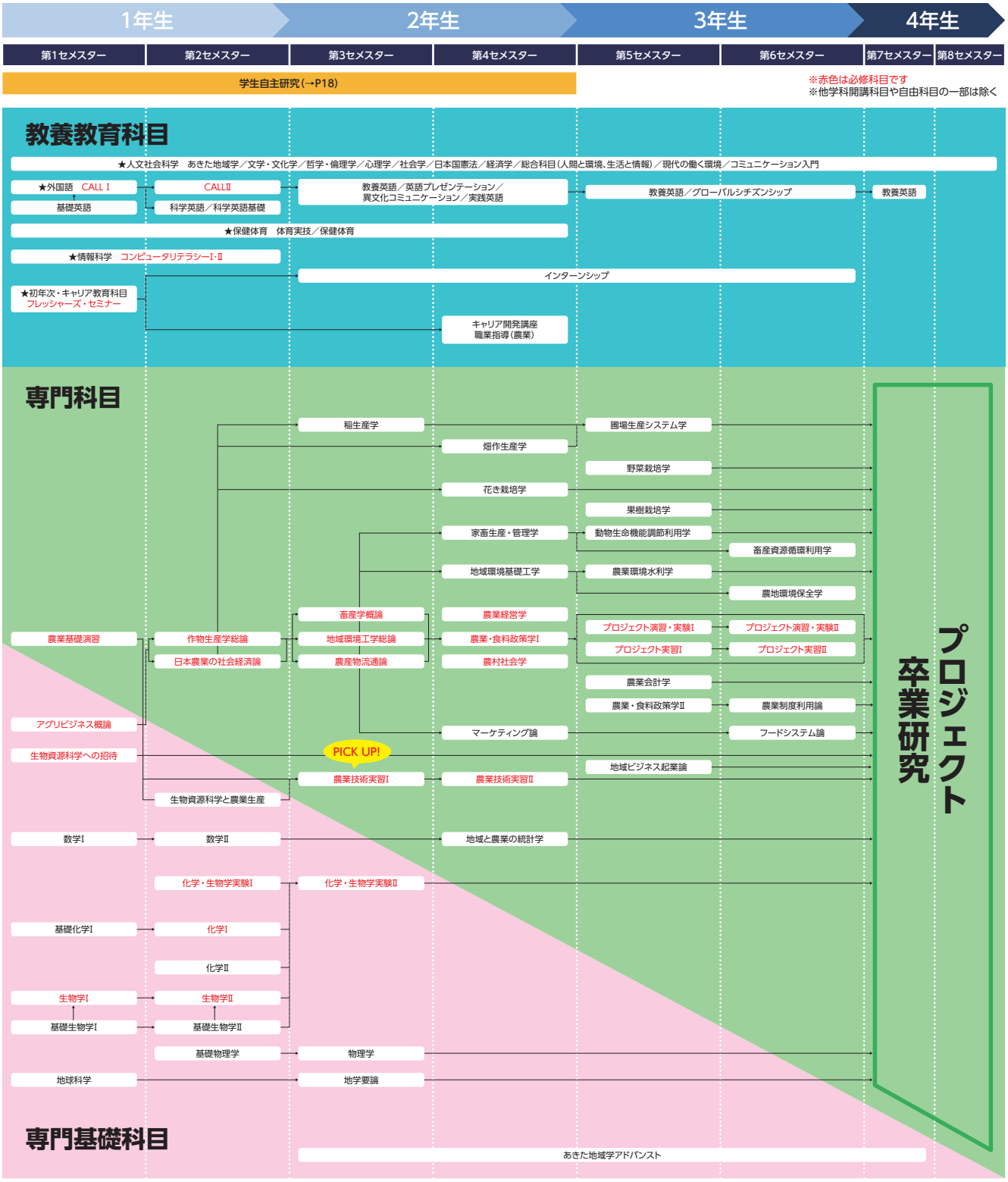
農村地域の諸資源を活用した各種アグリビジネス、6次産業化などの新たな展開や流通システムの革新などについて学び、研究して、農業・農村の活性化に必要な知識や手法を身につけます。

政策・経営マネジメントプロジェクト

農業・農村振興のための実態分析と課題摘出を行い、生産・流通・消費および生活など多角的アプローチによる課題解決のための提案能力を育てる研究・教育を行います。

カリキュラム

DEPARTMENT OF AGRIBUSINESS



農業技術実習Ⅰ

2年次から農業技術実習が始まります。フィールド教育研究センターで農作物と園芸作物の栽培技術や家畜の飼養技術、トラクタの基本的な操作などを学びます。

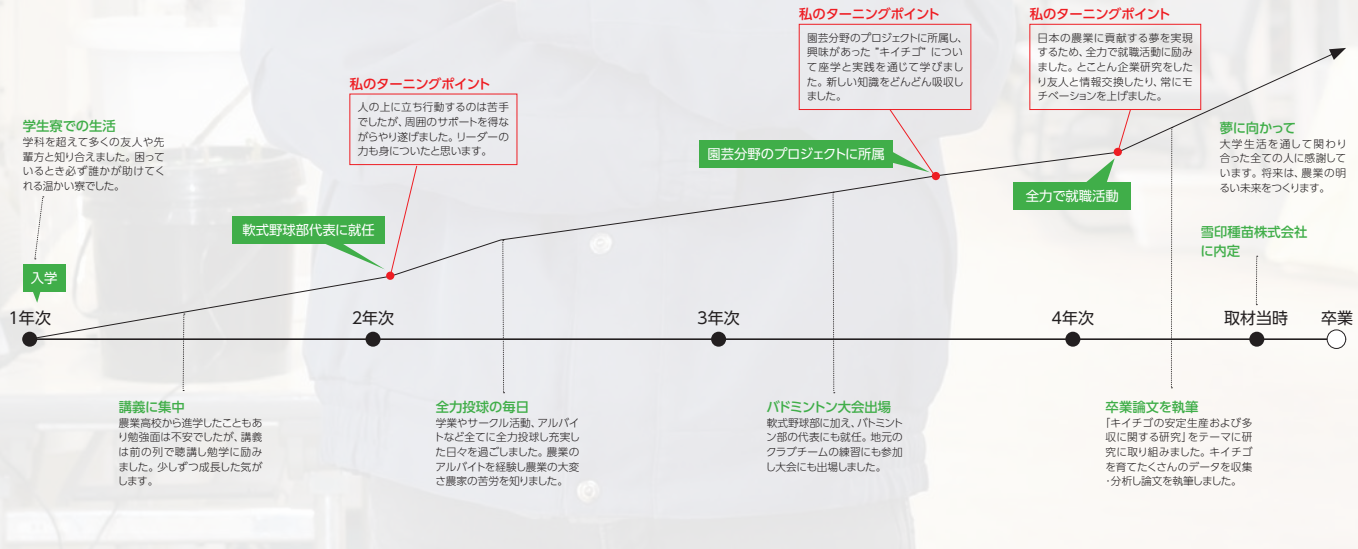
私の成長ストーリー
follow the tracks

アグリビジネス学科［4年］

片桐 孝太 さん
KATAGIRI Kohta

栃木県／那須拓陽高校出身
雪印種苗株式会社に内定

農業に必須である種や苗を開発し日本の農業に貢献する



研究プロジェクトのメンバー

バドミントン部の仲間たちと

研究グループ
DEPARTMENT OF AGRIBUSINESS

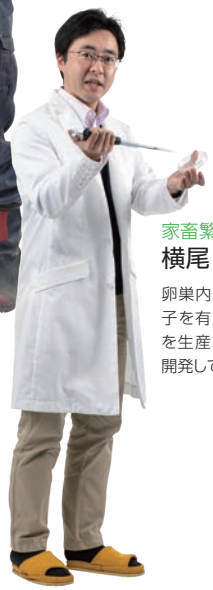
アグリテクノロジー

畑作物学
露﨑 浩 教授
ダイズやムギ類の安定・多収化、雑草の生態解明と制御技術開発、および雑草の教材化を目指した研究に挑戦しています。

野菜園芸学
吉田 康徳 教授
野菜の特性（生理生態的特徴）を活用して、寒冷地でこそ有利な画期的な生産技術の開発を目指しています。

花き園芸学
神田 啓臣 准教授
組織培養を使って花を大量につくる方法や、お正月やお盆などに花を咲かせる方法を研究しています。

家畜飼養学
伊藤 謙 助教
未利用資源の飼料化や畜産動物の品種の違いと腸管機能の違いの解明に挑戦しています。



家畜繁殖学
横尾 正樹 准教授
卵巣内に眠る大量の卵子を有効活用して子牛を生産する技術を研究開発しています。

発生遺伝学
永澤 信洋 准教授
いろいろな遺伝子がどのように働いて穂をつくっていくのか明らかにします。

植物育種学
北本 尚子 准教授
機械や遺伝子情報を使って、いかに手間をかけずに美味しいリンゴを作ることができるか挑戦しています。

食肉生産科学
佐藤 勝祥 助教
日本短角種牛を対象に、赤身肉の生産性と肉質の向上を目指して研究を行なっています。

ルーラルエンジニアリング

農業水利学
近藤 正 准教授
農業の持続性向上を追求！水田負荷の抑制、水田生態系の回復と水質浄化機能の向上で農業水域の水質を保全します。

農業水利学
永吉 武志 准教授
ドローンを活用し、堰やため池などの水を利用するための施設を、安全かつ長持ちさせるための技術開発に挑戦しています。

農業機械学
山本 聡史 准教授
農業ロボットの開発や植物の三次元モデルの構築手法の研究を行っています。

農業水文学
増本 隆夫 教授
田んぼの大きさから流域（河川に流れ込む降水の降り集まる地域）スケールで水の流れをモデル化しています。

WEB

アグリビジネス学科 教員紹介ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/gakubu/kyoin/kyoin-bio/127

アグリビジネスマネジメント

農村社会学
荒樋 豊 教授

衰退傾向にある農村社会を立て直すために、地域づくり・農村活性化手法を追究しています。

農業経済学
岡田 直樹 教授

サイレント革命といわれる世界の新しい状況に対応した、持続的農業・農村のあり方を探求しています。

農業経営学
鵜川 洋樹 教授

農業生産の最前線で何が起きているのか。営農現場のデータから農業経営の仕組みと発展方向を考えます。

農業経済学
酒井 徹 准教授

有機農業などの持続的農業が地域でどの様に広がるか、経営が成り立つ流通のあり方について研究しています。

農業経済学
赤堀 弘和 助教

コンピュータモデルを使ったシミュレーションで日本や秋田農業の持続的な発展を目指しています。

流通・マーケティング学
林 芙俊 准教授

新しい野菜流通システムの形成条件を明らかにします。

農業経営学
高津 英俊 助教

日本農業における新規就農者の確保や就農支援、育成方策について研究しています。

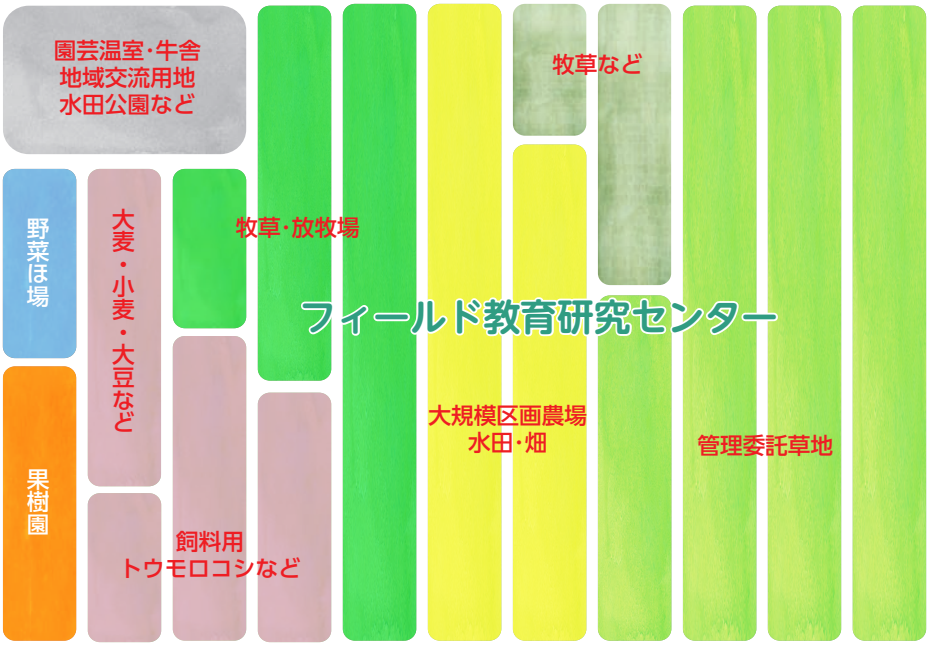
農業経営学
上田 賢悦 准教授

将来の日本農業をリードする農業経営者を育てるための人材育成プログラムの開発に取り組んでいます。

生物資源科学部附属／大潟キャンパス　全国一の広さを誇る大規模農場

フィールド教育研究センター

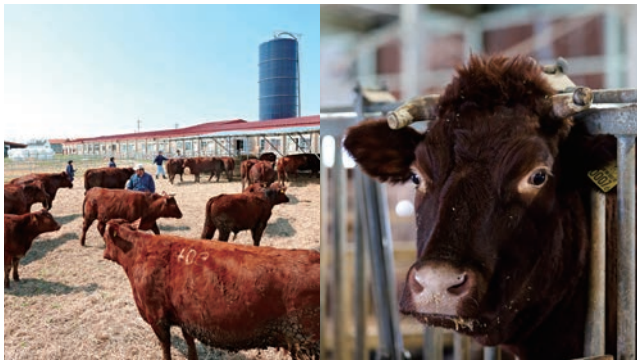
秋田県の北西部、八郎潟の干拓で誕生した大潟村にあり、海抜マイナス1mにあります。総面積190ha、東京ドームの建築面積の約40個分。そのうち圃場面積が164haあり、大学附属農場の中で全国一の広さ。水稲に加え、大豆や小麦などの畑作物、果樹や野菜、花きなどの園芸作物、牧草やトウモロコシなどの飼料作物が栽培されるとともに、42頭の肉用牛も飼養されています。この農業生産の大規模フィールドで、演習や実習、卒業研究などが行われます。



大潟村はガンやハクチョウ、ワシなど多くの冬鳥たちが飛来します。フィールド教育研究センターの田んぼも賑やかになります。

子牛誕生！

牛舎 和牛（黒毛・短角）42頭



野菜ほ場 そ菜（ヤマノイモ、トマト、キャベツ、タマネギ など）

園芸温室 花き（オーニソガラム、マリーゴールド、ガーベラなど）

果樹園(6ha) リンゴ、ブドウ、キイチゴ など

フィールド教育研究センター　教員紹介ページ
https://www.akita-pu.ac.jp/gakubu/kyoin/kyoin-bio/128

フィールド教育研究センター教員

環境保全栽培学
保田 謙太郎 准教授

稲作は中国大陸から伝播しましたが、日本の水田雑草はどのように誕生したのか?その由来を調べています。

家畜飼養管理学
渡邊 潤 准教授

日本の畜産は輸入飼料に依存しております。そこで飼料自給率100%を目標とした土地利用型畜産経営モデルの創出を目指しています。

園芸学
今西 弘幸 准教授

ラズベリーの収穫期を調整するための栽培やニホンナシの組織培養変異を利用した育種の研究を行っています。

生産システム学
西村 洋 教授

ロボット技術やICT技術を活用し、だれでも、どこからでも農業を行うことができるシステムを目指しています。

大区画農場(水田／25ha、畑地／45ha)

【作物】○稲(あきたこまち、めんこいな、たつこもち、あきた酒こまち※)
※県大発日本酒醸造「究(きわむ)」に用いられます(P101)
○麦類(シュンライ、銀河のちから など)
○大豆(リュウホウ)

地域交流

一般市民の見学、子どもたちの農作業体験·収穫体験などを実施し、食の重要性や農業の役割を考えるきっかけづくりを行っています。6月には、日頃の教育·研究活動を広く知っていただく機会として、「フィールド教育研究センター開放デー」を開催しています。

WEB

大学院
システム科学技術研究科
Graduate School of Systems Science and Technology

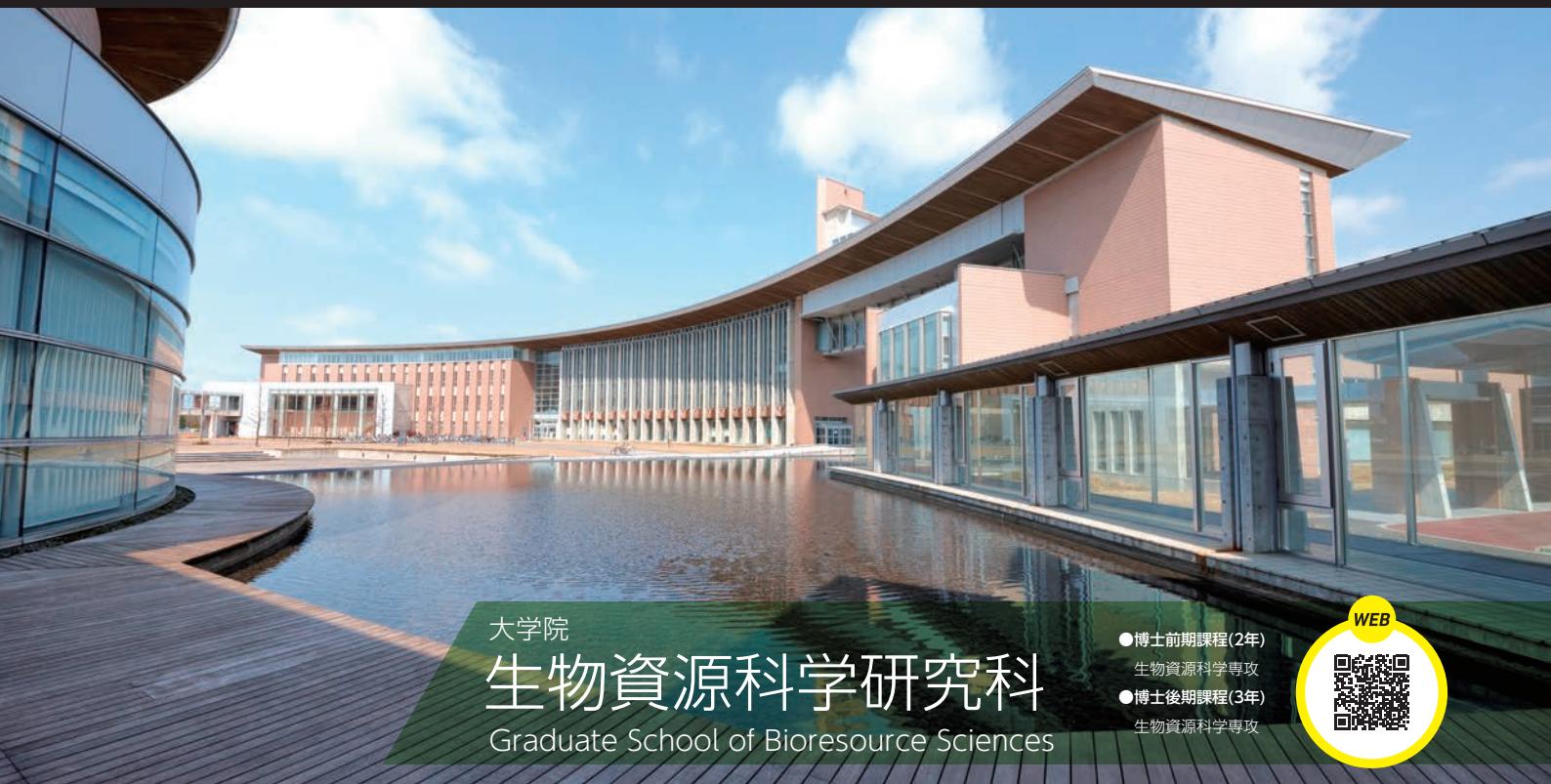
●博士前期課程(2年)
機械知能システム学専攻
電子情報システム学専攻
建築環境システム学専攻
経営システム工学専攻
共同ライフサイクル
デザイン工学専攻

●博士後期課程(3年)
総合システム科学専攻

大学院

FEATURES

科学技術がますます発展・深化する中、より高度な専門知識と技術を有した人材が求められています。特に、工学・理学・農学系の大学院進学率は年々増加しており、社会での活躍の幅を広げるためには、大学院で、最先端の専門知識と技術を修得することが必須となっています。本学大学院には、充実した教育・研究環境とサポート体制が整っています。



大学院
生物資源科学研究科
Graduate School of Bioresource Sciences

●博士前期課程(2年)
生物資源科学専攻
●博士後期課程(3年)
生物資源科学専攻

WEB

地域の研究機関や企業との連携のもと、秀でた創造力・総合力を有するエンジニアを育成する。

システム思考を身につけ、創造力と総合力に秀でた次世代を担う高度エンジニアの育成を目標に掲げ、充実した研究設備を整えるとともに、国内外の学会などでの発表も積極的に支援します。また開かれた大学として地域の研究機関・企業などと連携を密にしていることも特色で、本荘由利産学振興財団による学生の研究活動や海外への派遣支援も行います。

特徴1

国内大学で最高レベルの実験設備・機器を完備

超精密成形研削研磨装置、電波無響室、建築構造実験室、高精度安定同位体比質分析計など各分野における最高水準の設備・機材を揃えており、最先端の研究ができる環境になっています。

特徴2

一流企業に高度専門技術を有するエンジニアとして就職できる

大学院を卒業したOB・OGは、大手企業や先端技術を持つ地域の企業で、製品開発設計や建築設計、経営企画など企業をリードする仕事に携わっています。

特徴3

国際会議に参加できる機会が多い

国際会議・シンポジウムへの参加、国際共同研究の成果発表などに参加している大学院生が多くいます。本荘由利産学振興財団等から渡航費用などの援助を受けることができます。

スーパー連携大学院プログラム

所属している大学にいながら他大学の魅力ある科目を受講できる教育プログラムです。“こうなりたい”と望む人物像に向けたカリキュラムを選択でき、研究活動や将来の就職にも役立てることができます。普段聞くことのできない企業トップの話や特定専門分野の技術者の話を聴講できます。学位研究の産学共同の研究活動を通じ企業人とのコミュニケーションができ、自分の適性を見ながら進路を決めることができます。

国内外の学会参加を奨励

学会参加を全面サポート

本学大学院は、国内外の学会で研究成果を発表することを奨励しています。専門分野の最先端に触れ、また人との交流を通じて、研究テーマへの関心が深まり視野も広くなります。国際学会における渡航費・交通費・参加登録費・宿泊費は大学で全面的に支援します。

社会人に配慮した多様かつ柔軟な教育プログラム

特別早期修了制度

博士後期課程において、既に一定の研究実績や能力を有する社会人を対象に、入学前の審査で優れた業績を有すると認められた場合に、標準修業年限よりも短期の履修を認め、学位取得ができる制度です。

長期履修制度

社会人など個人の事情に応じて、修業年限を超えて計画的に学位取得ができる制度です。授業料については、履修期間に応じて分割納付となります。

人間と生物の共存をはかる知恵と技術を有する専門家・研究者を育成する。

食料・エネルギー・環境問題の解決の鍵は「再生可能な生物資源と人類の共存関係の樹立」にあります。その原理を解明し、ふさわしい技術を確立することが私たちの使命です。本研究科では、今までの農業システムを再吟味し、新しい生物機能の発見と応用を通じて、これらの課題に取り組む専門的技術者を育成します。秋田にある立地をフルに活かして、生物資源における問題発生の現場から、解決策を研究する研究室、そして、その結果を再度現場にフィードバックする「現場と研究室の直結」による研究教育を行います。

特徴1

国内大学で最高レベルの実験設備・機器を完備

フィールドに密着した教育と研究が一体的に行われ、学会などを通じて成果を広く発信することを支援しています。

特徴2

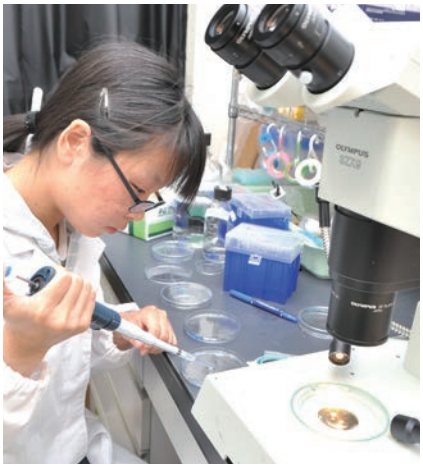
自然の恵みを活かした豊富な研究対象

白神山地、仙北平野の農耕地、雄物川、男鹿半島、八郎湖など多様な自然環境を誇り、研究対象の豊富さは他に類を見ません。

特徴3

全国トップレベルの高度な研究基盤の完備

大学では唯一ともいわれるバイオテクノロジーセンターやフィールド教育研究センターなど高度な研究基盤が整備されており、効率よく研究を進めることができます。



学会等における受賞実績例

●日本建築学会／優秀卒業論文賞
●木の家設計グランプリ2019／優秀賞・ビルダー賞受賞
●国際学術雑誌「Scientific Reports」への論文掲載
●インターネットアーキテクチャ研究会／学生研究奨励賞
●第20回計測自動制御学会／優秀講演賞
●日本燃焼学会「美しい炎」写真展／優秀作品賞
●日本建築学会大会(中国)学術講演会都市計画部門／若手優秀発表賞
●TOHOKU + N YOUTH DESIGN「建築の成り立ち」／優秀賞
●エコデザイン・プロダクツ&サービス シンポジウム／ベストポスター賞
●大気環境学会年会／ポスター賞
●SICE東北支部研究集会／東北支部優秀発表奨励賞
●ASIA PACIFIC AUTOMOTIVE ENGINEERING CONFERENCE
自動車技術会／大学院研究奨励賞
●日本音響学会秋季研究発表会／学生優秀発表賞
●JIA東北建築学生賞公開審査会／奨励賞
●日本火災学会研究発表会／日本火災学会学生奨励賞

大学院生をサポートする様々な 経済支援制度

大学院優秀学生奨学金

本学学部生が大学院前期課程に進学する際、学部3年終了時までの成績が、所属学科で上位10%以内の場合は年間授業料相当額の全額、10%を超え25%以内の場合は年間授業料相当額の半額を2年間、奨学金として支給します。なお、大学院入試（推薦特別選抜）に合格する必要があります。

特待生制度

▶入学生特待生
大学院入試または在学中の成績などにより優秀者を認定し、年間授業料相当額またはその半額を給付します。

▶在学生特待生
大学院在学中の成績により優秀者を認定し、年間授業料相当額またはその半額を給付します。

授業料減免制度

経済的理由などにより授業料の納付が著しく困難と認められた場合、授業料の減免制度が利用できる場合があります。学生からの申請により、各期（前期・後期）ごとに審査し、全額・3／4・半額・1／4の額を減免します。

授業料分割徴収 授業料徴収猶予

授業料の減免制度と同様、経済的理由などにより授業料を納付期限までに納付することが困難な場合は授業料の分割納付や徴収を猶予する制度があります。

学会における受賞実績例

●森林・林業技術交流発表会／東北森林管理局長賞奨励賞
●人間・植物関係学会／優秀発表賞
●日本生態学会東北地区会／最優秀賞
●日本水処理生物学会／ベストプレゼンテーション賞
●アイソトープ・放射線研究発表会／若手優秀講演賞
●日本農芸化学会／学会トピックス賞
●木質炭化学会大会／優秀発表賞
●日本調理科学会／若手研究者発表奨励賞
●日本食品科学工学会東北支部大会／若手奨励賞
●日本応用糖質科学会／ポスター賞
●日本地衣学会／学生発表賞
●日本土壌肥料学会東北支部大会／優秀ポスター賞
●日本水環境学会年会／学生ポスター発表賞（ライオン賞）
●森林・林業技術交流発表会／優秀賞（森林保全部門）
●日本木材加工技術協会大会／優秀ポスター賞
●東北畜産学会青森大会総会／東北畜産学会賞
●日本きのこ学会／学生優秀発表賞
●農業食料工学会／ベストプレゼンテーション賞

博士前期課程

STUDENT VOICE

環境電波発電向け半導体集積回路の研究

環境中の電波からエネルギーを獲得する、電波発電向けの半導体集積回路について研究しました。近年流行っているIoTデバイス（各種センサーやウェアラブル機器など）の電源に電波発電を利用することで、電池が不要となり、電池廃棄による環境汚染や電池交換のコストなどの問題解決に繋がります。

在学中最も印象的だったのは、台湾の国際会議で口頭発表を行ったことです。発表はまだまだ課題が残るものとなってしまいましたが、発表に向けた英会話の練習は自分にとって大事な資産となりました。空き時間には夜市や博物館に行ったり、マンゴーかき氷を食べたりし、とても良い経験となった国際会議でした。また、研究で行き詰まった際は、納得いくまで先生と議論しました。議論を深めることで研究内容だけでなく、研究に対する取り組み方や考え方を学ぶことができ、技術者としての成長につながったと思います。

最近筋トレにハマっていて、今後はマッチョになることも目標です。仕事と筋トレで充実した社会人生活を送りたいです。

内定先 **ミネベアミツミ株式会社**

宇佐美 蓮 さん USAMI Ren

大学院・電子情報システム学専攻 2年 電子材料・物性工学研究室
秋田県／新屋高校出身

大学院生をサポートする様々な 教育制度

日本学生支援機構 奨学金返還免除制度

第一種奨学金の貸与を受けた大学院生が、在学中に特に優れた業績を挙げた者として認定された場合、所属課程で貸与を受けた第一種奨学金の全額又は半額の返還が免除される制度です。

ティーチング アシスタント（TA）

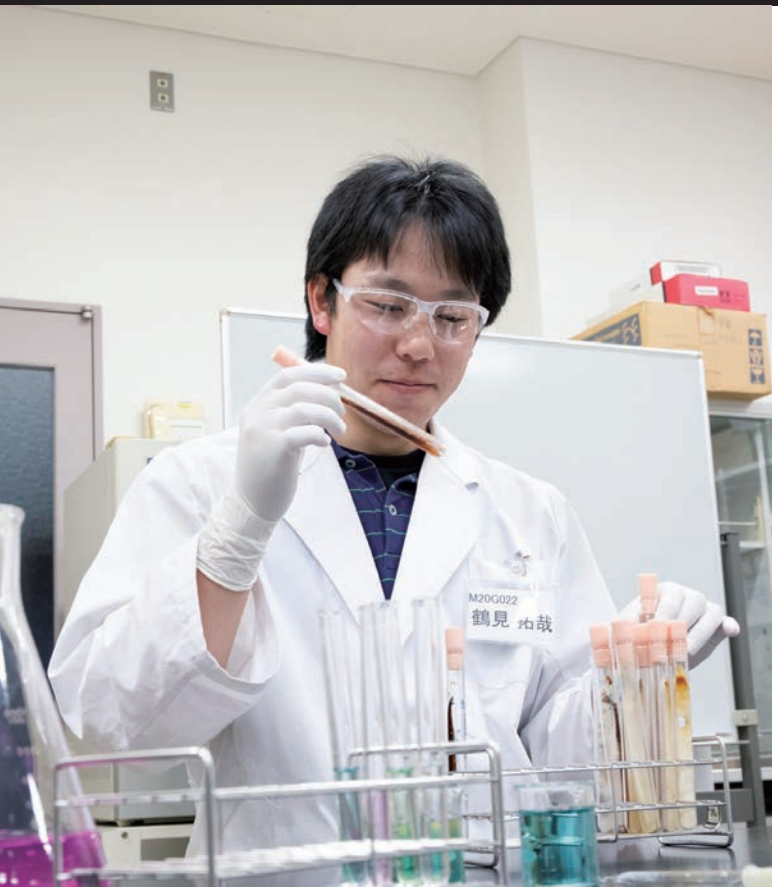
大学院生が、学部生の実験・実習の教育補助を行うのに対し手当を支給する制度です。将来の研究者などになるためのトレーニングの場であり、経済的支援にもなっています。

リサーチ アシスタント（RA）

大学院生が、教員の研究補助を行うのに対し給料を支給する制度です。研究者としての素養を身につける場であり、経済的支援にもなっています。

学生自主研究 学生支援スタッフ

学部1・2年生が行う「学生自主研究」の実験や様々なサポートを行うのに対し手当を支給する制度です。



博士前期課程

STUDENT VOICE

*Bacillus*属細菌資材がダイズの土壌伝染性病害へ及ぼす影響

ダイズの収量低下の要因の一つであるダイズ黒根腐病の発生に対して、微生物の力を利用した生物学的防除法によって抑えることができないか、圃場試験を中心に研究しました。私の研究は学部2年次に学生自主研究で出会った研究テーマで、その後の卒業論文研究や修士学位論文研究でも深く追求しました。その結果、微生物の力を利用することでダイズ黒根腐病の発生を抑制できることを明らかにすることができました。

私の研究を支えたのは、現場（フィールド）がすぐ近くにあり、実験機器も充実している最高の研究環境と、何といっても、いつもマンツーマンで研究をサポートしていただいた先生方のお陰です。将来は、秋田県立大学の6年間で学んだ肥料学や土壌学に関する専門知識を駆使し、それぞれの生産者に合った肥料を提案したり、最適な土壌管理を指導したりして、農産物の生産量を向上させ、生産者の所得向上に繋げたいです。そして、日本の食料基地である北海道の農業を支え、北海道農業の発展に貢献したいです。

内定先 **ホクレン農業協同組合連合会**

鶴見 拓哉 さん TSURUMI Takuya

大学院・生物資源科学専攻 2年 土壌環境学研究室
栃木県／石橋高校出身

教養教育

総合科学教育研究センター

グローバルで、広角的な教養を身に付ける

基礎力を養う人文・社会、心身の健康に関する科目、英語・英会話、情報科学科目など幅広い分野の科目を編成しています。さらに、学部教員と協力して数学教育を行うほか、教員免許状取得を希望する学生のために教職課程や放送大学の授業も利用しながら、グローバルな視点の育成、人や社会生活についての複眼的・広角的な思考の養成を図ります。

WEB

文学・文化学
高橋 秀晴 教授
明治以降の日本の文学を対象に、作品の生成過程や出版人・編集者の果たした役割について考察しています。

心理学
渡部 諭 教授
高齢者先進県秋田で、アプリによる振り込め詐欺防止の研究を行っています。

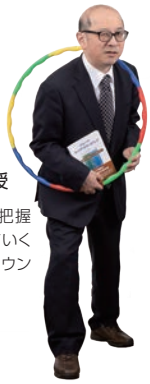
英語
岡﨑 弘信 教授
誰にでも想い出の映画はあるはず。そんな映画とITを組み合わせて英語を'楽'習する方法を研究しています。

教職課程
伊藤 大輔 准教授
学校での様々な教育活動が、生徒さんの皆さんにとってより魅力的なものとなるよう研究を行っています。

社会学
小松田 儀貞 准教授
「社会」は人間の頭の中にある。「知識」はその人そのもの。直接見えない社会と知識を可視化する研究を行っています。

体育学
内山 応信 准教授
地域住民の健康寿命延伸のために、高齢者の転倒と認知症の予防法確立を目指します。

数学
宮本 雲平 准教授
アインシュタインが定式化した一般相対性理論を用いて、ブラックホールの理論的研究をしています。

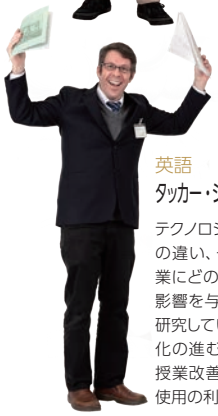


キャリア教育学
渡部 昌平 准教授
自分の興味や関心を把握し、社会にどう関わっていくかを考える「キャリアカウンセリング」が専門です。

哲学
鈴木 祐丞 助教
19世紀デンマークの思想家キェルケゴールの生と思想を手がかりに、人間の生き方について考えています。

英語
高橋 守 教授
英語ライティングの技法、英文多読の指導方法、コンピュータによる学習管理システムなどを研究しています。

英語
山﨑 健一 准教授
どうしたらもっと英会話力が上がるのか。実際に指導しながら研究しています。



英語
ﾀｯｶｰ・ｼﾞｪｲｿﾝ・ｴﾄﾞﾜｰﾄﾞ 助教
テクノロジー使用の交差、文化間の違い、そしてそれが英語の授業にどのような良い影響・悪い影響を与えているのかについて研究しています。よりグローバル化の進む世界のために、英語の授業改善に向けたテクノロジー使用の利点を見つけ出します。

英語
ﾊﾛｳｽﾞ・ｸﾘｽﾁｬﾝ 准教授
従来の教師、教科書中心の学習方法から脱し、実用的なアクティビティを通して、学生自身が授業を展開する方法について研究しています。

英語
加賀谷 真澄 准教授
明治・大正期に貧困ルポルタージュが流行した背景を調べています。欧米の新聞・書籍からの影響を分析しています。

英語
礒部 靖世 助教
学習言語を使うことに対する意欲や自信・不安がフィードバックによってどのように変化するかを検証しています。

附置研究所

木材高度加工研究所

木材資源の理想的な循環系の確立で、人類の未来に貢献

国内の大学機関に属する研究機関として、「木材」を冠する唯一の研究所。木質資源の理想的な循環系の確立を目指して、木材の基礎物性・加工・利用に関する研究と技術開発を行うとともに、高い技術力を備えた人材を育成するため、大学院教育にも取り組んでいます。

WEB

木材化学
山内 繁 教授
スギ間伐材を原料に、有害物質を選択的に吸着する機能性磁石木炭の開発に取り組んでいます。

森林資源学
高田 克彦 教授
森林資源の健全な育成とその効率的な利活用の提案を通じて地球環境保全に貢献する！

木材化学
澁谷 栄 准教授
植物の色に関係するポリフェノールや植物の香り成分の研究を行っています。

木材組織学
工藤 佳世 助教
私たちが木材として使っている樹木の幹が太る（=肥大成長する）メカニズムを研究しています。

木材・木質材料学
中村 昇 教授
地域活性に向けた林産物の多目的流通や利用システムの開発などを目指しています。

木材化学加工
栗本 康司 教授
間伐材や木質廃材を有効に利用するため、木材成分の改質や熱分解の研究を行っています。

木質材料学
山内 秀文 教授
樹木が作る「丸太」をどう切り刻み、それをどう貼り合わせて新しい機能性材料を創るかを日々研究しています。

木材工学
岡崎 泰男 准教授
安心安全な木造建築を作るために、色々な木材の強度や振動・音響性能などの物理特性を調べ明らかにする研究を行っています。

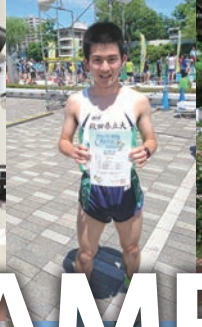
木材乾燥
川井 安生 准教授
鉛筆から木造建築物まで木材利用のため、木材を効率的に乾かす研究をしています。

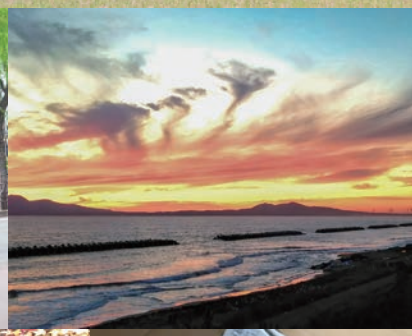
木材加工学
足立 幸司 准教授
伝統工芸を未来に繋ぐため、時代に求められ、時代を新たに創り出すモノとワザを研究しています。

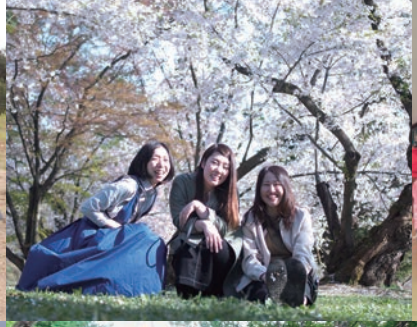
木材利用学
野田 龍 准教授
森林から得られる木材を構造物としてどのように利用していくかを研究しています。

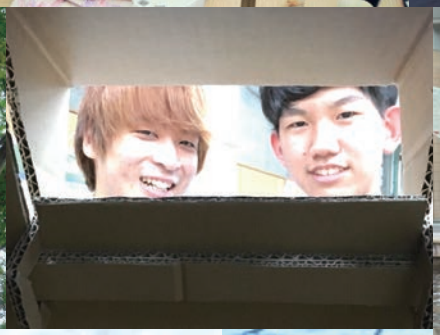
木質工法
渡辺 千明 准教授
モノや人、地域の知恵を発掘し、地域資源を活用したまちづくりを目指します！

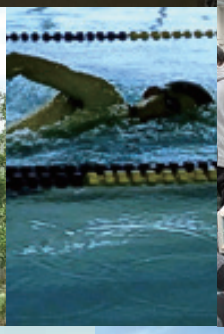
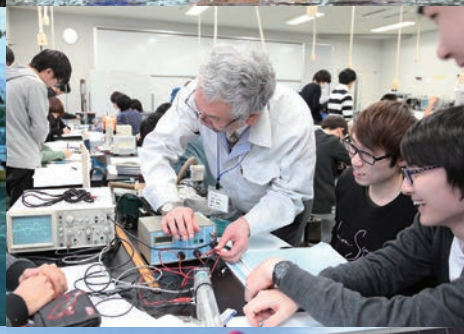
CAMPUS ALBUM

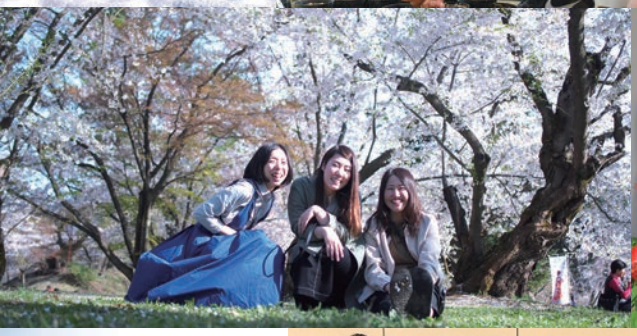










学生の挑戦
日曜本荘昼市 サークル「秋田まちづくり団体」

本荘キャンパス最寄り駅のJR羽後本荘駅前、「本荘駅前市場」では、日曜日を除く毎朝3時～8時に「朝市」が行われています。その開催時間から“日本一朝早い”と言われることもありますが、現在ではあまり一般に知られていません。サークル「秋田まちづくり団体」は、伝統ある「朝市」を知ってもらい、駅前の賑わいに繋げるべく、新たなイベント「日曜本荘昼市」の開催に携わりました。

「日曜本荘昼市」は日曜日の午前9時～午後1時の間に開催し、朝市同様の野菜、魚などの出店の他、スタンプラリーなど多くの企画を実施しています。「秋田まちづくり団体」は実行委員として、市場管理人の繁野正倶さんをはじめとした地域の方々と企画・運営を行っています。2017年に開催された第1回は1000人規模のイベントとして成功を収め、最近では2019年11月に第5回を開催したところです。これからも朝市と駅前通りの賑わいを取り戻すため、活動を続けていきます！

秋田県立大学放送サークル
製作のPVはこちら

学生の挑戦
日本酒醸造“究” KIWAMU PROJECT

若者が気軽に手に取って楽しめる、飲みやすい日本酒づくりをコンセプトに、学生自らが発案・設計・醸造に挑戦する「究(きわむ)プロジェクト」は、本学発の日本酒醸造プロジェクト。究プロジェクトのメンバーは、伊藤俊彦准教授（応用生物科学科／専門分野：醸造学）の指導と株式会社那波商店の協力のもと、酒米の収穫から製麹、仕込み搾りまで、酒造りの一連の作業に挑戦しました。

原料となる県オリジナル酒米「秋田酒こまち」は、本学フィールド教育研究センターで学生自ら田植えを行い収穫したもの、酵母は、伊藤准教授と学生たちが独自に二次選抜した酵母、麹菌は、種麹メーカーである大仙市の秋田今野商店との共同開発で生まれた「吟味」。「究」は、秋田県立大学の技術の粋と学生の感性がたっぷり詰め込まれた新世代の日本酒です。特に今年はフルーティーな香りで、呑み込むとサラ～～ッとキレのある上質な純米吟醸酒に仕上がりました!!

INTERNATIONAL EXCH

国際交流／世界へ飛び立つ学生を全力サポート

海外留学プログラム

学生は世界中の人々と出会い海外で学ぶことで大きく成長します。本学では学生の多様なニーズに応えるため、様々な海外留学プログラムを実施しています。過去に実施した主なプログラムの留学先はご覧のとおりです。

CAMBODIA

JICAカンボジア スタディ・ツアー

いつもとは異なる環境を肌で感じたいと思い、ツアーに参加しました。国際協力をする方々との交流だけではなく、世界遺産のアンコールワットを歩いたり、カンボジアの郷土料理、クメール料理を食べたりもしました。目に映るものすべてが新鮮でしたが、中でもスラム街に行ったことはとても印象に残りました。住宅は木の板とトタンで出来ており、ごみが散乱しているなど、決して恵まれているとは言えない環境を目の当たりにしました。しかし、そこに住んでいる方々は私たちを笑顔で迎え入れ、日々の暮らしなどについて語ってくれました。

このツアーでは「豊かな国の人々は、貧しい国の人々のために寄付をすべきだろうか」というテーマを掲げてカンボジアを巡りました。実際に生活している方々や国際協力をする方々と話していると、寄付や国際協力は本当に役に立っているのか、どこまでが援助でどこからが主役となってしまうのかなど、すぐに答えを出すのが難しい問題がたくさん見えてきました。本当の援助とはどういったものなのか、自分が人々のためにできることとは何かを考えるきっかけになりました。

建部 一翔 さん TATEBE Kazuto
機械知能システム学科 3年
秋田県／本荘高校出身

ANGE

■ 国際学術交流協定校

大学間協定

国・地域名	大学名
韓国	順天大学校
タイ	カセサート大学
台湾	国立宜蘭大学
中国	上海理工大学
中国	清華大学深セン大学院
中国	西南交通大学
中国	蘭州大学

部局間協定

部局名	国・地域名	大学・学部等名
システム科学技術学部	インド	ビヤニ大学
	中国	山東建築大学
生物資源科学部	カナダ	ゲルフ大学生物科学部
木材高度加工研究所	韓国	ソウル大学農学生命科学大学
	ハンガリー	西ハンガリー大学木材科学部

SINGAPORE

EF短期研修プログラム

英語学習がもともと好きでしたが、実際に英語で日常を過ごしてみたいと思い、留学に興味を持ちました。また、大学生活の中で自己表現力を身につけたいと思っており、好きな英語で自己表現をしつつ、たくさんの英語と触れ合いたいと思い留学を決意しました。シンガポールへ行き、最初は頭の中の9割が「生きて日本に帰れるか」という不安で一杯でしたが、自分の気持ちを一生懸命伝え、またルームメイトやホストファミリー、学校の人と触れ合うことで、毎日が楽しさで溢れました。その成果もあって自己表現力も身についたと感じます。また、困難に直面した時には、誰かにすぐに助けを求めず、自分で解決の方法を考え、実際にアクションを起こして問題解決ができるようにもなりました。

この留学経験は、外国の魅力を知ったり、英語を学んだりするだけでなく、自分の成長につながる、素晴らしい経験になりました。今後も、留学だけでなく様々なジャンルの活動に積極的に挑戦して、日々成長し続けていきたいと思います。

福田 詩乃 さん FUKUDA Shino
生物生産科学科 1年
青森県／八戸北高校出身

CAMPUS CALENDAR

年間スケジュール

4月

- 春季休業日
- 学習状況調査（新入生）
- 入学式
- 新入生オリエンテーション
- 定期健康診断
- 前期授業期間（4月上旬～7月下旬）
- 新入生歓迎会

5月

- 田植え

6月

- 秋田県立大学開学記念日（6月5日）
- 特待生認定式
- フィールド開放デー

7月

- オープンキャンパス（7月中旬、2日間）
- 前期試験期間（7月下旬～8月上旬）
- 収穫祭（生物資源科学部）
- 秋田県立大学PR特命アンバサダー任命式（夏季休業中、母校訪問）

8月

- 夏季休業日（8月上旬～9月下旬）
  ※この期間に集中講義を実施
- 秋田竿燈まつり（8月3日～6日）
- 海外留学プログラム本格スタート
- 夏休み科学教室「創造学習」

9月

夏休みは海外留学へ
秋田県立大学では長期休暇を利用した国際交流プログラムを実施しています。詳しくは→P102

※イベント開催の有無や日程は、年度によって異なる場合があります。

10月

- **後期授業期間**
  （10月上旬～2月上旬）
- **大学祭**
  「松風祭」（秋田キャンパス）
  「潮風祭」（本荘キャンパス）
  ・大学祭に合わせて
  保護者等懇談会を開催
- **全国高校生建築提案コンテスト**
  （10月中受付）
- **稲刈り**

11月

12月

- **クリスマスパーティー**（学生会主催）
- **冬季休業日**
  （12月下旬～1月上旬）
  ※この期間に
  集中講義を実施

1月

- **後期授業期間**
  （1月上旬～2月上旬）
- **ミニミニ科学教室**
- **ホップステップキャンパス**

2月

- **後期試験期間**
  （2月上旬）
- **卒業論文発表会**

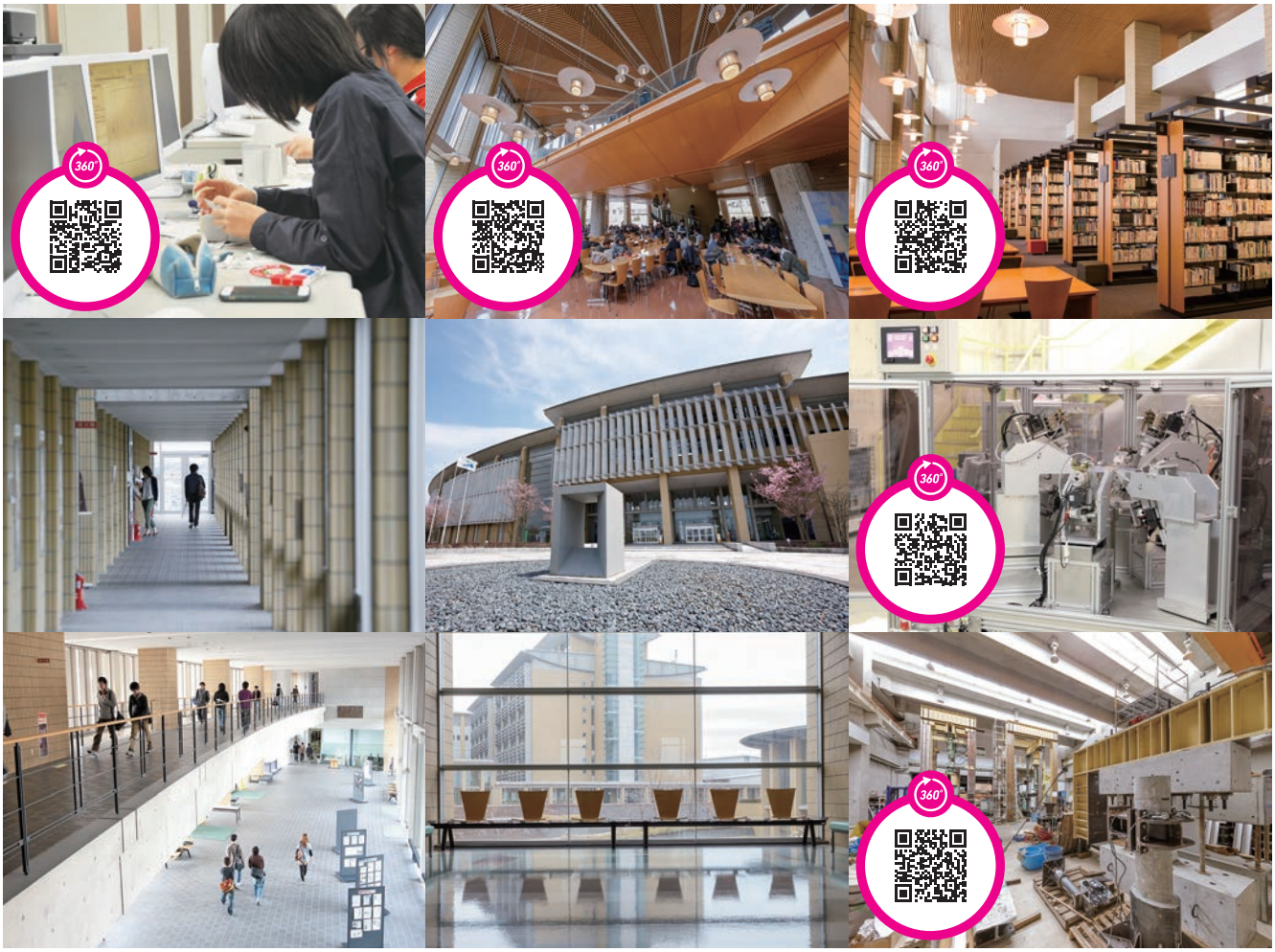
3月

- **企業面談会**
- **卒業式・修了式**

本荘キャンパス

システム科学技術学部

鳥海山
本荘キャンパスの
空撮映像がご覧い
ただけます。
メディア交流棟
カフェテリア
図書・情報センター
400mトラック陸上競技場
共通施設棟
キャリア情報センター



男鹿半島

秋田キャンパス

生物資源科学部

寒風山

共通施設棟

カフェテリア

バイオテクノロジーセンター

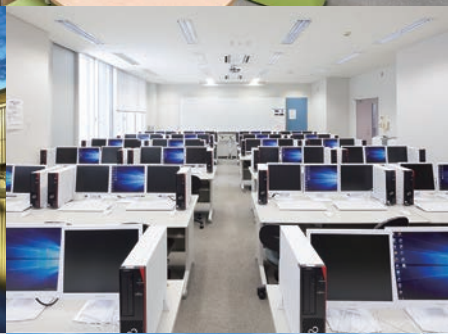
大学院棟

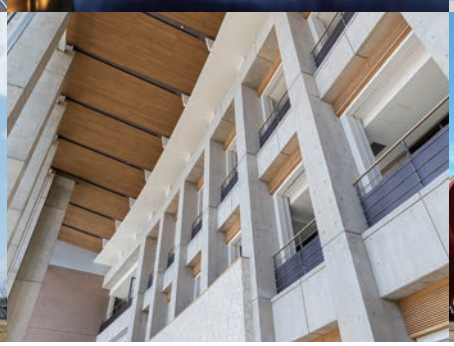
学部棟

光の広場

秋田キャンパスの
空撮映像がご覧い
ただけます。

講堂
キャリア情報センター
図書・情報センター
体育館





大潟キャンパス

生物資源科学部

秋田・大潟キャンパス向け

清新寮 完全個室の学生寮 DORMITORY

大潟キャンパスの広大な敷地内にある学生寮「清新寮」は、7階建ての建物に男子（2～4階、120室）、女子（5～7階、120室）別に居住階が分かれた全館個室で食事付きとなっており、充実した学生生活を送ることができます。

■ 寮費（令和2年度）

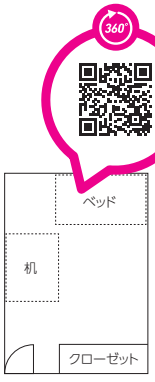
月額 46,000円

※寮費には、食費、光熱水費、共益費が含まれます。

■ 居室（各部屋の設備）

ベッド台
机・イス
クローゼット（引出付き）
カーテン
テレビアンテナ端子
インターネット利用可

※サンネットの専用回線、NTTのフレッツ光が利用できますが、個別契約となります。
※電気製品など、原則持ち込み自由。
※冷房設備はありません。
※異性の居住階へは立ち入り禁止となっています。



■ 食事（食堂）

平日／朝・夕2食
土日祝日／朝・昼・夕3食

※栄養バランスなどに配慮したメニューとなっています。
※食物アレルギーに対応したメニューも提供可能です。

■ 入寮

各入試区分により入寮募集期間、募集人数が異なります。ご自宅より本学までの片道距離が60km以上、もしくは片道の通学時間が1時間30分以上の方を対象とし、募集人数内で受付をいたします。（募集枠を超えたものに関しては、原則抽選。）アグリビジネス学科は3年生から大潟キャンパスでの授業が主となるため、3年進級時に通学距離・時間に関係なく優先的に入寮できます。

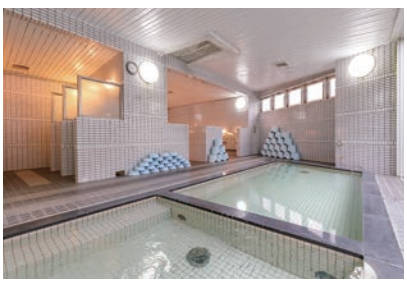
■ 交通

◎ 学生寮と秋田キャンパスを繋ぐシャトルバスを、授業に合わせ平日無料で運行しています。（講義期間1日7往復、長期休暇期間2往復程度、平日のみ）
◎ 学生寮のある大潟村は、公共交通機関は村が運行している1日4往復程度のマイタウンバス以外ありません。
◎ 講義期間中は、週に1回シャトルバスを買い物地経由で運行します。

秋田キャンパスまで約40分

居室

食堂


大浴場

CAMPUS LIFE

秋田県立大学生の1日／本荘キャンパス

実家

PROFILE

佐々木 真希 さん
SASAKI Maki
システム科学技術学部
経営システム工学科／1年
秋田県／由利高校出身

一週間の時間割

	月	火	水	木	金
①	CALL I	線形代数学	化学I	CALL I	システム科学入門
②					
③		解析学I・a	心理学 A		
④	物理学I	創造科学の基礎	現代の働く環境	情報リテラシー	
⑤	科学技術史		あきた地域学		

※時間割は令和元年度前期のものになります。

高校生の時から数学についてより深く学びたいと思っており、経営システム工学科の「数学を用いて経営について学ぶことが出来る」点がとても魅力的だと感じて、この大学を選びました。私は秋田県出身なのですが、講義で学外に出てイベントのお手伝いをした時には、見たことのない綺麗な景色や名物などを見て、「秋田県の新たな魅力を発見できた」と嬉しくなります。竿燈まつりや横手の雪まつり、大曲の花火など魅力的なお祭りがたくさんあるところも秋田の魅力の一つです！

MY DAY

7:00▶起床

8:50▶大学で講義
数学が好きなので、数学系の講義は楽しく受けています。分からない所は積極的に周りの人に聞いたり、自分で調べたりして、苦手意識を持ってしまう前に解決するようにしています。

12:00▶昼食

13:00▶自由時間
講義の課題をしたり、レポートを書いたりしています。

18:00▶サークル活動
アート・デザインサークルに所属しています。サークル内は穏やかな雰囲気でとても居心地がいいです。

20:30▶夕食

21:30▶入浴

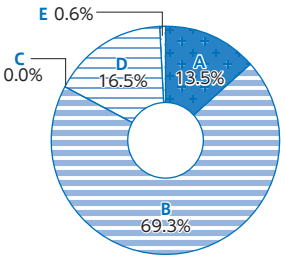
24:00▶就寝

Q&A

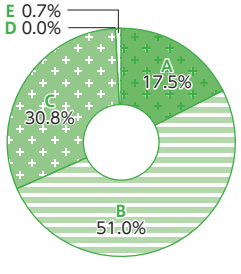
秋田県立大学の学生の皆さんがアンケートに答えてくれました。先輩の学生生活がどんなものか、ちょっとのぞいてみましょう！

Q1 現在の住まいはどのタイプですか？

A 自宅
B 賃貸アパート・マンション
C 寮(生物のみ)　D 下宿等
E その他



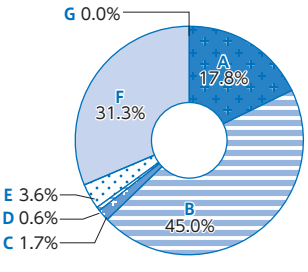
システム科学技術学部



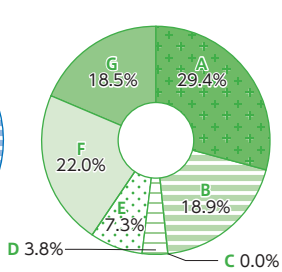
生物資源科学部

Q2 通学手段は何ですか？

A 徒歩　B 自転車　C バイク
D バス　E 電車　F 自家用車
G 大学スクールバス(寮生向け)



システム科学技術学部



生物資源科学部

CAMPUS LIFE

秋田県立大学生の1日／秋田キャンパス

学生寮

PROFILE

白井 亮 さん
SHIRAI Ryoh
生物資源科学部
アグリビジネス学科／2年
青森県／弘前実業高校出身

一週間の時間割

	月	火	水	木	金
①	教育心理学				
②			生徒・進路指導論	稲生産学	微生物学Ⅰ
③	地球環境工学総論	教養英語Ⅰ B	教養課程論	化学・生物学実験Ⅱ	
④	農作物流通論	体育実技Ⅱ	木材をめぐる旅		農業技術実習Ⅰ
⑤	畜産学概論				

※時間割は令和元年度前期のものになります。

日本一広大な面積を有する大規模農場で実習ができることに憧れ秋田県立大学を志望しました。授業では自然がいっぱいのキャンパスで稲作・畑作・果樹・畜産など、広い分野を勉強しています。今年、サッカーの本場バルセロナに、サッカー指導者の育成を目的とした留学プログラムに参加するなど充実した学校生活を送っています。将来は農業高校の先生になってサッカーを教えることが夢です。

MY DAY

7:00▶起床

10:30▶大学で講義

14:30▶農業技術実習
フィールド教育研究センターで田植えの実習を行いました。

18:00▶課外活動
サッカーの練習に励んでいるほか、ボランティアで地元の中学生にも指導しています。

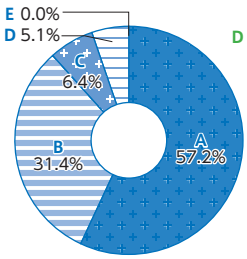
20:00▶夕食
寮のご飯は栄養バランスもよく美味しいと評判なので、今から楽しみです。

21:30▶入浴・レポート作成

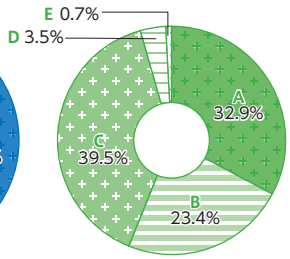
23:00▶就寝

Q3 通学に要する時間は片道どのくらい？

A 15分未満　B 15～30分未満
C 30～1時間未満
D 1時間～2時間未満
E 2時間以上



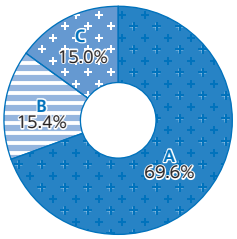
システム科学技術学部



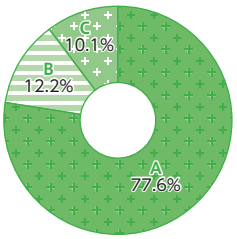
生物資源科学部

Q4 クラブ・サークルに加入していますか？

A 加入している
B 以前していた
C 加入していない



システム科学技術学部



生物資源科学部

CLUB ACTIVITIES

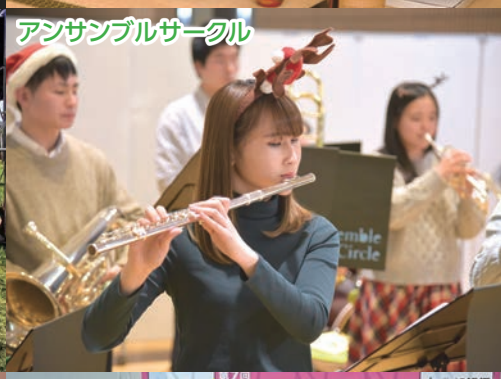
サークル活動／本荘キャンパス

3つのキャンパス合わせて、90団体を超えるサークルがあり、各種大会や大学祭において日頃の活動の成果を披露しています。

HONJO CAMPUS

学生自治会／潮風祭実行委員会　**【体育系（24団体）】**ハンドボール部／バレーボール部／剣道部／男子バスケットボール部／DANCE STYLE／バドミントン部／卓球部／弓道部／ソフトテニス部／準硬式野球部／硬式テニス部／陸上競技部／サッカー部／自動車部／カヌー部／サッカーやるべぇ～／水泳部／サイクリング部／バスケ同好会／バレーボール同好会／Strike Back（スケボー）／ダーツ・ビリヤードサークル／女子バスケットボール同好会／ボウリング同好会　**【文化系（24団体）】**アニメ・イラスト倶楽部／天体観測サークル／放送サークル／ジャズバンドサークル／音楽部／軽音部／木匠塾／S.E.I.M.／麻雀部／アカペラサークルPoV／Game Creative Works／卓上ゲーム部／秋田学生まちづくり団体／国際交流サークル／文芸同好会／アート・デザインサークル／ACM／ツリーハウス同好会／地域おこしProject／模型同好会／写真同好会／Digital Media Works／もじ同好会／かるた同好会

サークル活動／秋田&大潟キャンパス



AKITA & OGATA CAMPUS

学生会／松風祭実行委員会　**【体育系（18団体）】**硬式野球部／サッカー・フットサル部／アウトドアサークル／男子バレーボール／弓道部砂弓会／ソフトテニスサークル／少林寺拳法／バスケサークル／バドミントンサークル／剣道サークル／卓球部／女子バレーボール／軟式野球部／アクションサークル／陸上サークル／球技サークル／スノーボード部／アーチェリー部　**【文化系（28団体）】**アンサンブルサークル／茶道部／アコースティックギター／たこばん／芸術部／演劇サークル劇団半円ぶたい／秋田県立大学竿燈会／赤十字奉仕団／畑っこ秋田キャンパス／畑っこ大潟キャンパス／文芸・イラストサークル／和楽器サークル／料理同好会／デジタル・エンターテイメントサークル／TRPGサークル～テーブル・ワールド～／SAT／チームInsects／パチカン（八郎湖環境を考える会）／炭やきサークル／星空会／アカペラ／ハンドメイド部／エコの環サポーターズサークル／書道部／写真部／つむぎサークル／カラオケサークル／ドライブサークル

BACKUP SYSTEM

充実のサポート制度

学生の「学びたい」意欲に応えるため、大学独自の奨学金制度や授業料減免制度、さらには成績が優秀な学生を奨励する「特待生制度」など、様々なサポート制度を整えています。また、学生が主体的に取り組む交流活動などに対し、運営・財政の両面からサポートし、学生自身の主体的な学びを促進する制度もあります。

■ 秋田県立大学特待生制度

優秀な学業成績等により他の学生の模範となる者を讃え、学生の学習意欲の喚起を図ることで、本学の理念である「21世紀を担う次代の人材育成」の達成に資することを目的としています。

学　部

1) 入学生特待生（秋田県内高等学校出身者のみ）
大学入学共通テストで本学が指定する科目を受験し、一定の基準を満たした場合、年間授業料相当額（535,800円）を4年間、奨学金として給付します。（ただし、学業成績の結果により翌年度の奨学金が停止される場合があります。）

2) 在学生特待生
在学中の成績により優秀者を認定し、年間授業料相当額の半額を奨学金として給付します。

大学院

1) 入学生特待生
大学院入試または在学中の成績により優秀者を認定し、年間授業料相当額またはその半額を奨学金として給付します。

2) 在学生特待生
大学院在学中の成績により優秀者を認定し、年間授業料相当額またはその半額を奨学金として給付します。

生物資源科学部・研究科

システム科学技術学部・研究科

■ 授業料等

区分	学生（県内者）	学生（県外者）
入　学　料	**282,000**円	**423,000**円
授　業　料	年額 **535,800**円	
後援会費※	**50,000**円　学生教育研究災害傷害保険並びに学研災付帯賠償責任保険料を含む	

※加入については任意となっております。後援会に加入すると様々なサポートが受けられます。（P119）

■ 授業料等減免制度

<学部生>
大学等における修学の支援に関する法律に基づく修学支援制度の対象者として認定を受けた学生は、支援区分に応じて入学料及び授業料が減免されます。

<大学院生／留学生>
経済的理由などにより授業料の納付が著しく困難と認められた場合、授業料の減免制度が利用できる場合があります。学生からの申請により、各期（前期・後期）ごとに審査し、全額・3/4・半額・1/4の額を減免します。

■ 授業料の分割徴収／授業料徴収猶予

授業料の減免制度と同様、経済的理由などにより授業料を納付期限までに納付することが困難な場合は授業料の分割納付や徴収を猶予する制度があります。

■ 日本学生支援機構奨学金など

大学等における修学の支援に関する法律に基づく修学支援制度の対象者として認定を受けた学生は、支援区分に応じて日本学生支援機構給付奨学金（原則返還不要）の支給が受けられます。この他にも、日本学生支援機構貸与奨学金や地方公共団体などの奨学金も取り扱っており、随時、学内掲示等によりお知らせします。

■ 秋田県立大学大学院優秀学生奨学金

大学院博士前期課程に入学する秋田県立大学学部生を対象とした奨学金です。

〈受給条件〉
次の全てを満たすこと。
① 学部3年終了時におけるそれまでの成績が、所属学科の上位25%以内
② 大学院入学試験(推薦特別選抜)に合格

奨学金の額及び支給期間
成績基準に応じて、次のとおり在学する2年間支給します。
●上位10%以内であった者は年間授業料相当額の全額
●上位10%を超え25%以内であった者は年間授業料相当額の半額

■ 学生の様々な活動をサポート

地域との交流活動、自然体験活動、各種ボランティア活動など、学生の創造性・社会性・コミュニケーション力を育む様々な活動に対し、運営面・財政面で大学がサポートします。

Apple Camp! @横手市
県内でも有数のりんご産地・秋田県横手市で四代続く伝統ある果樹園で、りんごの葉摘み作業などを体験しました。ご近所さんや他大学の学生と垣根を超えて交流を楽しみました。

飛島ジオパークツアー
飛島固有の植物やウミネコの生息地を間近で観察し、名産品も味わいました。

鳥海山登山
2018年8月7日、鳥海山登山を行いました。当日は天候に恵まれ、山岳ガイドの案内で、全員無事山頂まで登ることができました。鳥海山の雄大な自然に触れ、充実した登山となりました。

ミニミニ科学教室
学生が講師となって、子供たちにろうそく作りをはじめとした科学教室を実施し、科学のおもしろさを伝えました。

BACKUP SYSTEM

充実のサポート制度

秋田県立大学は、充実したキャンパスライフを送ることができる環境づくりに力を入れています。
全ての学生が、“この大学に入学して本当に良かった”と思えるように、教職員一同、全力でサポートします。

■ 健康サポート

授業中・課外活動中など学内で気分が悪くなったりケガをしたときには、各キャンパスの保健室で応急措置を行い、必要に応じて医療機関の紹介も行います。また、日常の健康相談に応じるほか、健康アップのため、身長体重計・体組成計・自動血圧計を設置し、学生の健康維持管理をサポートしています。毎年4月には、全学生を対象に定期健康診断を実施しています。

■ 保護者向け懇談会

学生生活を一層有意義なものとしてもらうため、毎年10月に開催される大学祭に合わせ、保護者向け懇談会を開催しています。大学の近況報告のほか、学生の学修状況や進路等について学科教員等との個別面談を行っています。大学の教育環境を肌で知っていただく機会になっています。

■ 教育支援システム（manaba course）

本学ではPCやスマートフォンなど、インターネット環境があればいつでもどこでもアクセス可能なクラウド型の教育支援システムを導入しています。講義資料の掲載、小テスト、課題提出とそのフィードバックなど、授業での利用に加え、キャリア・学生支援等、大学からの様々な情報の発信に活用しています。manaba course の中で行われた学修は、成果物として蓄積し、学修・キャリアポートフォリオとして自身の振り返りや自己分析に利用できます。

■ 学生相談

学生相談室では、臨床心理士の資格を持つ専任のカウンセラー、また各学部学科の学生委員（教員）が勉強、進路、対人関係の悩みなど大学生活における様々な相談に応じます。もちろん、安心して相談できるよう、相談内容は秘密厳守としています。なお、保護者からの相談も受け付けています。

■ セミナーハウス

秋田キャンパスから約60分、本荘キャンパスから約80分。協和スキー場の目の前にあるセミナーハウスです。研究室のゼミ、各種研修、サークル合宿など、様々な用途に応じて無料（食事代は除く）で利用できる多目的施設です。

■ 秋田県立大学後援会

後援会会長より

学生一人ひとりの個性を認め、伸ばしてくれる大学です。

学生は誰もが原石です。秋田県立大学には自分の良さを自ら発見するための学びや、きっかけになる出会いがたくさん用意されています。教職員の皆さんはいつも学生に寄り添い、丁寧に声をかけ励ましてくれます。私たち後援会は、教職員の想いを間近に感じ、一緒に協力して学生を応援しております。希望ある学生の未来のために誠心誠意、応援していきたいと思います。

後援会会長　山住 賢一 さん

後援会の主な支援事業

学生教育研究災害傷害保険／学研災付帯賠償責任保険

大学では、通学中、授業中、サークル活動中等の事故や教育実習、インターンシップ等の学外活動で、他人にケガをさせたり、財物を損壊したことに対する学生保険への加入を推奨しております。
後援会費には当該保険料が含まれており、入会と同時に補償が開始されるよう、保険加入の代行手続・料金納付を後援会が行います。

就職活動サポート

●就職対策講座受検料助成

キャリア情報センターで実施する就職対策講座（職業適正検査・SPI能力模擬試験・履歴書対策講座等）の受検料を一部助成します。

●企業説明会への貸切バスを助成

秋田市内で開催する企業説明会の会場までの貸切バス代金を助成します。

●インターンシップ交通費等助成

インターンシップ参加に要した交通費・宿泊費を一部助成します。

●セカンドキャンパス運営経費助成

首都圏で就職活動を行う学生を応援するため、東京都新宿区にあるセカンドキャンパスの利用料を助成します。

クラブ・サークルサポート

学生団体の活動費や大会参加経費を助成しているほか、大学祭の開催経費を助成します。

資格取得サポート

●資格取得助成

様々な資格取得に挑戦する学生を応援するため、資格取得試験に合格した場合の受験料や講習会参加料、テキスト代等を助成します。（助成回数に制限なし）

入試情報
DATA & INFORMATION

※新型コロナウイルスの影響で、試験日程や試験方法が変更となる可能性があります。変更となる場合は、本学ホームページでお知らせします。

秋田県立大学は、将来に夢を持ち、意欲的に学生生活に取り組むことのできる学生を見出すため、様々な入試制度を実施しています。本学の特色ある教育の中で、あなたの夢を実現してください。私たちは、あなたの夢や目標が実現できるように全力でバックアップします。

入試区分	① 総合型選抜	② 推薦選抜Ⅰ・Ⅱ	③ 推薦選抜Ⅲ	④ 一般選抜(前期)	⑤ 一般選抜(後期)
9月	**出願期間** 9月1日㈫～4日㈮				
10月	**試験日** 10月3日㈯				
11月	**合格発表** 11月1日㈰	**出願期間** 11月9日㈪～13日㈮ **試験日** 11月21日㈯			
12月		**合格発表** 12月1日㈫			
1月			**出願期間** 1月4日㈪～8日㈮ **試験日** 1月30日㈯	**出願期間** 1月25日㈪～2月3日㈬	
2月			**合格発表** 2月10日㈬	**試験日** 2月25日㈭	
3月				**合格発表** 3月6日㈯	**試験日** 3月12日㈮ **合格発表** 3月21日㈰

■ 入試のポイント

①総合型選抜

○ 秋田県内高校の新卒者を対象とします。
○ システム科学技術学部ではプレゼンテーションと口頭試問を含む面接等で評価します。
○ 生物資源科学部ではプレゼンテーションと総合問題、面接等で評価します。

②推薦選抜Ⅰ・Ⅱ

○ 秋田県内高校の新卒者を対象とします。
○ アグリビジネス学科(推薦選抜Ⅰ)のみ、全国の高校の新卒者も出願可能です。
○ 推薦選抜Ⅰは主に専門高校、推薦選抜Ⅱは主に普通高校を対象とします。
○ 原則、全体の学習成績の状況が4.3以上で、高校から推薦された方を対象とします。
○ 口頭試問を含む面接と小論文等で評価します。

③推薦選抜Ⅲ

○ 秋田県内高校の新卒者を対象とします。
○ 高校から推薦された方を対象とします。
○ 大学入学共通テストと面接等で評価します。

④一般選抜(前期)

○ 全国の高校生等が対象です。(新卒者のほか既卒者も対象とします。)
○ 大学入学共通テストと個別学力検査等で評価します。
○ 仙台市・東京都・名古屋市の県外試験場でも受験可能です。

⑤一般選抜(後期)

○ 全国の高校生等が対象です。(新卒者のほか既卒者も対象とします。)
○ 大学入学共通テストと小論文等で評価します。
○ 仙台市・東京都・名古屋市の県外試験場でも受験可能です。

■ 資料請求

WEBサイトから手軽に資料請求できます。

■ 各種要項・出願

本学ホームページに掲載しております。

■ 合格者出身高校一覧 過去5ヶ年

※高等学校等コードの順に並べています。

■北海道
札幌北陵
札幌手稲
千歳
札幌藻岩
旭川西
旭川北
旭川南
北見北斗
北見柏陽
室蘭栄
苫小牧東
静内
帯広柏葉
帯広三条
釧路湖陵
釧路江南
北広島
札幌東陵
札幌平岸
札幌厚別
札幌稲雲
大麻
札幌国際情報
函館
北海道科学大学
旭川龍谷

■青森県
青森
青森東
青森北
青森南
青森中央
弘前
弘前中央
弘前南
八戸
八戸東
八戸北
八戸西
木造
五所川原
黒石
三本木
田名部
三本木農業
名久井農業
弘前実業
東奥義塾
弘前学院聖愛
八戸聖ウルスラ学院
八戸工業大学第二

■岩手県
盛岡第一
盛岡第三
盛岡第四
盛岡北
盛岡農業
花巻北
花巻南
黒沢尻北
水沢
一関第一
一関第二
千厩
高田
大船渡
遠野
宮古
久慈
大野
軽米
福岡
一戸
盛岡市立
不来方
釜石
盛岡中央
一関学院
花巻東

■宮城県
仙台第一
仙台第三
仙台向山
古川
角田
佐沼
白石
石巻
泉
多賀城
宮城第一
仙台二華
仙台三桜
石巻好文館
仙台南
仙台
仙台西
泉館山
仙台東
宮城野
気仙沼
仙台育英学園
東北
東北学院
東北学院榴ケ岡
尚絅学院
聖和学園
古川学園

■秋田県
秋田
秋田北
秋田南
秋田工業
金足農業
花輪
十和田
大館鳳鳴
能代
能代工業
五城目
本荘
由利
由利工業
西目
矢島
大曲
大曲工業
大曲農業
角館
横手
横手城南
増田
雄物川
湯沢
西仙北
仁賀保
秋田中央
秋田商業
秋田西
男鹿工業
新屋
平成
御所野学院
横手清陵学院
大館国際情報学院
秋田北鷹
湯沢翔北
能代松陽
大館桂桜
明桜
聖霊女子短期大学付属

■山形県
山形東
山形南
山形西
山形北
山形中央
寒河江
楯岡
東桜学館
新庄北
米沢興譲館
米沢東
長井
鶴岡南
酒田東
酒田西
日本大学山形

■福島県
福島(県立)
橘
福島西
安達
安積
安積黎明
郡山東
須賀川桐陽
白河
白河旭
会津
葵
会津学鳳
磐城
磐城桜が丘
原町
郡山
福島東
いわき光洋
福島成蹊
桜の聖母学院
尚志
日本大学東北
会津若松ザベリオ学園
いわき秀英

■茨城県
日立第一
太田第一
小瀬
水戸第二
水戸第三
緑岡
鉾田第一
土浦第一
土浦第二
土浦第三
石岡第一
竜ケ崎第一
藤代
下館第一
下館第二
下妻第一
下妻第二
水海道第一
古河第三
竹園
牛久
日立北
水戸桜ノ牧
牛久栄進
伊奈
明秀学園日立
茨城キリスト教学園
茨城
水城
土浦日本大学
常総学院
つくば秀英

■栃木県
宇都宮東
宇都宮南
宇都宮女子
宇都宮中央女子
宇都宮白楊
鹿沼
石橋
小山
栃木
佐野
足利
足利女子
真岡
真岡女子
茂木
烏山
大田原
大田原女子
那須拓陽
黒磯
矢板東
宇都宮北
鹿沼東
小山西
さくら清修
栃木翔南
作新学院
文星芸術大学附属
宇都宮文星女子
宇都宮短期大学附属
國學院大學栃木
佐野日本大学
白鴎大学足利
佐野日本大学中等

■群馬県
前橋(県立)
前橋南
勢多農林
高崎
高崎女子
桐生
太田(県立)
太田女子
館林
渋川
渋川女子
富岡
高崎北
前橋東
太田東
高崎経済大学附属
伊勢崎
富岡
高崎商科大学附属
東京農業大学第二
樹徳
前橋育英

■埼玉県
熊谷女子
浦和西
秩父
坂戸
越谷南
川口北
所沢北
羽生第一
春日部東
大宮北
浦和南
和光国際
川口市立
聖望学園
山村学園
大宮開成
狭山ケ丘
武南
星野
大妻嵐山
城西大学付属川越
埼玉栄
栄東
西武学園文理
開智
栄北

■千葉県
千葉南
船橋東
佐原
佐原白楊
銚子(県立)
匝瑳
長生
木更津
銚子(市立)
千葉商科大学付属
中央学院
昭和学院秀英

■東京都
東京工業大学附属科学技術
北園
清瀬
八王子東
日比谷
富士
保谷
両国
成瀬
多摩科学技術
駒込
東京電機大学
獨協
桜丘
東京成徳大学
江戸川女子
東京都市大学等々力
実践学園
國學院大學久我山
淑徳
白梅学園
桐朋

■神奈川県
金井
多摩
鎌倉
小田原
西湘
金沢
横浜国際
横浜修悠館
横浜サイエンスフロンティア
横浜創英
横浜
洗足学園
藤嶺学園藤沢
桐光学園
公文国際学園高等部
桐蔭学園
自修館

■新潟県
新潟中央
新潟南
新潟江南
新潟西
巻
新発田
新発田農業
村上
新津
長岡
長岡大手
三条
三条東
加茂農林
六日町
十日町
柏崎
高田
高田北城
糸魚川
佐渡
万代
新発田南
長岡向陵
国際情報
村上中等
柏崎翔洋
燕中等
津南
直江津中等
佐渡中等
高志
新潟明訓
北越
帝京長岡
新発田中央
新潟第一
東京学館新潟

■富山県
桜井
魚津
滑川
富山東
富山南
八尾
高岡西
高岡南
石動
呉羽
福岡
大門
南砺福野
南砺福光

■石川県
小松
金沢錦丘
金沢桜丘
金沢西
羽咋
七尾
輪島
飯田
小松明峰
野々市明倫
星稜

■福井県
高志
武生
若狭
武生東
北陸

■山梨県
韮崎
甲府第一
甲府南
日川
甲府西
甲府東
富士河口湖
甲府昭和

■長野県
須坂
長野吉田
長野西
長野東
篠ノ井
岩村田
野沢北
諏訪二葉
伊那弥生ケ丘
飯田
下伊那農業
松本県ケ丘
松本美須々ケ丘
松本蟻ケ崎
中野西
大町岳陽
松商学園
長野日本大学
佐久長聖

■岐阜県
長良
岐山
加納
大垣南
大垣東
加茂
多治見
斐太
飛騨高山
羽島北
大垣西
各務原西
高山西

■静岡県
伊東
韮山
三島北
御殿場南
沼津東
沼津西
沼津城北
沼津工業
吉原
富士
清水東
静岡城北
静岡東
焼津中央
藤枝東
藤枝西
島田
榛原
掛川西
磐田南
浜松南
静岡市立
浜松市立
富士東
伊豆中央
富士宮西
浜松湖南
下田
科学技術
加藤学園暁秀
加藤学園
静岡サレジオ
東海大学付属静岡翔洋
静岡北
静岡学園
磐田東
浜松学芸
浜松日体
聖隷クリストファー
藤枝明誠

■愛知県
愛知教育大学附属
千種
松蔭
名古屋西
熱田
鳴海
旭野
長久手
豊明
岩倉総合
丹羽
一宮西
一宮北
木曽川
津島
津島北
五条
横須賀
碧南
刈谷
刈谷北
知立
安城
安城東
西尾
西尾東
岡崎
岡崎東
幸田
豊田西
国府
豊橋東
豊丘
豊橋南
蒲郡東
成章
小坂井
天白
尾西
東海南
北
瀬戸西
春日井東
津島東
西春
一宮南
阿久比
豊田北
高蔵寺
江南
小牧南
豊田南
半田東
日進西
一宮興道
美和
豊田
名古屋南
岡崎西
豊野
知立東
杏和
常滑
愛知
愛知淑徳
東海
名城大学附属
愛知啓成
春日丘
清林館
岡崎学園
栄徳
大成

■三重県
桑名
四日市南
神戸
津東
松阪
川越
暁
鈴鹿
高田
三重
学法津田学園

■滋賀県
八日市
水口東
米原
虎姫

■京都府
福知山
紫野
洛西
京都橘
京都産業大学附属

■大阪府
池田
住吉
泉北
堺東
南
北千里
大阪学芸
桃山学院
箕面自由学園
清教学園
帝塚山学院泉ケ丘
初芝富田林

■兵庫県
芦屋(県立)
尼崎北
川西緑台
柏原
明石
西脇
北条
兵庫県立農業
龍野
東播磨
姫路
尼崎稲園
加古川北
明石城西
神戸星城
神戸野田
滝川
須磨学園
雲雀丘学園

■奈良県
橿原
奈良育英
奈良大学附属

■和歌山県
桐蔭
耐久
田辺
新宮
和歌山信愛

■島根県
益田

■岡山県
倉敷南
高梁
岡山城東

■広島県
安古市
三原
広島なぎさ

■山口県
高森
防府
豊浦

■徳島県
城東
城ノ内
徳島北

■香川県
高松東
高松
高松第一

■愛媛県
大洲
伊予
松山西

■福岡県
小郡
筑紫女学園

■佐賀県
神埼

■長崎県
西陵

■大分県
大分雄城台

■宮崎県
延岡星雲

■鹿児島県
鶴丸
加世田
鹿屋
樟南

全国各地から秋田県立大学へ

在籍者情報

学部名	男子	女子	合計
システム科学技術学部	851	154	1005
生物資源科学部	341	306	647
合計(学部)	1192	460	1652

中部地方 375名

新潟県	118
富山県	5
石川県	8
福井県	22
山梨県	22
長野県	13
岐阜県	19
静岡県	73
愛知県	95

中国地方 8名

島根県	2
岡山県	3
広島県	1
山口県	2

四国地方 6名

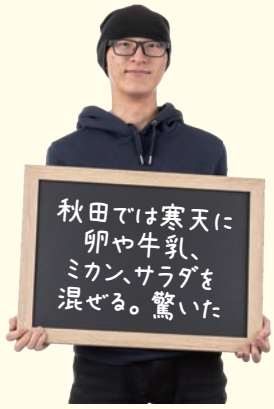
徳島県	4
香川県	1
愛媛県	1

九州地方 9名

長崎県	1
大分県	1
鹿児島県	7

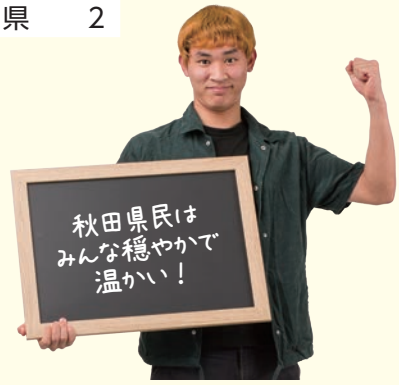
近畿地方 42名

三重県	6
滋賀県	2
京都府	3
大阪府	9
兵庫県	15
奈良県	4
和歌山県	3



中川 睦司 さん
新潟県／新発田高校出身

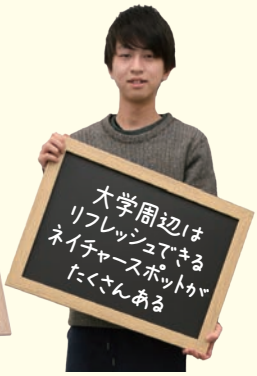
雨宮 あや乃 さん
山梨県 / 日川高校出身



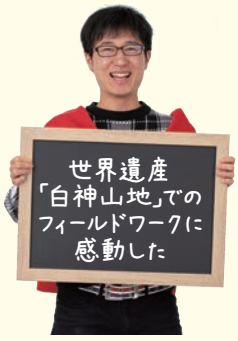
梅田 一輝 さん
山口県／豊浦高校出身

野田 拓杜 さん
愛知県／千種高校出身

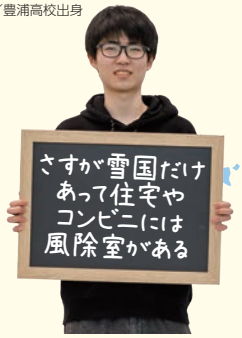
柳沢 光玲 さん
長野県 / 松本美須々ケ丘高校出身



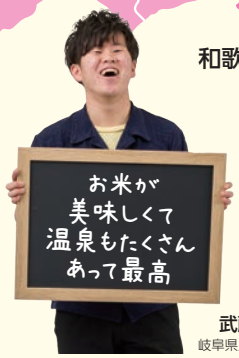
奥村 舜 さん
愛知県 / 尾西高校出身



川口 智也 さん
鹿児島県／鹿屋高校出身



上村 壮汰 さん
和歌山県／新宮高校出身



武藤 大悟 さん
岐阜県／飛騨高山高校出身

安木 理沙子 さん
大阪府／池田高校出身

福井 蓮太 さん
兵庫県／柏原高校出身

森 桃花 さん
三重県／川越高校出身

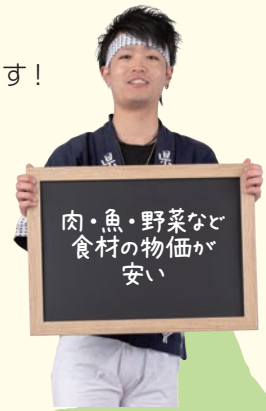
日本全国から同じ志を持った仲間たちが集まります！
卒業後も多方面で活躍する仲間たちと
つながりができます！

東北地方 928名

青森県	80
岩手県	123
宮城県	55
秋田県	531
山形県	59
福島県	80

北海道 26名

北海道	26



東 亮太 さん
北海道／札幌厚別高校出身

藤原 涼介 さん
北海道／函館高校出身

遠藤 圭紀 さん
北海道／北広島高校出身

浅間 皓貴 さん
石川県／金沢西高校出身

北海道

阿部 晴紀 さん
山形県／鶴岡南高校出身

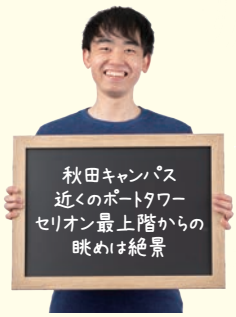
渡部 祐里 さん
秋田県／大館国際情報学院高校出身

能代 志歩 さん
秋田県／秋田北高校出身

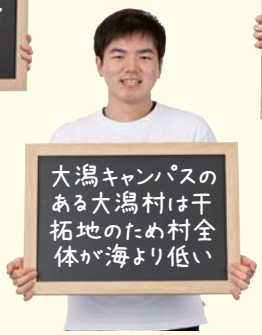
小鍛冶 航 さん
新潟県 / 新発田農業高校出身

青森県
秋田県
岩手県
山形県
宮城県
福島県
石川県
富山県
新潟県
長野県
群馬県
栃木県
山梨県
埼玉県
茨城県
東京都
神奈川県
千葉県
静岡県

小田嶋 彩矢 さん
宮城県／古川高校出身



金森 喬士 さん
山形県／新庄北高校出身



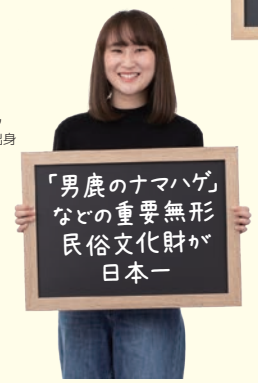
小松 寛知 さん
秋田県／秋田北高校出身

小笠原 北斗 さん
秋田県／秋田北鷹高校出身

田中 直道 さん
茨城県／緑岡高校出身

大山 さくら さん
福島県／橘高校出身

菊池 和奏 さん
秋田県／湯沢高校出身



最上 華帆 さん
青森県／青森東高校出身

関東地方 258名

茨城県	72
栃木県	100
群馬県	39
埼玉県	15
千葉県	11
東京都	13
神奈川県	8

岩﨑 陸 さん
栃木県 / 國學院大學栃木高校出身

橋本 晃一 さん
秋田県／秋田中央高校出身

高津 優里香 さん
秋田県／秋田北高校出身

秋田ってこんなところ

秋田県観光情報

男鹿のナマハゲ

怠け心を戒め、無病息災・田畑の実り・山の幸・海の幸をもたらす、年の節目にやってくる来訪神。男鹿市では大晦日の晩、それぞれの集落の青年がナマハゲに扮し、「泣く子はいねが一」などと大声で叫びながら地域の家々を巡ります。この行事は2018年、ユネスコの無形文化遺産に登録されました。

きりたんぽ

秋田の郷土料理といえば「きりたんぽ」。杉の棒にご飯をつぶして巻き付け、囲炉裏の火で焼いたものを「たんぽ」といいます。これを切り、比内地鶏でとったスープ、ごぼうや葱、セリ、舞茸などのキノコと共に火を通した料理が「きりたんぽ鍋」。味噌を塗ってもう一度火で炙った料理は「みそたんぽ」です。

男鹿水族館GAO

日本海を望む絶好のロケーションに建つ水族館。ホッキョクグマや秋田県魚「ハタハタ」をはじめとした400種1万点の生き物を展示しています。入道崎やゴジラ岩など、男鹿半島のドライブコースにありますので、経由地の候補にいかがでしょうか。

田沢湖

瑠璃色の湖面とたつこ姫伝説に彩られる田沢湖は、周囲約20kmのほぼ円形の湖。水深423.4m、日本一の深さを誇ることで有名です。近隣にはキャンプ場やスキー場、乳頭温泉郷など、1年を通して多くの人が集まる観光スポットがあり、外国人観光客も多いです。

菜の花ロード

大潟キャンパス近くを走る県道沿いの有名スポット。全長11kmにわたって菜の花と桜が同時期に咲きます。見ごろは4月下旬から1カ月ほど。満開の時期には「大潟村桜と菜の花まつり」も行われ、多くの人で賑わいます。

稲庭うどん

秋田県南部の手延べ製法による干しうどんで、日本三大うどんの1つです。昔ながらの手延べにこだわる細く平たい麺は、コシが強く、表面がとても滑らか。舌触りがよく、喉越しはツルツルです。

鳥海山

秋田県と山形県の県境に位置する鳥海山の周りでは、四季折々の高山植物・紅葉などの絶景、湖沼・湿原・滝など、雄大な自然が楽しめます。夏はキャンプや登山、冬はスキー、スノーボードなどのウインタースポーツのエリアとしても有名です。

由利高原鉄道

羽後本荘駅から矢島駅まで全長23kmを結ぶ、路線名「鳥海山ろく線」。標高2,236mの鳥海山を背景に田園風景の中を走り、列車と自然が織り成すのどかな景色でファンに愛されています。「クリスマス列車」や「まごころ列車」など、車内を飾ったり特別なアテンダントをしたりする、イベント列車の運行でも知られます。

大曲の花火

全国花火競技大会 大曲の花火。歴史ある花火大会で日本三大花火大会の1つ。制作者本人が打ち上げる競技大会として有名で、毎年多くの人で賑わいます。とても見応えのある花火大会。打上数は約18,000発。

秋田犬

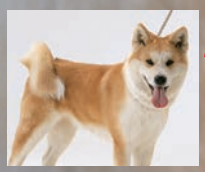
“秋田犬に会える”施設
「秋田犬ステーション」で
働く「もも」ちゃん

世界で最も有名な日本犬

秋田県大館市が発祥の地と言われる、日本犬で唯一の大型犬です。「忠犬ハチ公」の海外での映画化や、ロシアのフィギュアスケート金メダリスト・ザギトワ選手に「マサル」が贈られたことで、世界的に有名になりました。

国の天然記念物に指定され、日本が誇るべき財産として、保護や血統保存のための活動が行われています。本学卒業生の高橋さんが専務理事を務める(一社)ONE FOR AKITAも、秋田犬の保護に関する様々なプロジェクトを行っています！

(一社) ONE FOR AKITAのHP



くるっと
丸まった尻尾が
特徴です！

卒業生
高橋 伸明 さん
建築環境システム学科1期生
現 一般社団法人 ONE FOR AKITA 専務理事

国重要無形民俗文化財

秋田竿燈（かんとう）まつり

8月3・4・5・6日

夜空を彩る黄金の稲穂

約270年もの歴史を持つ秋田竿燈まつりは、毎年約130万人が訪れる秋田市の夏の風物詩。「青森ねぶた祭」「仙台七夕まつり」と並んで東北三大祭りに数えられています。国指定の重要無形民俗文化財でもあります。

長い竹竿にたくさんの提灯を吊り下げた「竿燈」を、「差し手」と呼ばれる腕自慢たちが力強く持ち上げて練り歩く伝統的な祭り。竿燈全体を稲穂に、吊るされた提灯を米俵に見立て五穀豊穣を祈願します。

稲穂のように揺らめく竿燈、響きわたる笛と太鼓のお囃子、差し手の妙技に送られる熱い声援…。約280本の竿燈と約10,000個の提灯が彩る世界はまさに壮観！

秋田県立大学 竿燈会 所属
石村 桃 さん
応用生物科学科2年
（秋田県／横手城南高校出身）

秋田ってこんなところ

秋田弁講座

県大生の約7割は県外出身者。秋田県立大学を知ってもらうと同時に秋田県のことも知ってもらいたい！どんな環境で学び生活するのか、少しですがご紹介します。

わかる？
わからない？
秋田の方言！

先輩が秋田に来て
びっくりした、または面白かった方言を
紹介します。

さい
（あっ、しまった）
失敗した時にあげる感嘆詞。
「さいさい」と重ねて
使うこともある。

ごしゃぐ
（怒る、しかる）
ローカルヒーロー「超神ネイガー」の変身時のかけ声「豪石（ごうしゃく）！」
秋田弁の「ごしゃぐ」を元に神の力を借りるという「剛借」、また自身の強さを測るという「強尺」の意味もあるとされている。

け
（来い、かゆい、食べなさい）
「食べる」「来る」だと「く」だったのが、命令形になると「け」に変化。そこに「かゆい」の「け」もプラスされた。

えふりこぎ
（見栄っ張り）
秋田県の県民性を表す言葉として有名。
江戸時代から豊かな地であった
秋田ならではの言葉。

秋田弁

おが
（あまり、あまりにも）
（例）
・おがいらねぁ→あまり要らない
・そいだばおがだべ→
それはあんまりだろう

めんけ
（かわいい）
「めごえ」「めんこえ」「めんこい」
ともいう。

こうぇ
（疲れた、だるい）
怖いという意味ではない。

しょし
（恥ずかしい）
すまないという意味もある。「おしょし」ともいう。使用するとかわいい方言の上位にも入る。

じぇんこ
（お金）
「銭（ぜに）っこ」から。
ちなみに「じぇんご」は田舎。

秋田の方言の特徴

1、濁点が多い
→「か行」と「た行」には非常に高い可能性で濁点がつく

2、母音が変化している
→標準語の「い」と「え」、「し」と「す」、「ち」と「つ」、「ず」と「づ」の発音が非常に似ていて、区別が非常にあいまい

3、イントネーションが独特
→3文字の単語を発音する時に、2文字目の音を高くすることが非常に多い

※雪国で寒いため、口をあまり開かず、短いフレーズで略される方言が多い

※濁点を多用し、早口で流れるようにしゃべる人が多いことから、フランス語に似ていると言われることも！

秋田県ここが!! No.1

重要無形民俗文化財の件数 No.1！
→秋田の竿燈、男鹿のナマハゲ、花輪ばやし、西馬音内の盆踊などたくさんの祭りや伝統芸能や年中行事があります！
是非、足を運んでみよう！

食料自給率 No.1！
（カロリーベースで192%）
→豊かな水田資源、豊富な農産物と良質な水を誇る秋田県。
食糧問題は、本学にとっても重要テーマの一つ。

美容所の数 No.1！
●美容所数（人口10万人当たり）　541.9か所（28年度）
→きれい好きな県民性。“秋田美人”とも関係が・・・

年間日照時間が短い
→色白で美肌を保ちやすい環境と良質な睡眠が“秋田美人”を育てます！

YouTube
AkitaPrefecturalUniv

秋田県立大学公式YouTubeチャンネル

Virtual Open Campus

「秋田県立大学まで足を運ぶことが難しい」という方のために、インターネットからも体験できるバーチャルオープンキャンパスを開催中！是非、アクセスしてみてください。

木材高度加工研究所

大潟キャンパス

秋田キャンパス

本荘キャンパス

航空機利用の場合

新千歳空港	約55分	秋田空港
羽田空港	約1時間10分	秋田空港
中部国際空港	約1時間20分	秋田空港
伊丹空港	約1時間30分	秋田空港

秋田新幹線「こまち」利用の場合

盛岡駅	約1時間30分	秋田駅
仙台駅	約2時間30分	秋田駅
東京駅	約4時間	秋田駅

高速道路利用の場合

盛岡I.C	約2時間10分	秋田北I.C
盛岡I.C	約2時間10分	大内J.C.T
盛岡I.C	約2時間20分	五城目八郎潟I.C
盛岡I.C	約2時間40分	能代南I.C
仙台宮城I.C	約3時間10分	秋田北I.C
仙台宮城I.C	約3時間10分	大内J.C.T
仙台宮城I.C	約3時間20分	五城目八郎潟I.C
仙台宮城I.C	約3時間40分	能代南I.C

Akita Prefectural University
秋田県立大学

シンボルマーク
秋田県立大学の欧文の頭文字「A」をデザイン化。
目標(緑)を設定し、限りない未来に向かって学んでいく姿を表しました。

秋田キャンパス	◎本部　◎生物資源科学部 ◎大学院 生物資源科学研究科	〒010-0195　秋田県秋田市下新城中野字街道端西241-438 TEL.018-872-1500　FAX.018-872-1670
本荘キャンパス	◎システム科学技術学部 ◎大学院 システム科学技術研究科	〒015-0055　秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4 TEL.0184-27-2000　FAX.0184-27-2194
大潟キャンパス	◎生物資源科学部 アグリビジネス学科【3・4年次】	〒010-0444　秋田県南秋田郡大潟村字南2-2 TEL.0185-45-2026　FAX.0185-45-2377
木材高度加工研究所	◎大学院 生物資源科学研究科	〒016-0876　秋田県能代市字海詠坂11-1 TEL.0185-52-6900　FAX.0185-52-6924

秋田県立大学 Twitter
@Akita_P_U
秋田県立大学の日常やイベント情報などリアルタイムでつぶやいています。

秋田県立大学 公式Webサイト
https://www.akita-pu.ac.jp
※タブレット、スマートフォンからもアクセスできます。

NIAD-QE
UNIVERSITY ACCREDITED
March 2017
秋田県立大学は(独)大学改革支援・学位授与機構の大学評価基準を満たしています。